

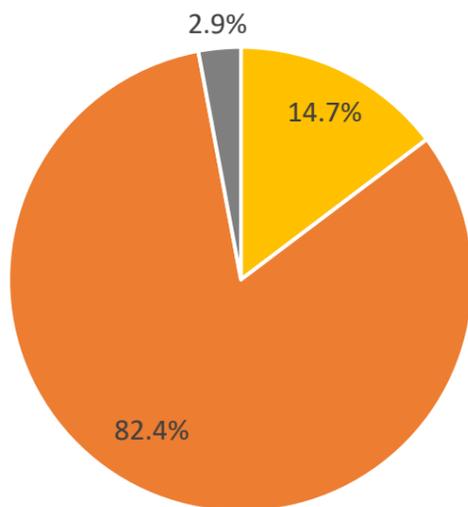
回答数 34 クラス

A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

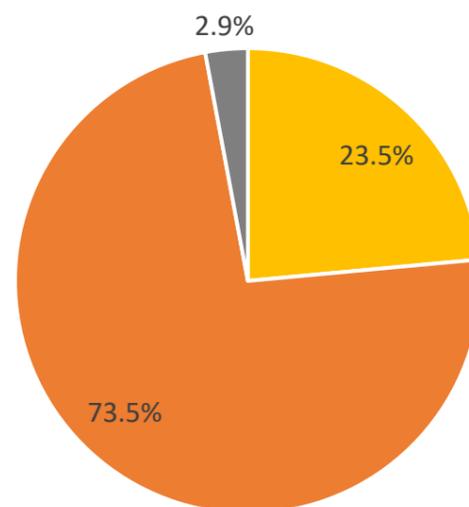
【 1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. ややあてはまる 4. あてはまる 未回答 】

問1

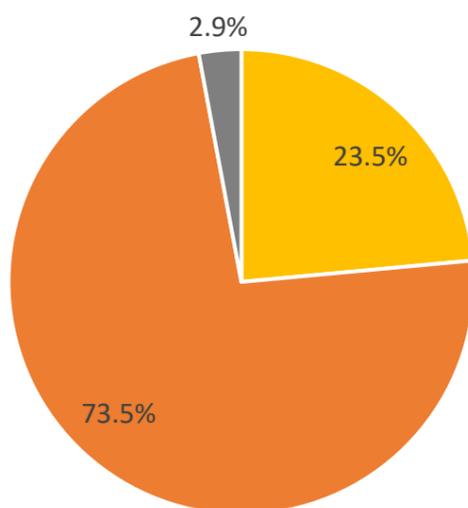
①シラバスに沿って授業を行えた。



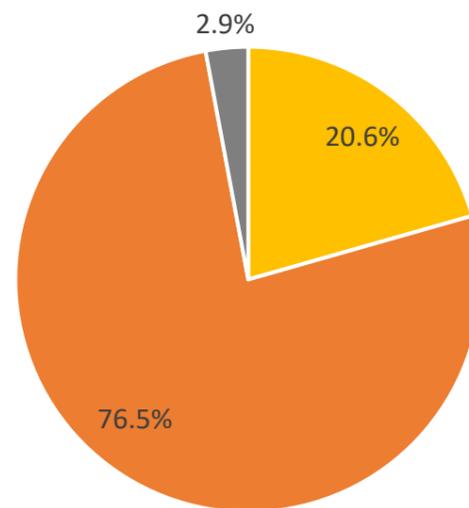
②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



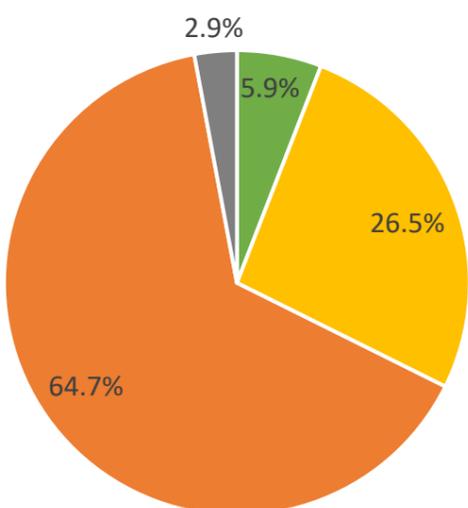
③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）



④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

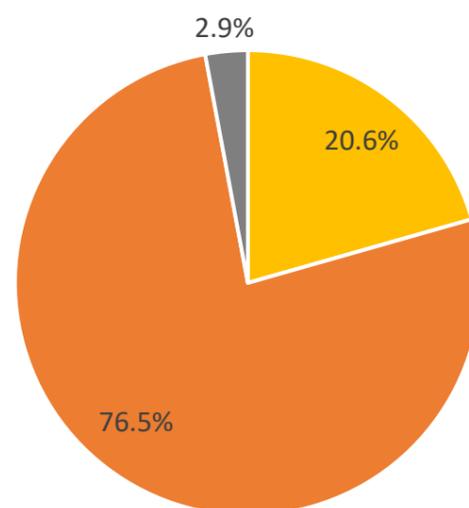


⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

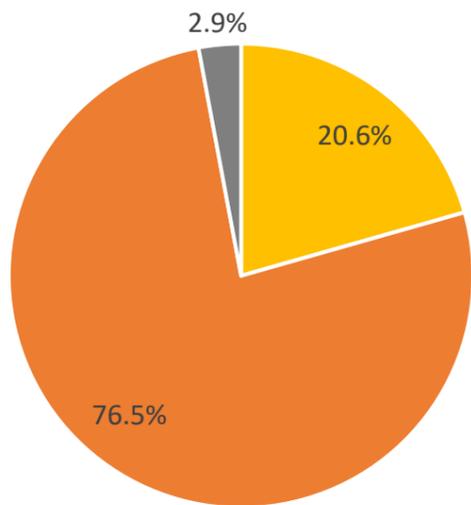


⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

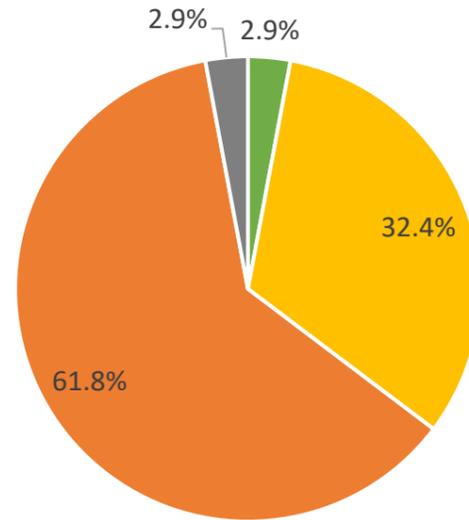
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



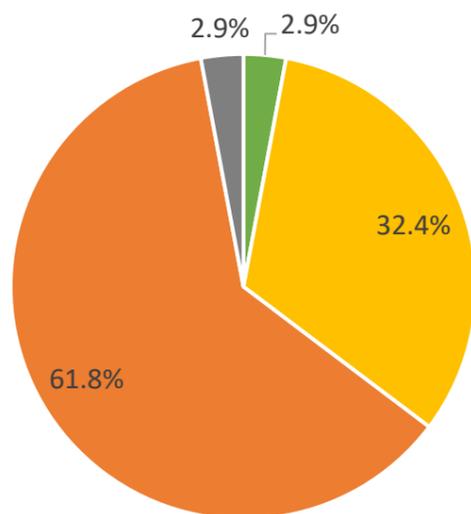
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた/学生の授業への能動的な参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



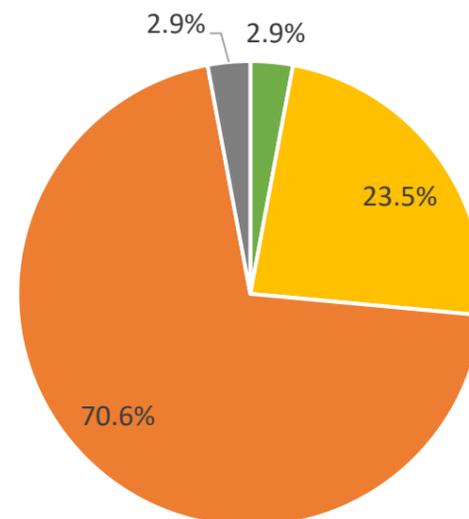
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



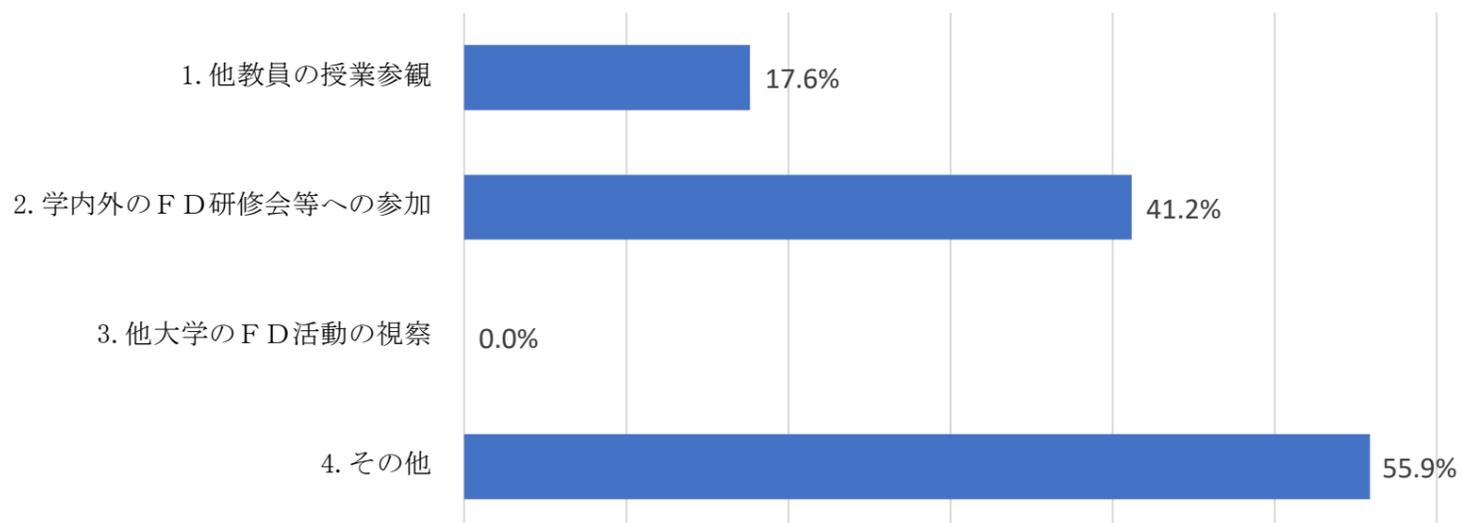
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(英語)

B(問2~5): FD活動についてお尋ねします。

問2. この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3. 昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答：28クラス（順不同）

[1]	学生からのフィードバック
[2]	学生からのフィードバック
[3]	学生からのフィードバック
[4]	Incorporated more listening
[5]	配布資料の記載をより明確にした。
[6]	Incorporated more listening content
[7]	Incorporated more listening content
[8]	incorporated more listening content
[9]	incorporated more listening material this year
[10]	自身で行っている毎回のコメントカードによる授業改善
[11]	自身で行っている毎回のコメントカードによる授業改善
[12]	自身で行っている毎回のコメントカードによる授業改善
[13]	生徒の性格や能力を考慮して、毎回の授業の準備を改善した。
[14]	生徒の性格や能力を考えて、毎回の授業の準備を改善しました。
[15]	生徒の性格や能力を考えて、毎回の授業の準備を改善しました。
[16]	今年度は、できるだけ4技能をバランスよく育成できるように新しい教科書を採用し実施した。
[17]	新たに資料作成に使用する資料を増やし、学生が授業内で目にする医療英単語を増やすことに努めた。
[18]	シラバスの前半半分の授業内容を医学英単語に焦点を置き、医療英単語に頻出する接頭辞と接尾辞を多く紹介する授業内容に変更した。
[19]	クラスの生徒全員の名前と座っている場所を覚える能力が向上したので、個々の生徒に質問に答えたり、プレゼンテーションに参加したりできるようになりました。
[20]	中間、期末試験の解答用紙を白紙への記述から穴埋めの記述に変更した。これにより学習目標に含まれていない英語表現の記述時間を省き、学生が試験を受験する時間を削減した。
[21]	私は、オーストラリア、イギリス、カナダ、アメリカのいくつかの州で働くためのビザを取得するために使用される医療英語テスト (Occupational English Test) に基づいた履歴書と紹介状のタスクを取るために使用しました。
[22]	非常勤講師との2名体制で1科目を担当するため、学生からの学習計画（次回の指示や課題提出期間の明示）が分かりづらいという授業評価を受け、教員同士で授業前後の意思疎通を図ったり、WebClassでの学生案内を多用することで教員間の相互理解を促進したり、工夫するようになった。
[23]	非常勤講師との2名体制で1科目を担当するため、学生からの学習計画（次回の指示や課題提出期間の明示）が分かりづらいという授業評価を受け、教員同士で授業前後のコミュニケーションを図ったり、WebClassでの学生案内を多用して教員間の相互理解を図ったり、工夫するようになった。
[24]	非常勤講師との2名体制で1科目を担当するため、学生からの学習計画（次回の指示や課題提出期間の明示）が分かりづらいという授業評価を受け、教員同士で授業前後の意思疎通を図ったり、WebClassでの学生案内を多用することで教員間の相互理解を促進したり、工夫するようになった。
[25]	非常勤講師との2名体制で1科目を担当するため、学生からの学習計画（次回の指示や課題提出期間の明示）が分かりづらいという授業評価を受け、教員同士で授業前後のコミュニケーションを図ったり、WebClassでの学生案内を多用して教員間の相互理解を図ったり、工夫するようになった。
[26]	非常勤講師との2名体制で1科目を担当するため、学生からの学習計画（次回の指示や課題提出期間の明示）が分かりづらいという授業評価を受け、教員同士で授業前後のコミュニケーションを図ったり、WebClassでの学生案内を多用して教員間の相互理解を図ったり、工夫するようになった。
[27]	非常勤講師との2名体制で1科目を担当するため、学生からの学習計画（次回の指示や課題提出期間の明示）が分かりづらいという授業評価を受け、教員同士で授業前後のコミュニケーションを図ったり、WebClassでの学生案内を多用して教員間の相互理解を図ったり、工夫するようになった。
[28]	クラス編成で下位のクラスであることを考慮、「わかる」ために何をどう教えるかを念頭に授業を組み立てる。TOEICの学習は、定着を図るために前期の内容を再履修、問題演習を増やして理解度を自分で確認できるようにする。後期に読む時事英語の記事は、学生が「面白い」と感じられるような身近な題材の記事を採用する。

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：24クラス（順不同）

[1]	コンテンツが多すぎるのかもしれない。
[2]	グループやペア活動を多く取り入れていること。
[3]	Exposed students to an abundance of authentic material
[4]	Students exposed to native English and cultural topics
[5]	Exposed students to a lot of authentic language material
[6]	provided wealth of authentic materials and cultural explanations
[7]	My class provides authentic English content and cross-cultural understanding
[8]	スピーキングやライティングの力もより育成できるように、来年は改善したいと思う。
[9]	中間、期末試験前に復習の時間を設け、学生間での教え合いや教員への質問の環境を設けた。
[10]	毎回の授業前のレッスンプランを改善することで、毎回の授業をより良いものにしていきたいです。
[11]	毎回の授業前のレッスンプランを改善することで、毎回の授業をより良いものにしていきたいです。
[12]	毎回の授業前のレッスンプランを改善することで、毎回の授業をより良いものにしていきたいです。
[13]	授業名が「コミュニケーション英語」の為、もう少し患者との英語での会話の際に使用する表現の紹介を行いたい。
[14]	学期中に学生をグループに分け、グループで一緒にプロジェクトに取り組み、それを後でクラスの他の生徒と共有するという取り組みが成功したのを見て、私は嬉しく思いました。
[15]	独自の資料を作成し、接頭辞や接尾辞を紹介したのち、これらの語を含む医療英単語の意味を推測させる活動を行った。グループ活動によりお互いに学生が教えあう環境を作り、授業内でも十分に英単語を理解して意味を記憶できるように努めた。
[16]	「英語は難しい」という感覚から抜け出せない学生が多かったので、できるだけ丁寧な解説や演習を心掛けたつもりではあるが、その分、アクティビティに避ける時間が短くなった感がある。ペアワークは毎回実施できたが、グループワークで自分の考えを述べる活動までは持っていけなかったことは反省点。
[17]	音読を中心とする4技能統合型の授業を実施し、受講生の技能を総合的に育成することができた。特に、オーラルスキルのパフォーマンスの向上がみられた。 しかし、他の関連授業科目のクラスで生成AIやグーグルレンズを不適切に使用して授業内外の課題に取り組む学生が報告されたため、この科目の評価方法を大幅に変更せざるを得なくなってしまった。（既に作っていた）ルーブリック評価の変更も間に合わなかったため、今後の課題としたい。
[18]	・今回、英語テキストについて予習を強く促し、多くの学生は真面目に取り組んでいた。しかし、中に、授業中に翻訳機を使って訳をとっている学生がおり、その学生を授業後に呼び出して翻訳機を使うことは英語力をつけていることにはならないのでやめるよう指導した。のちほど、「今後はしっかり予習をします」というメールが来たので、おそらく指導を理解してくれたと思う。ただし、翻訳機の使用に関する指導はこれから十分気を付け、学生が安易に翻訳機に頼らない方向を考えたい。
[19]	TOEICを扱う科目であるため、学生が授業以外の自主学習でTOEICの受験に向かっていけるように、受験までの準備方法の指導や先輩学生の体験談発表を取り入れることで学生のマインドセット（どんな目標を立て、それに自分がどう取り組むかを決める態度）を高める工夫をした。また、アクティブラーニングをより多く取り入れるため、対話型授業を心掛けた。さらには、受動的な学習にとどまらないよう、非常勤講師との2名体制でアウトプットによる学習に取り組めるように授業を設計した。
[20]	TOEICを扱う科目であるため、学生が授業以外の自主学習でTOEICの受験に向かっていけるように、受験までの準備方法の指導や先輩学生の体験談発表を取り入れることで学生のマインドセット（どんな目標を立て、それに自分がどう取り組むかを決める態度）を高める工夫をした。また、アクティブラーニングをより多く取り入れるため、対話型授業を心掛けた。さらには、受動的な学習にとどまらないよう、非常勤講師との2名体制でアウトプットによる学習に取り組めるように授業を設計した。
[21]	TOEICを扱う科目であるため、学生が授業以外の自主学習でTOEICの受験に向かっていけるように、受験までの準備方法の指導や先輩学生の体験談発表を取り入れることで学生のマインドセット（どんな目標を立て、それに自分がどう取り組むかを決める態度）を高める工夫をした。また、アクティブラーニングをより多く取り入れるため、対話型授業を心掛けた。さらには、受動的な学習にとどまらないよう、非常勤講師との2名体制でアウトプットによる学習に取り組めるように授業を設計した。
[22]	TOEICを扱う科目であるため、学生が授業以外の自主学習でTOEICの受験に向かっていけるように、受験までの準備方法の指導や先輩学生の体験談発表を取り入れることで学生のマインドセット（どんな目標を立て、それに自分がどう取り組むかを決める態度）を高める工夫をした。また、アクティブラーニングをより多く取り入れるため、対話型授業を心掛けた。さらには、受動的な学習にとどまらないよう、非常勤講師との2名体制でアウトプットによる学習に取り組めるように授業を設計した。

[23]	TOEICを扱う科目であるため、学生が授業以外の自主学習でTOEICの受験に向かっていけるように、受験までの準備方法の指導や先輩学生の体験談発表を取り入れることで学生のマインドセット（どんな目標を立て、それに自分がどう取り組むかを決める態度）を高める工夫をした。また、アクティブラーニングをより多く取り入れるため、対話型授業を心掛けた。さらには、受動的な学習にとどまらないよう、非常勤講師との2名体制でアウトプットによる学習に取り組めるように授業を設計した。
[24]	TOEICを扱う科目であるため、学生が授業以外の自主学習でTOEICの受験に向かっていけるように、受験までの準備方法の指導や先輩学生の体験談発表を取り入れることで学生のマインドセット（どんな目標を立て、それに自分がどう取り組むかを決める態度）を高める工夫をした。また、アクティブラーニングをより多く取り入れるため、対話型授業を心掛けた。さらには、受動的な学習にとどまらないよう、非常勤講師との2名体制でアウトプットによる学習に取り組めるように授業を設計した。

問5. F D活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

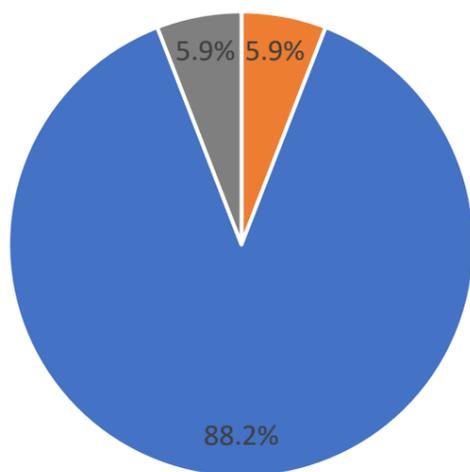
提出：0クラス

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（英語）

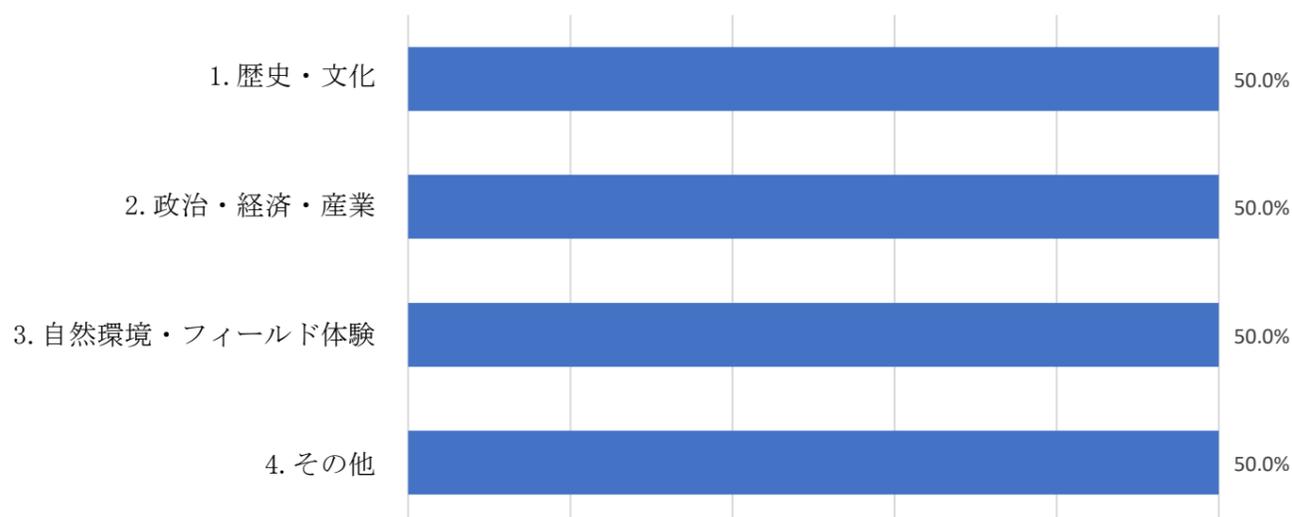
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【 ■ 1. はい ■ 2. いいえ ■ 未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。（複数回答可）



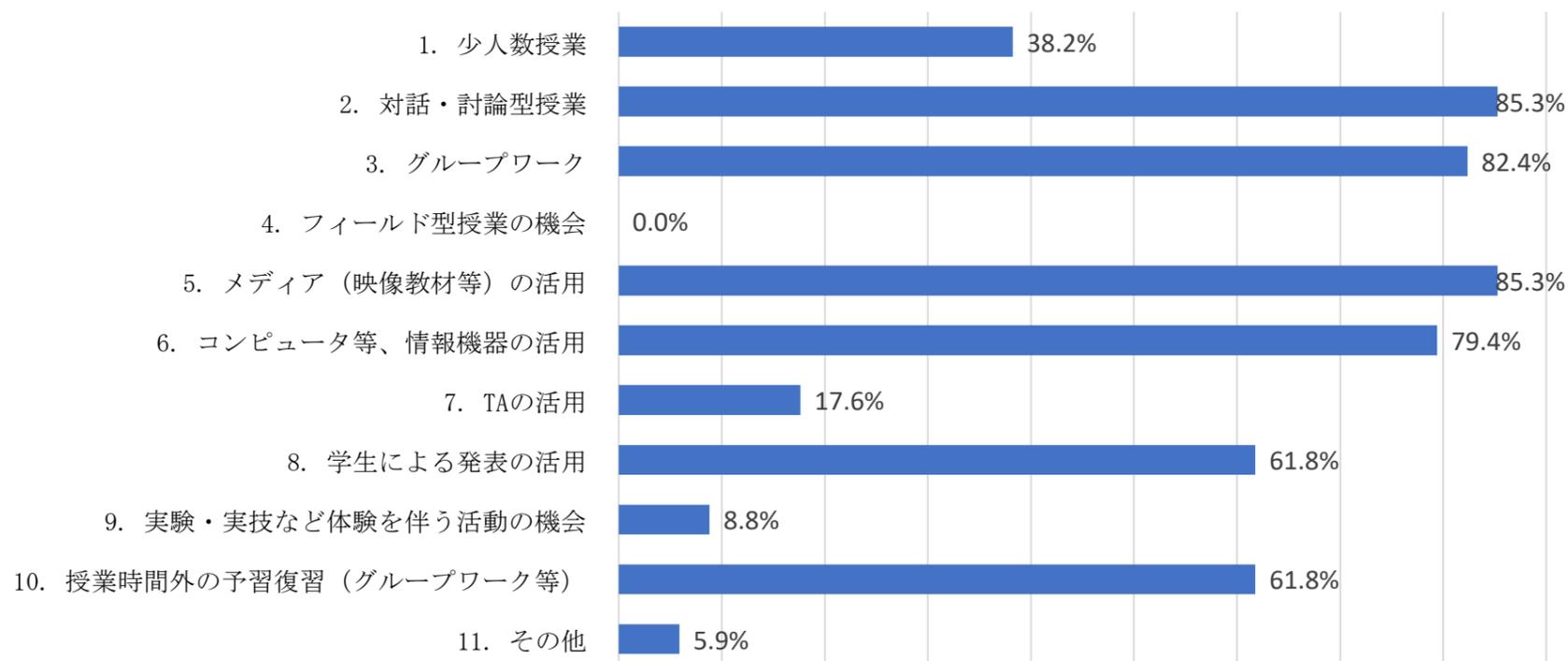
問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

回答：2クラス（順不同）

[1]	私は本物の宮崎母子手帳を使った。また、宮崎の精神科病院の情報も、精神衛生の課題として使いました。
[2]	私は、地元や地域の現実に関連する概念を英語で説明する例として、宮崎地域を頻繁に使用しました。その後、学生たちは私が示した宮崎モデルを使用して、英語でグループプロジェクトを作成するように求められました。

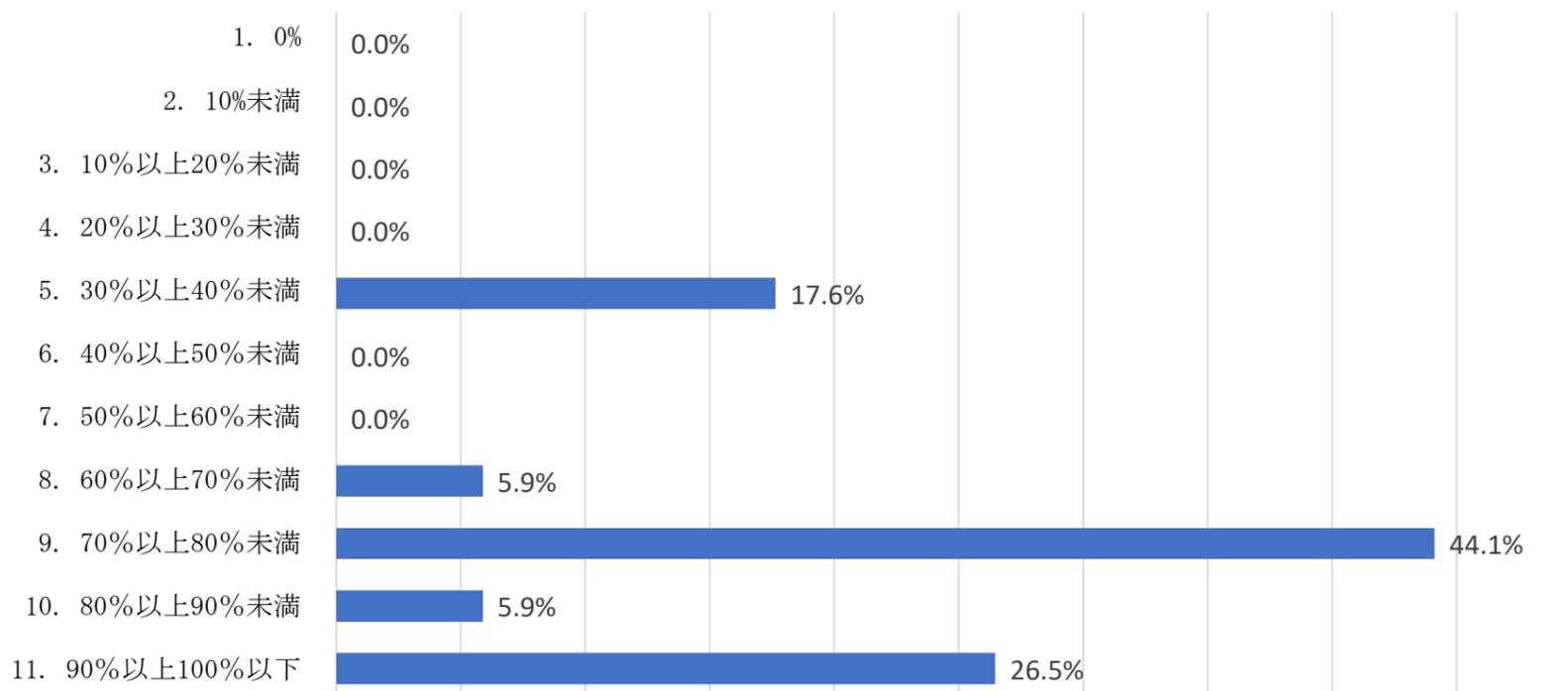
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

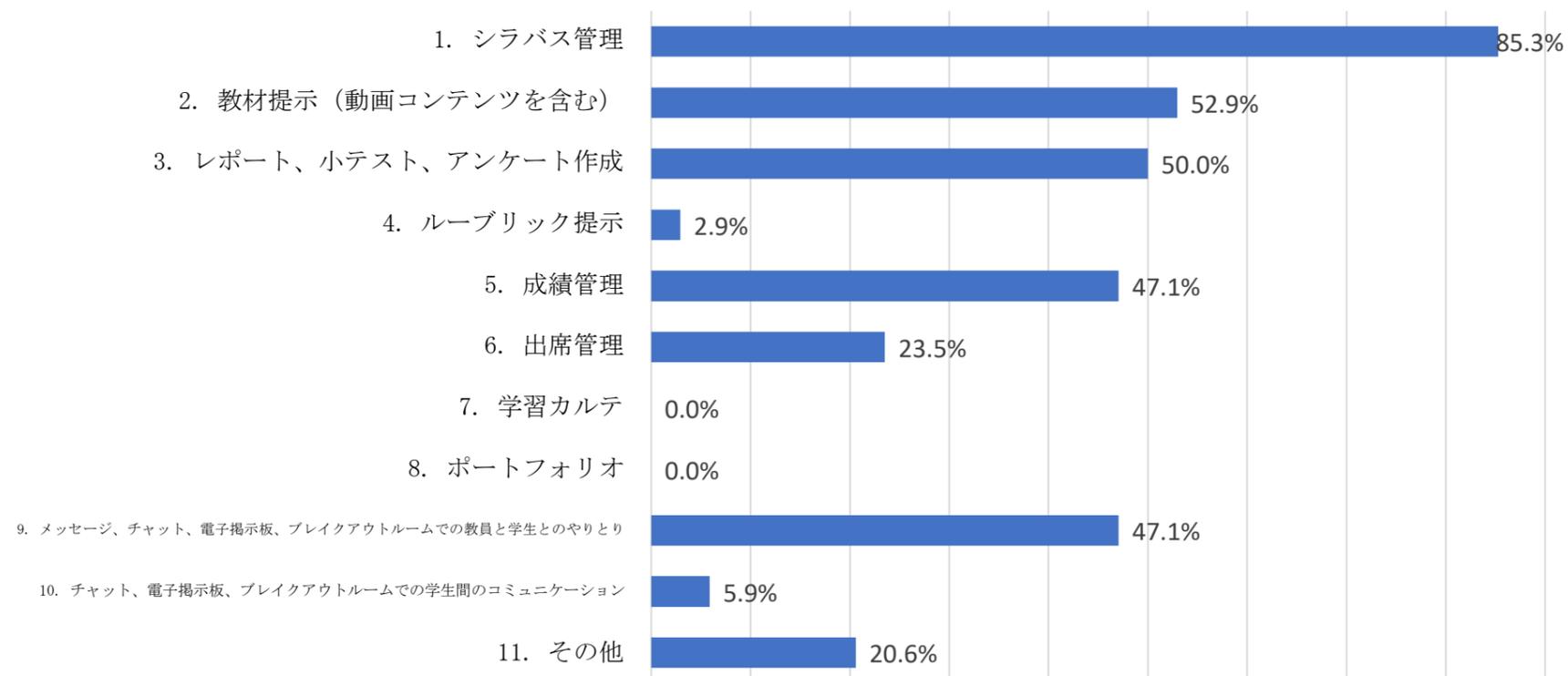
回答：26クラス（順不同）

[1]	学生からのフィードバック
[2]	生徒のアウトプットを増やす。
[3]	生徒のアウトプットを増やす。
[4]	生徒のアウトプットが増えた。
[5]	学生が主体的に授業に参加できる
[6]	学生が主体的に活動に取り組む様子が確認できた。
[7]	encourage students to actively express themselves
[8]	encouraged students to actively express themselves

[9]	Encouraged students to express themselves in English
[10]	Encouraged students to express themselves in English
[11]	Encouraged students to express themselves in English
[12]	学生間による教え合い活動により、各学生の課題発見や知識発展の機会を設けた。
[13]	学生間の対話が多く、授業への集中力を維持するために効果的であったと考えます
[14]	学生間の対話が多く、授業への集中力を維持するために効果的であったと考えます
[15]	学生主体の授業が出来ていると思う。教員にとっても、学生がどこでつまづいているかが分かるのでありがたい。
[16]	ほとんどの生徒がグループ内で積極的に行動するのは、自分の考えをアウトプットする必要がある、それを書き留めるのが普通だからだ。
[17]	学生間で協力して課題解決に取り組んだり、復習活動を行うことで学生個人の問題解決や課題発見の機会を増やすことに努めた。また教員は各グループ間を周り、個別の質問にも対応するように努めた。
[18]	学生にとっては能動的な学習に転化されることで主体性が増し、メディアや教材・人材の活用によって学習理解が深まる。その学習過程を観察する中で教員である私自身は学習者（学生）側で理解できていない点を認知し、一方的に教員から学習内容を与えるのではなく、学習者（学生）に沿った内容で教えることができた。
[19]	学生にとっては能動的な学習に転化されることで主体性が増し、メディアや教材・人材の活用によって学習理解が深まる。その学習過程を観察する中で教員である私自身は学習者（学生）側で理解できていない点を認知し、一方的に教員から学習内容を与えるのではなく、学習者（学生）に沿った内容で教えることができた。
[20]	学生にとっては能動的な学習に転化されることで主体性が増し、メディアや教材・人材の活用によって学習理解が深まる。その学習過程を観察する中で教員である私自身は学習者（学生）側で理解できていない点を認知し、一方的に教員から学習内容を与えるのではなく、学習者（学生）に沿った内容で教えることができた。
[21]	学生にとっては能動的な学習に転化されることで主体性が増し、メディアや教材・人材の活用によって学習理解が深まる。その学習過程を観察する中で教員である私自身は学習者（学生）側で理解できていない点を認知し、一方的に教員から学習内容を与えるのではなく、学習者（学生）に沿った内容で教えることができた。
[22]	学生にとっては能動的な学習に転化されることで主体性が増し、メディアや教材・人材の活用によって学習理解が深まる。その学習過程を観察する中で教員である私自身は学習者（学生）側で理解できていない点を認知し、一方的に教員から学習内容を与えるのではなく、学習者（学生）に沿った内容で教えることができた。
[23]	学生にとっては能動的な学習に転化されることで主体性が増し、メディアや教材・人材の活用によって学習理解が深まる。その学習過程を観察する中で教員である私自身は学習者（学生）側で理解できていない点を認知し、一方的に教員から学習内容を与えるのではなく、学習者（学生）に沿った内容で教えることができた。
[24]	教員にとっては、知識・技能の教え込みではなく、受講生のパフォーマンス向上のための指導・助言に徹することで、負担が軽減した。 受講生にとっては、知識・技能を一方的に教え込まれるのではなく、音読パフォーマンスの相互評価やスモールトークを通して、良好な人間関係を構築しながら相互にオーラルスキルを高めることができたと考えられる。
[25]	英語教育学では、ピアジェやヴィゴツキーなどの教育研究の先駆者や神経科学者の一般的な見解に基づくコンセンサスとして、言語学習者の脳は、最も多くの学習が、上級の専門家からではなく、学習者同士のコミュニケーション（能動学習）から得られるように構成されている、というものがあります。したがって、生徒が協力して言語を学習することは、生徒にとって非常に有益です。
[26]	学生側・・教師の声を聞くのではなく、パートナーに自分の英語を聞いてもらえるという点から、声が大きく、能動的な姿勢で活動に参加できる。テキスト以外のトピックであっても自分で考えて簡単な言葉で表現して伝えるということを実感できる利点があるように感じる。 教師側・・アクティビティをしているときの学生同士の話し方、話し声、表情などが、非常に活発になることが、机間巡視しながらよくわかる。英語を話すことが手の届かない難しいものではないことを実感して欲しいと思える瞬間である。

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

回答：20クラス（順不同）

[1]	学生が必要に応じて資料を確認できる
[2]	学生との連絡をメッセージ機能で取れるので、大変助かっている。
[3]	WebClass essential to holding regular quizzes and posting materials
[4]	WebClass essential to holding regular listening quizzes and other activities
[5]	このクラスではGoogle Classroomをあまり使わず、紙ベースの教材を好んで使っています。
[6]	このクラスではGoogle Classroomをあまり使わず、紙ベースの教材を好んで使っています。
[7]	このクラスではGoogle Classroomを使わず、紙や教科書を使った教材を好んで使っています。
[8]	WebClass was essential for the regular quizzes on listening content and for posting materials
[9]	パワーポイントの使い方を含め、ソフトウェアやICT機器活用の基礎技能により習熟したと考えられる。
[10]	掲示板に課題をアップロードすることにより、学生間でのピア・レビューをスムーズに行うことができました
[11]	掲示板に課題をアップロードすることにより、学生間でのピア・レビューをスムーズに行うことができました
[12]	この授業では、Google Classroomという学習管理システムを使い、教科書をベースにした授業のタスクを管理した。
[13]	これは難しい質問です。WebClass を使用してアクティブ ラーニングを刺激することには明らかに利点と欠点の両方があるからです。とはいえ、私の考えでは、教師が WebClass プラットフォームを使用してそれらの手順を効果的に伝達および普及させることに基づいて、クラス用にアクティブ ラーニング手順を事前に準備しておけば、私の経験では、WebClass は学生のアクティブ ラーニングを明確にし、強化することができます。
[14]	非常勤講師とのチームティーチングでクラスを2つに分けて指導したため、授業内の教員の連絡が学生全員に十分に行き届かないこともありうる。その点を補完するため、WebClassでの全員一斉への案内にして教員同士が相互理解できるように工夫し、学生の能動的学習を支援した。具体的には、日本語を運用しない非常勤講師に代わりに学生への必要なメールや連絡を日本語で補助したり、学内外から届く海外渡航や国際交流の情報を整理して共有したりした。
[15]	非常勤講師とのチームティーチングでクラスを2つに分けて指導したため、授業内の教員の連絡が学生全員に十分に行き届かないこともありうる。その点を補完するため、WebClassでの全員一斉への案内にして教員同士が相互理解できるように工夫し、学生の能動的学習を支援した。具体的には、日本語を運用しない非常勤講師に代わりに学生への必要なメールや連絡を日本語で補助したり、学内外から届く海外渡航や国際交流の情報を整理して共有したりした。
[16]	非常勤講師とのチームティーチングでクラスを2つに分けて指導したため、授業内の教員の連絡が学生全員に十分に行き届かないこともありうる。その点を補完するため、WebClassでの全員一斉への案内にして教員同士が相互理解できるように工夫し、学生の能動的学習を支援した。具体的には、日本語を運用しない非常勤講師に代わりに学生への必要なメールや連絡を日本語で補助したり、学内外から届く海外渡航や国際交流の情報を整理して共有したりした。

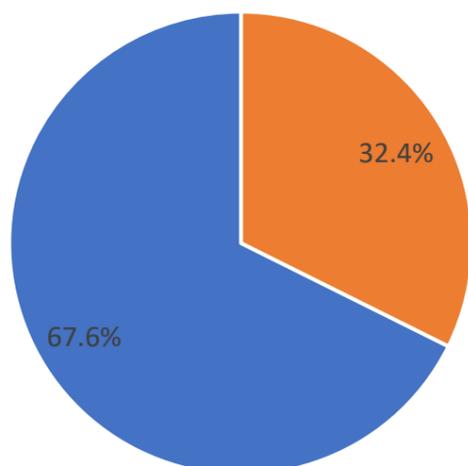
[17]	非常勤講師とのチームティーチングでクラスを2つに分けて指導したため、授業内の教員の連絡が学生全員に十分に行き届かないこともありうる。その点を補完するため、WebClassでの全員一斉への案内にして教員同士が相互理解できるように工夫し、学生の能動的学習を支援した。具体的には、日本語を運用しない非常勤講師に代わりに学生への必要なメールや連絡を日本語で補助したり、学内外から届く海外渡航や国際交流の情報を整理して共有したりした。
[18]	非常勤講師とのチームティーチングでクラスを2つに分けて指導したため、授業内の教員の連絡が学生全員に十分に行き届かないこともありうる。その点を補完するため、WebClassでの全員一斉への案内にして教員同士が相互理解できるように工夫し、学生の能動的学習を支援した。具体的には、日本語を運用しない非常勤講師に代わりに学生への必要なメールや連絡を日本語で補助したり、学内外から届く海外渡航や国際交流の情報を整理して共有したりした。
[19]	非常勤講師とのチームティーチングでクラスを2つに分けて指導したため、授業内の教員の連絡が学生全員に十分に行き届かないこともありうる。その点を補完するため、WebClassでの全員一斉への案内にして教員同士が相互理解できるように工夫し、学生の能動的学習を支援した。具体的には、日本語を運用しない非常勤講師に代わりに学生への必要なメールや連絡を日本語で補助したり、学内外から届く海外渡航や国際交流の情報を整理して共有したりした。
[20]	予習・復習の指示、追加課題の掲載と指示など、機能を有効に利用できる。メッセージをWebclassに掲示することで、情報漏れを防ぐこともできる。学生との個別の連絡も可能なため、欠席届にとどまらず、個々の学生の質問に答えたり、学習相談などに利用することも容易である。特に学生とのやり取りは時間に拘束されることもなく便利である。カウンセリングが必要な学習相談などはお互いに都合の良い時間を設定してWeb上、もしくは対面で実施することも容易。Webclass上で行う小テストや定期テストも現代のSNS時代を生きる学生には適切な学習方法の一つではないかと考える。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（英語）

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

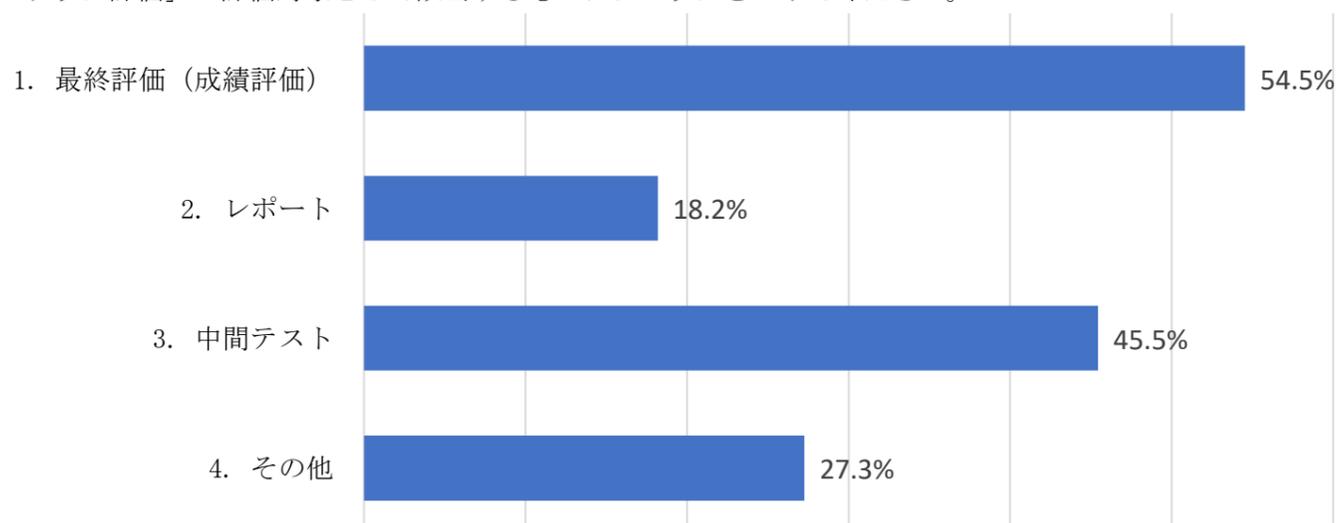
問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 1. 導入した 2. 導入していない 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。



問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：7クラス（順不同）

[1]	その方が生徒にとってわかりやすい。
[2]	その方が学生にとっては分かりやすい。
[3]	プレゼンテーション発表において、求められるスキルを明示した。
[4]	これは、学習成果と、学生がそれをどの程度達成しているかを判断する手段を学生に適切に知らせるために必要です。
[5]	英語のスピーキング面接では、親しみやすさ、流暢さ、文法、医学的な方向性、ノートの取り方を基準にしています。
[6]	英語のスピーキング面接では、親しみやすさ、流暢さ、文法、医学的な方向性、ノートの取り方を基準にしています。
[7]	教員がどのような形式で、どのようなレポートを望んでいるかを学生に明示することで、教員と学生間での課題理解のズレを解消した。

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：12クラス（順不同）

[1]	その方が生徒にとってわかりやすい。
[2]	その方が生徒にとってわかりやすい。
[3]	その方が生徒にとってわかりやすい。
[4]	その方が学生にとっては分かりやすい。
[5]	いくつかの達成難易度の低いカテゴリーの配点が高すぎる為、改善したい。
[6]	アウトプット活動の一環で実施する学生発表にはルーブリック評価を導入することを検討している。
[7]	アウトプット活動の一環で実施する学生発表にはルーブリック評価を導入することを検討している。
[8]	アウトプット活動の一環で実施する学生発表にはルーブリック評価を導入することを検討している。
[9]	アウトプット活動の一環で実施する学生発表にはルーブリック評価を導入することを検討している。
[10]	アウトプット活動の一環で実施する学生発表にはルーブリック評価を導入することを検討している。
[11]	アウトプット活動の一環で実施する学生発表にはルーブリック評価を導入することを検討している。
[12]	今回のような大規模クラスでは、ルーブリックは、学生のパフォーマンスに関する非常に一般化された定量的な期待値の限られた数に対してのみ使用できます。一方、小規模クラスでは、達成可能で効果的に評価できる特定の質的な学業スキルを学生に説明することで、ルーブリックは学生にとってより多くのメリットをもたらします。

回答数 7 クラス

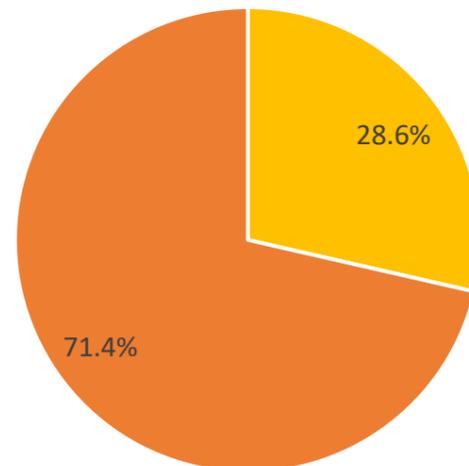
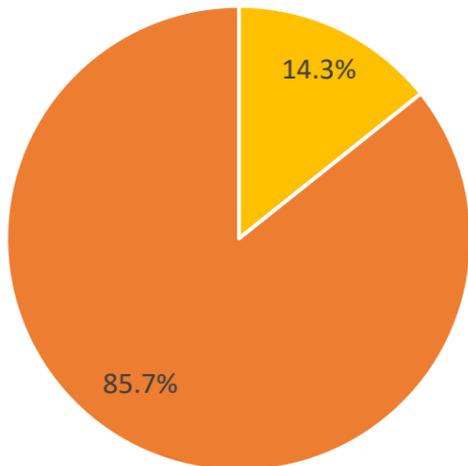
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 ■ 1.あてはまらない ■ 2.あまりあてはまらない ■ 3.ややあてはまる ■ 4.あてはまる ■ 未回答 】

問1

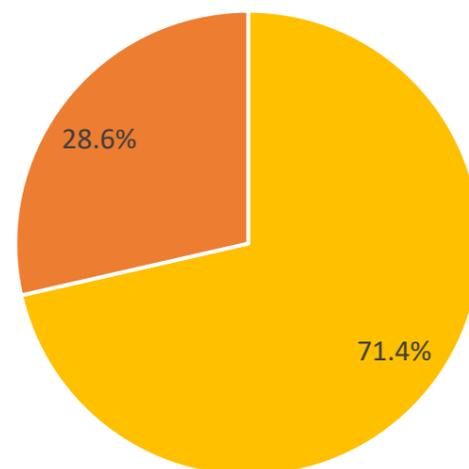
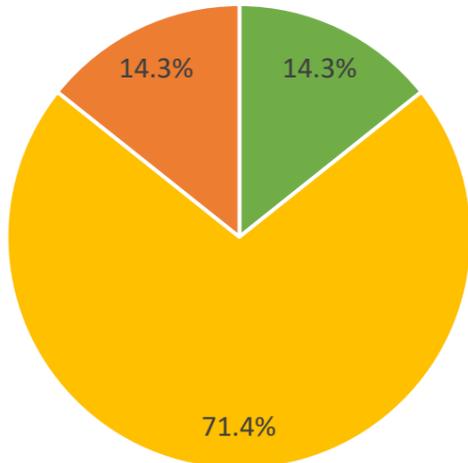
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

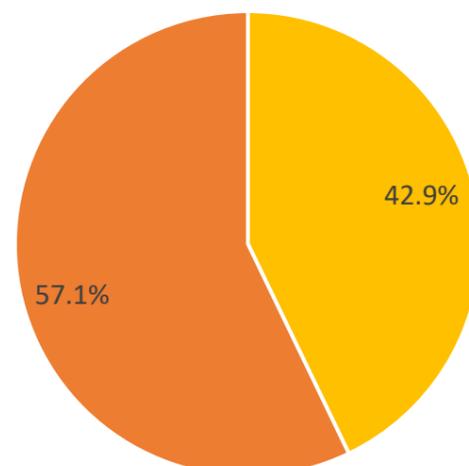
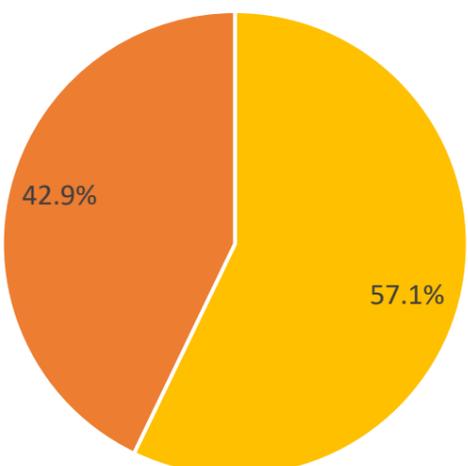
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

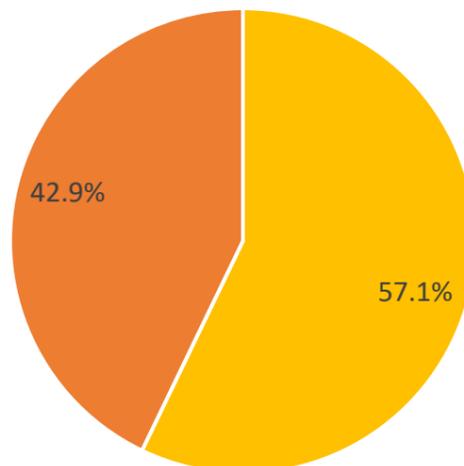
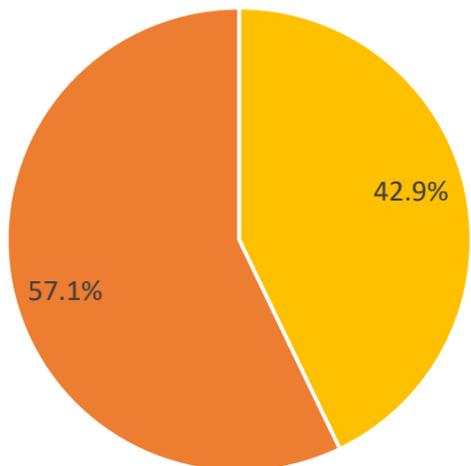
⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



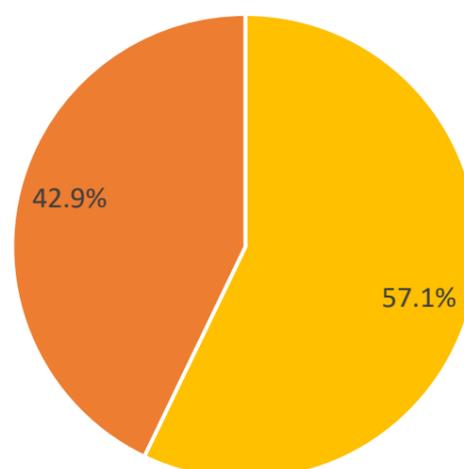
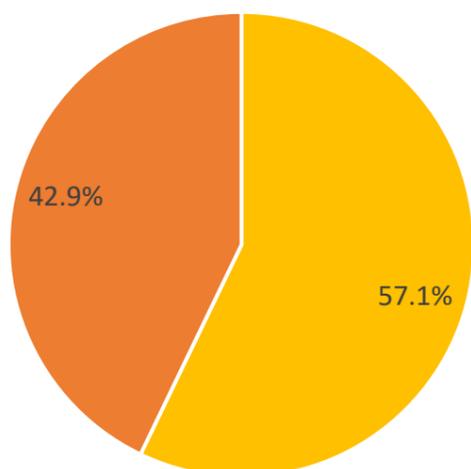
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた／学生からの質問・発言を促した
 ／学生の理解度を確かめながら進めた／学生の授業への能動的な
 参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)

⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

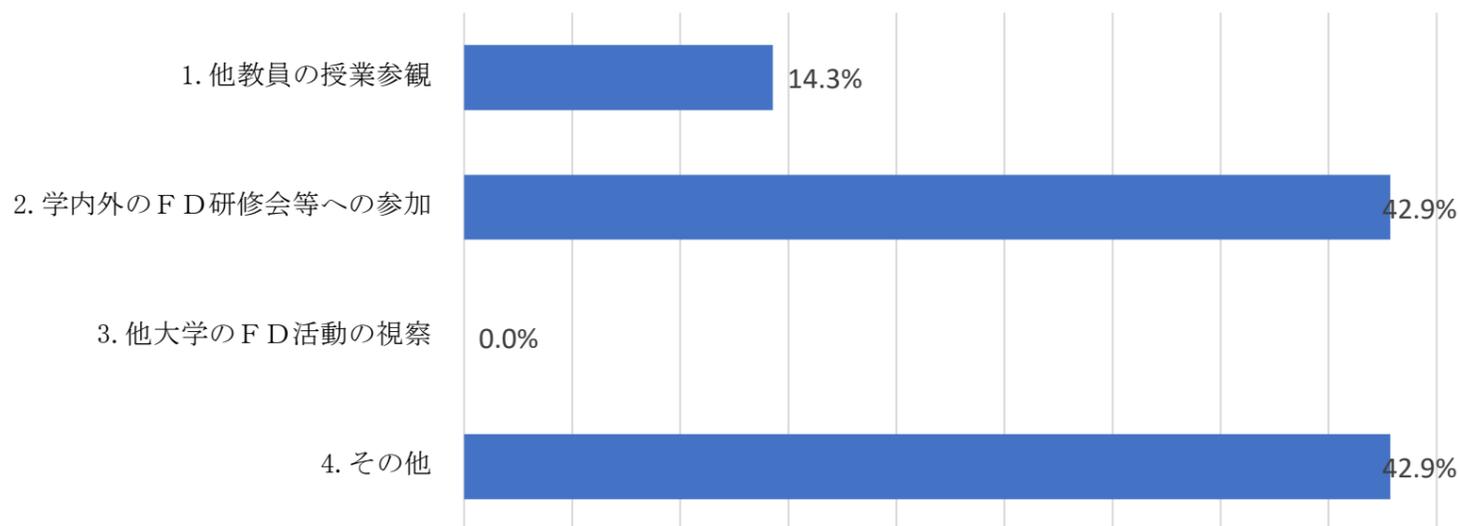
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(専門接続系)

B(問2~5):FD活動についてお尋ねします。

問2.この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3.昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答:3クラス(順不同)

[1]	毎時間レポートを課した。
[2]	受講生のレベルや理解度に応じた授業内容を設定し調整に努めた。
[3]	発達障害の理解について演習・体験的な内容を取り上げる時間を増やした。

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：3クラス（順不同）

[1]	様々な先生から話をしていただき、多様な視点から教育的課題を考える機会が提供できた。
[2]	120名を超える受講者で固定された机である中で可能な演習を入れたことでアクティブ・ラーニングの実践につながったと思う。受講者のニーズにどの程度応えられているか、よく吟味して次年度に生かす必要がある。
[3]	教室には、学生の質問に答えるため授業開始前10～15分には入室することにした。このことは学生にも周知させ自身も授業に臨む姿勢を示したつもりである。板書は301教室の変則的黒板で違和感があり、小生も書きづらく学生はノートを取りにくく迷惑をかけたと考えている。

問5. FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

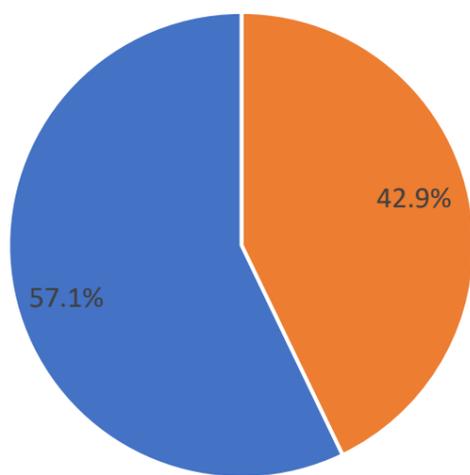
提出：0クラス

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（専門接続系）

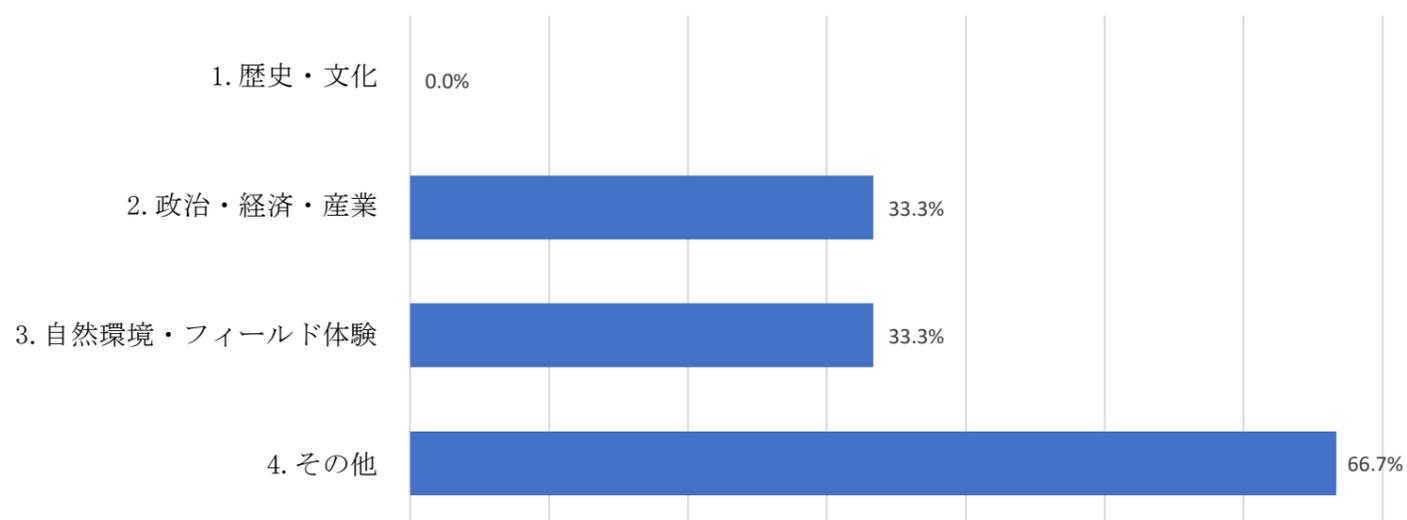
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【  1. はい  2. いいえ  未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。（複数回答可）



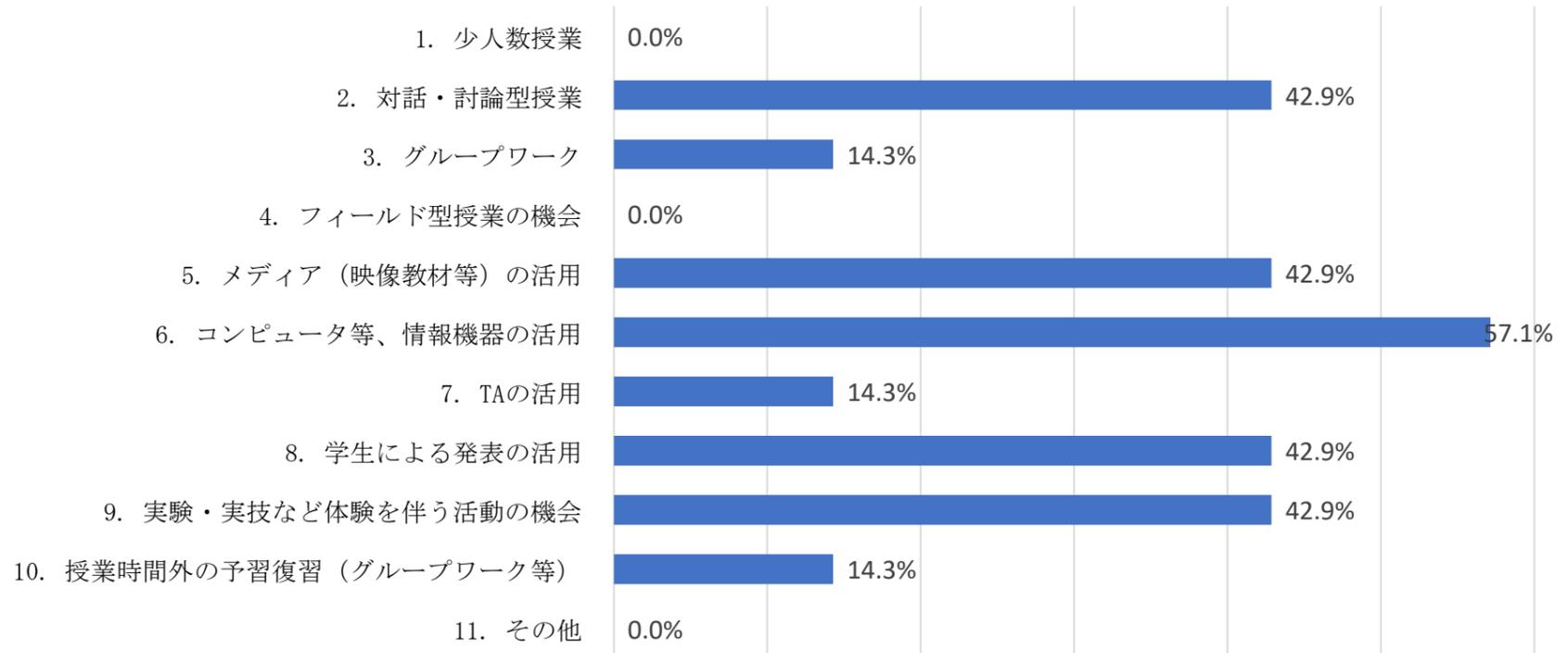
問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

回答：1クラス（順不同）

[1] 宮崎県教育研修センターが新たに立ち上げたコネクトについて話をしてもらった。

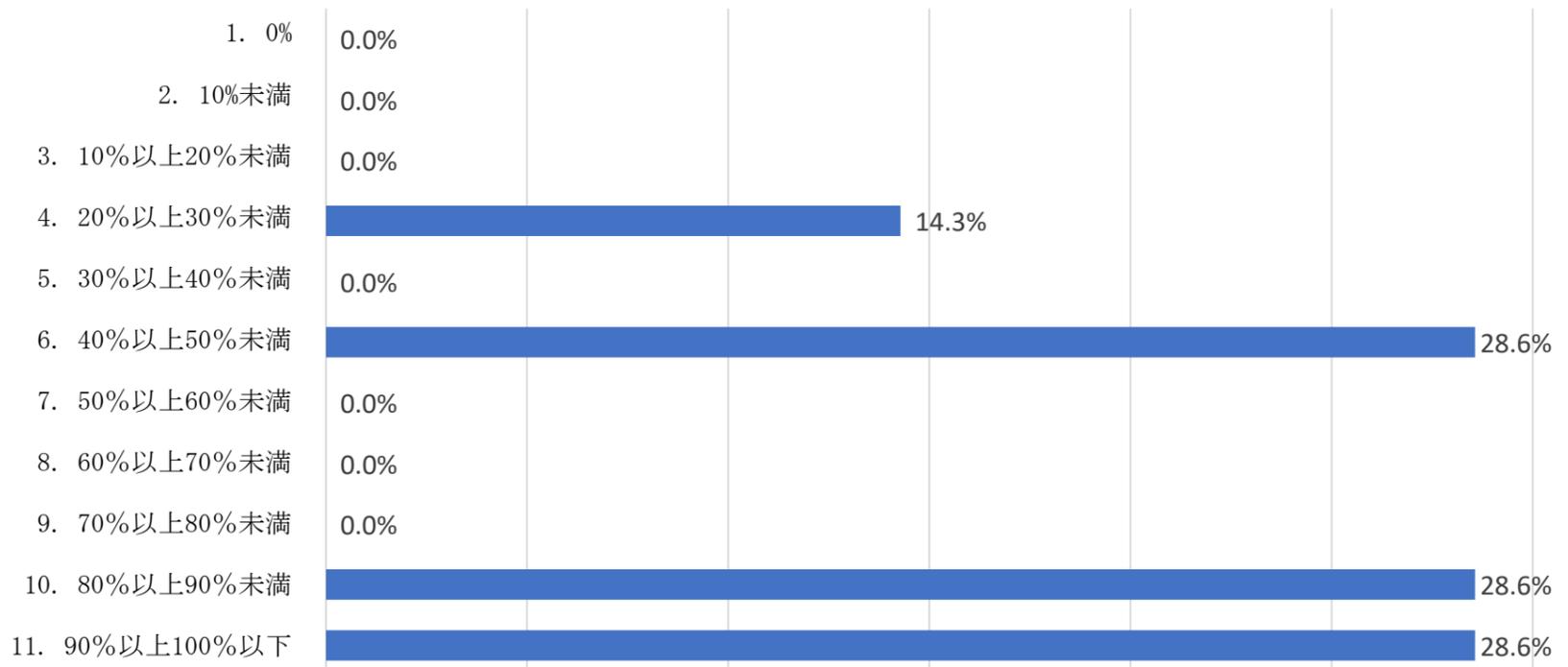
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

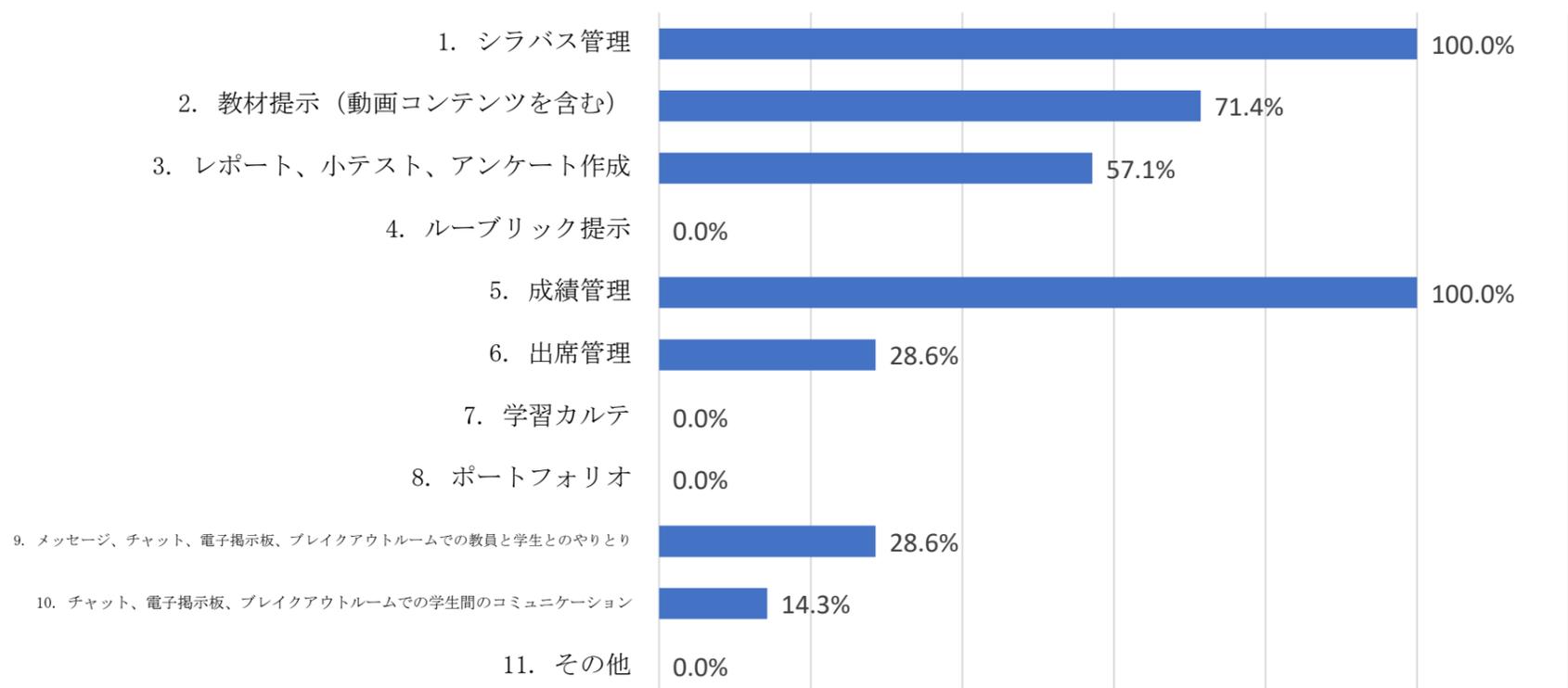
回答：6クラス（順不同）

[1]	演習的内容を取り入れたことで受講者が意欲的に取り組んでいた。
[2]	教員にとっては、学生の深い理解につながった。学生にとっては、授業内容の深い理解につながった。
[3]	学生が能動的・主体的に授業に参加することで、他者とのコミュニケーションや他者への思いやりがよく見られた。
[4]	学生が能動的・主体的に授業に参加することによって、他者とのコミュニケーションや他者への思いやりがよく見られた。
[5]	レビューポイントを事前に示し、学生同士のレポートをピアレビューさせることで、学生は他受講生のレポートからレポートの書き方や着眼点などを学ぶことができた。教員は大量のレポートへの添削の時間を削減することができた。
[6]	教員にとっては、学生の授業内容の理解度を把握する上で大いに効果がある。また、学生にとっては短時間内に自己の考えを纏め整理して、自己の言葉で他者に説明し理解させること如何にが難しいかを痛感すると同時にトレーニングになったと思う。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（専門接続系）

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

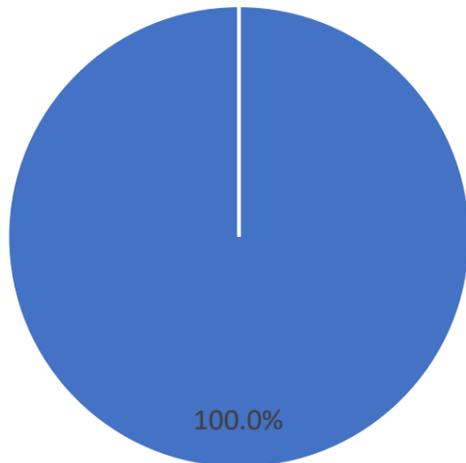
回答：4クラス（順不同）

[1]	WebClassを通じて毎回復習確認レポートを課したので、深い理解につながり、それが次の授業に対する意欲へつながった。
[2]	Webclassを利用したことで、学生が自分の時間を見つけて課題に取り組むことができ、また自己管理能力も高まると考える。
[3]	Webclassを利用したことで、学生が自分の時間を見つけて課題に取り組むことができ、また自己管理がしっかりできるようになったと考える。
[4]	対面式会話でないため、学生は教師の顔を見ずに気にすることなく、自由に意思表示ができ学生との情報交換が短時間にしかもスピーディー行えることである。

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 ■ 1. 導入した ■ 2. 導入していない ■ 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。

1. 最終評価（成績評価）	0.0%																		
2. レポート	0.0%																		
3. 中間テスト	0.0%																		
4. その他	0.0%																		

問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：0クラス

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：0クラス

回答数 2 クラス

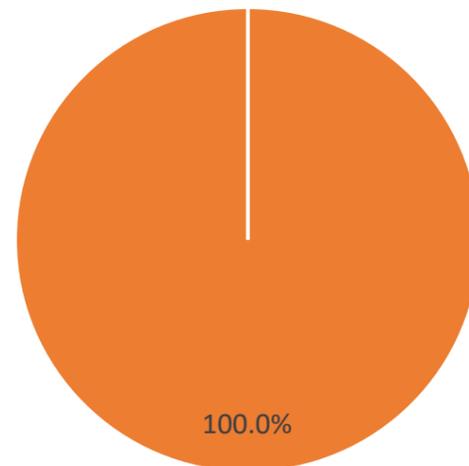
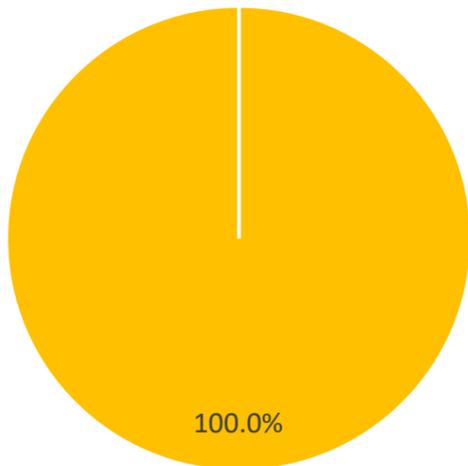
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 ■ 1. あてはまらない ■ 2. あまりあてはまらない ■ 3. ややあてはまる ■ 4. あてはまる ■ 未回答 】

問1

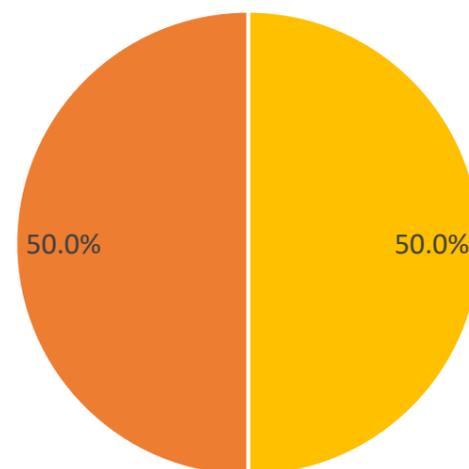
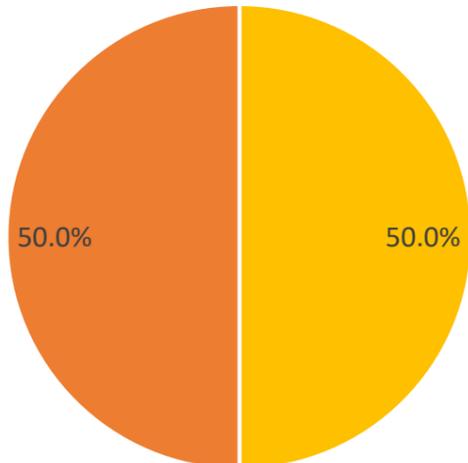
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

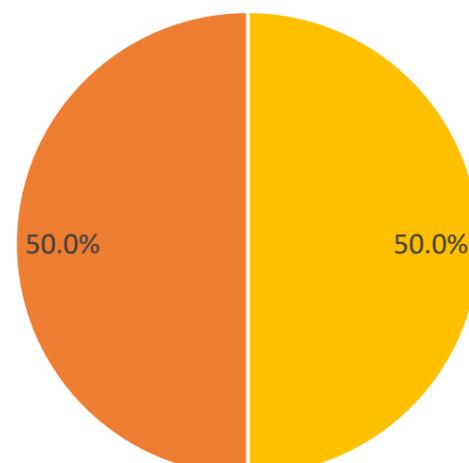
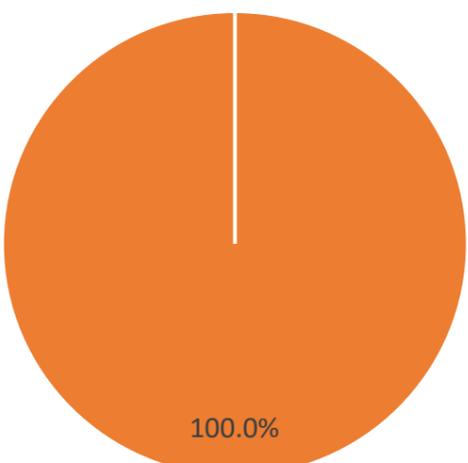
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



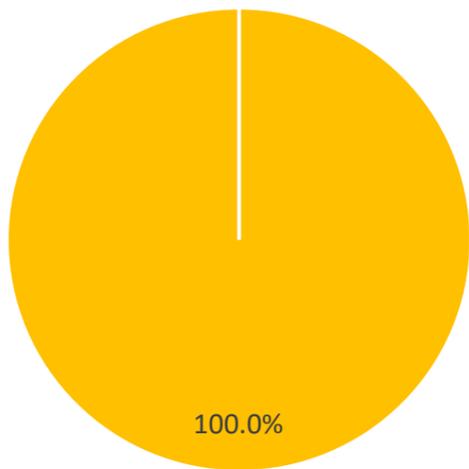
⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

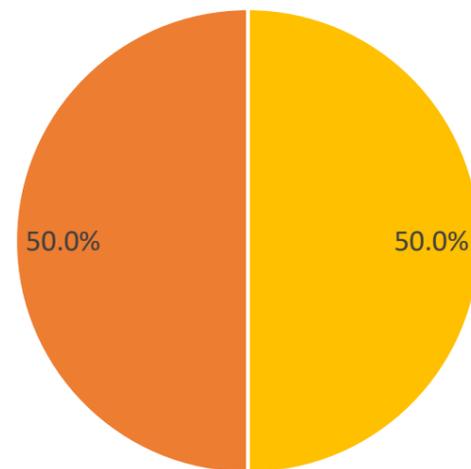
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



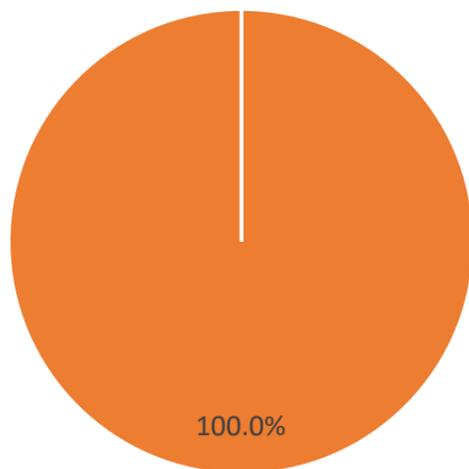
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた／学生からの質問・発言を促した
 ／学生の理解度を確かめながら進めた／学生の授業への能動的な
 参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



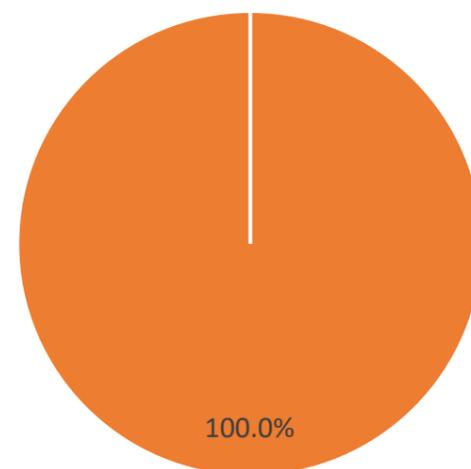
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



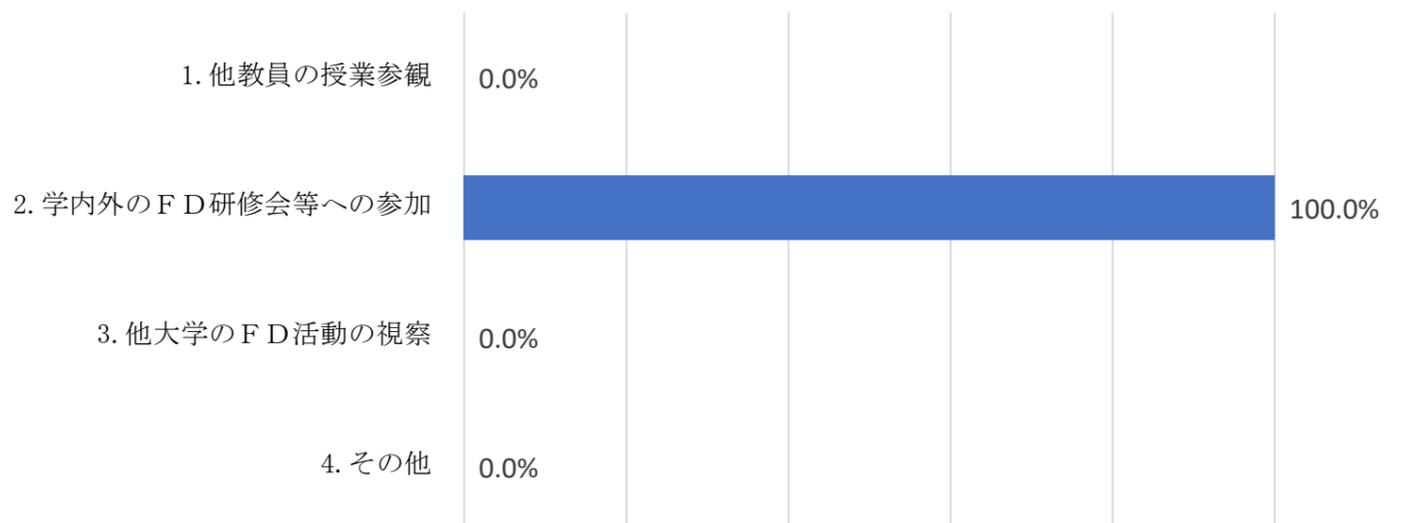
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(データサイエンス系)

B(問2~5):FD活動についてお尋ねします。

問2.この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



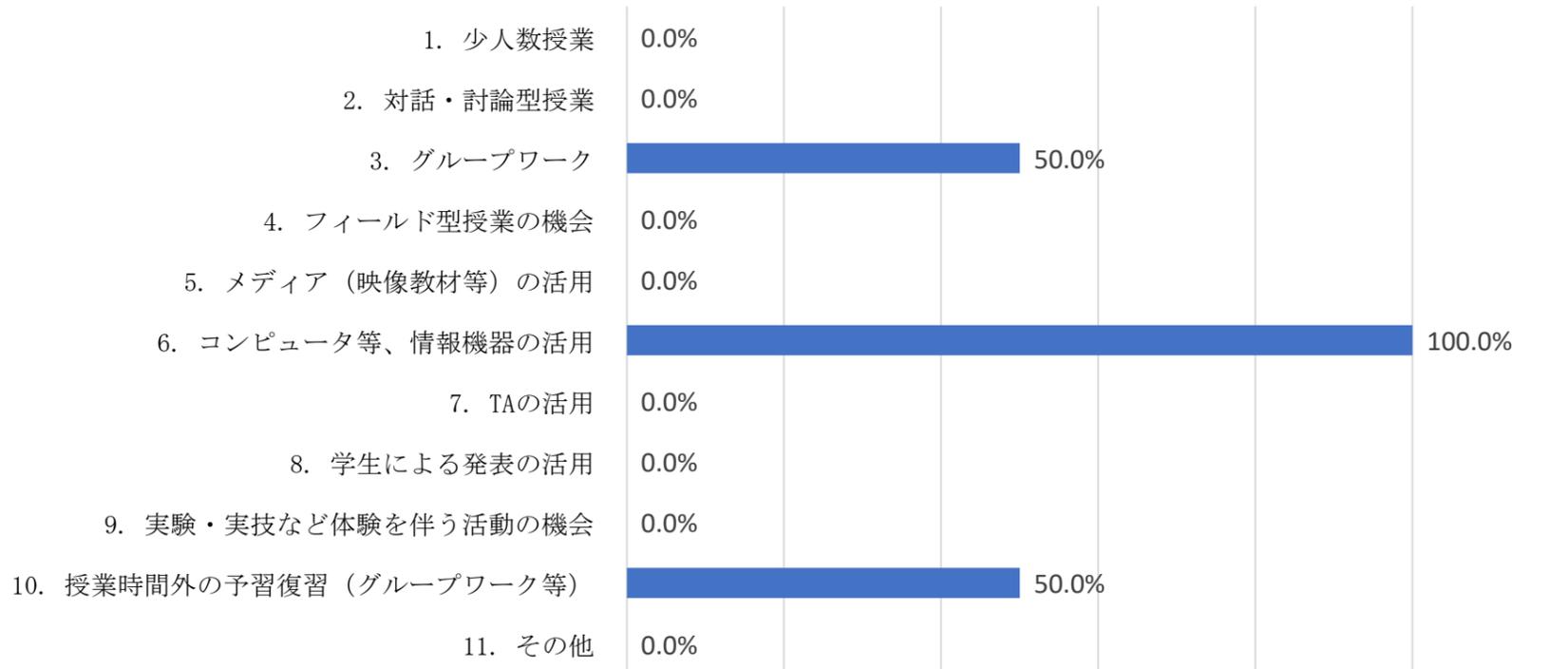
問3.昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答:1クラス(順不同)

[1] 高校での「情報」必修化にあたり、本講義と内容が重複する部分を削除し、学生の興味を引けそうな「実践的セキュリティ対策」を加えた。

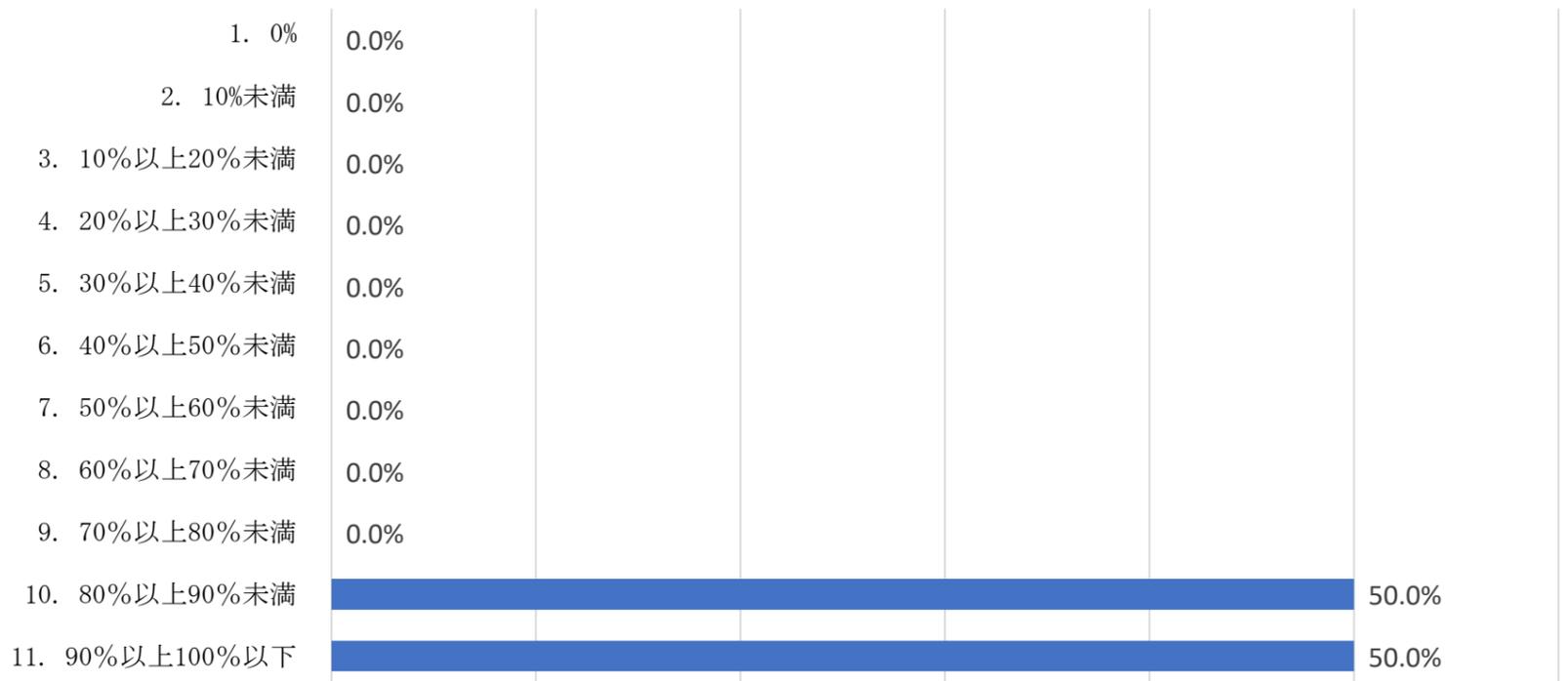
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

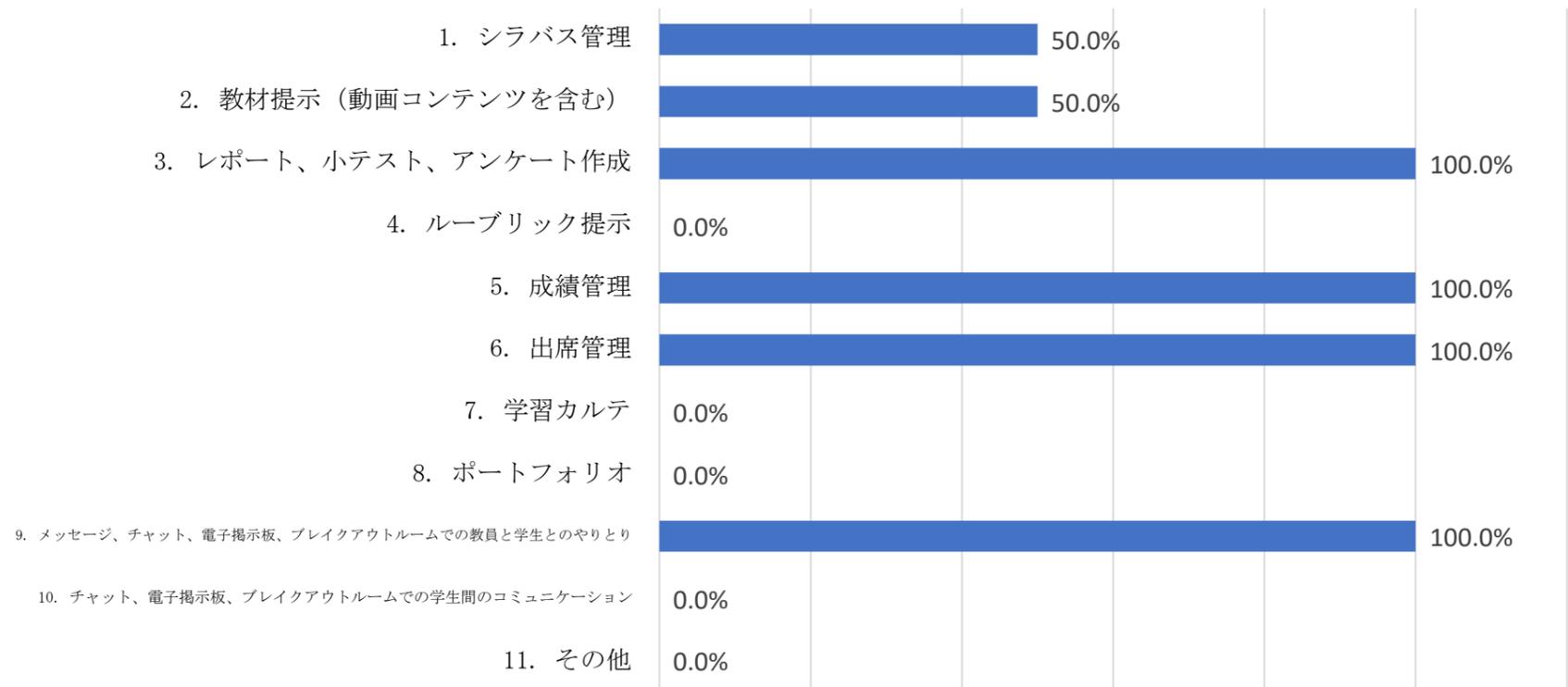
アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

回答：2クラス（順不同）

[1]	グループでの話し合い活動を通して、学生の理解の状況を把握したり、直接学生と会話することができた。
[2]	授業時間外での予復習クイズが成績に加味され、かつその得点が遅刻で半減、欠席でゼロになるよう設定しており、オンライン予復習クイズに真面目に取り組む学生が増え、かつ得点を学生本人に都度開示しているのでやりがいにも繋がっているように感じる。

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

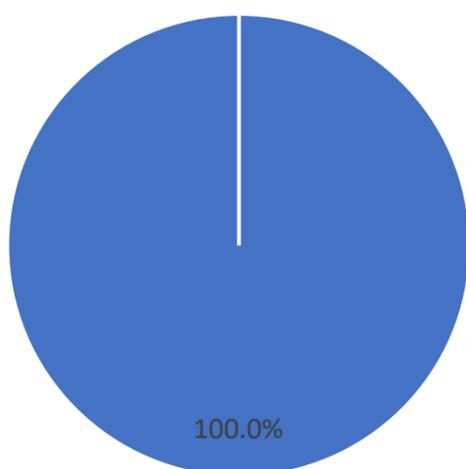
回答：1クラス（順不同）

[1]	授業時間外での予復習クイズが成績に加味され、かつその得点が遅刻で半減、欠席でゼロになるよう設定しており、オンライン予復習クイズに真面目に取り組む学生が増え、かつ得点を学生本人に都度開示しているのでやりがいにも繋がっているように感じる。
-----	---

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 ■ 1. 導入した ■ 2. 導入していない ■ 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。

1. 最終評価（成績評価）	0.0%																			
2. レポート	0.0%																			
3. 中間テスト	0.0%																			
4. その他	0.0%																			

問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：0クラス

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：0クラス

回答数 18 クラス

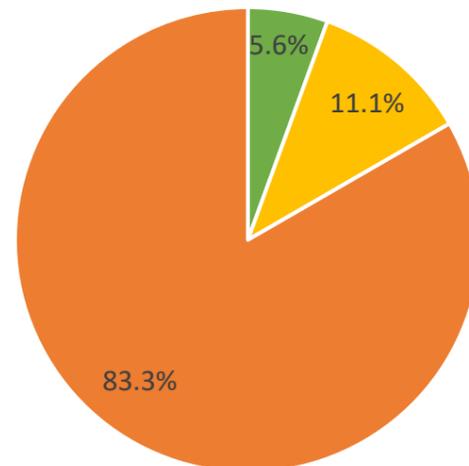
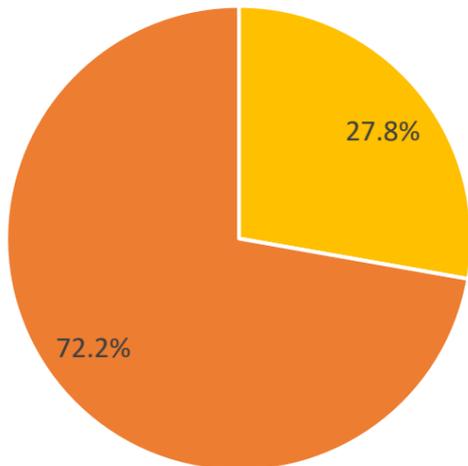
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. ややあてはまる 4. あてはまる 未回答 】

問1

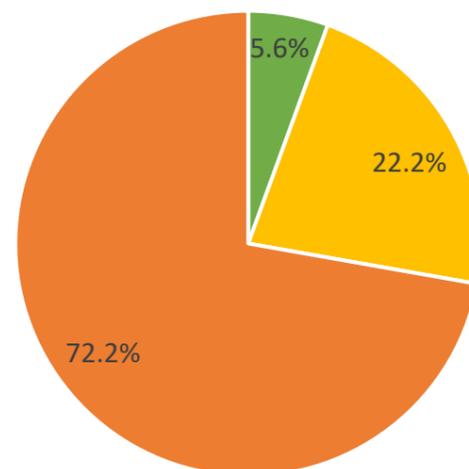
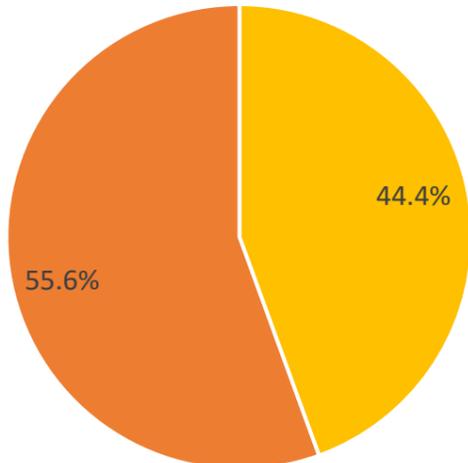
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

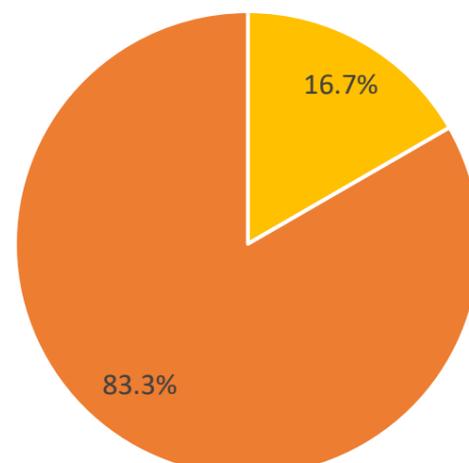
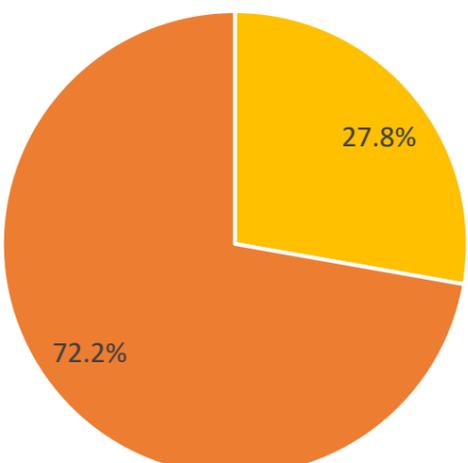
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



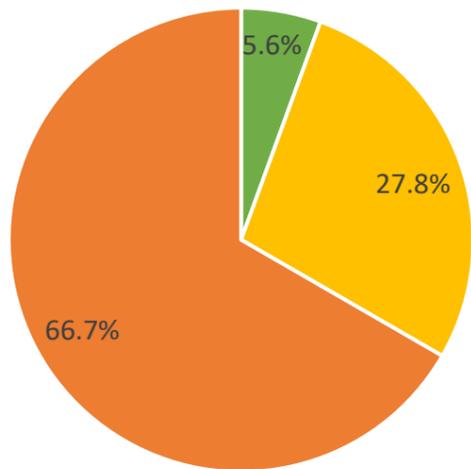
⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

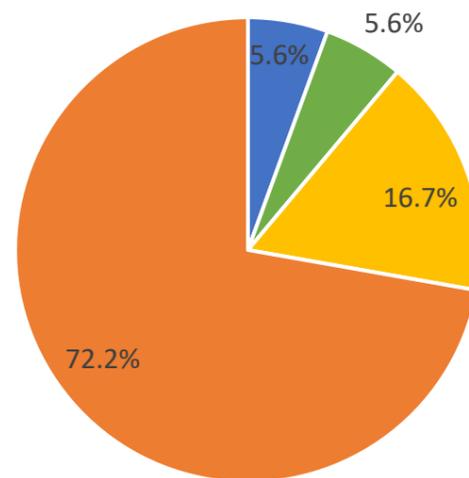
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



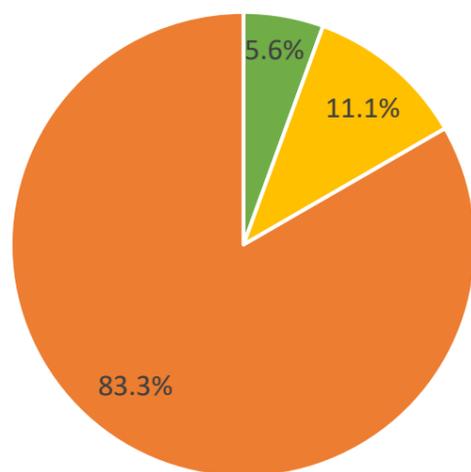
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた／学生からの質問・発言を促した
 ／学生の理解度を確かめながら進めた／学生の授業への能動的な
 参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



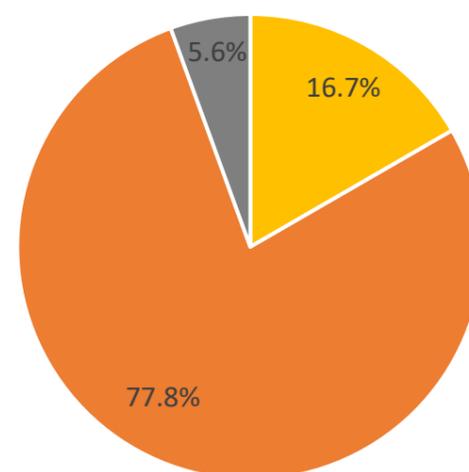
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



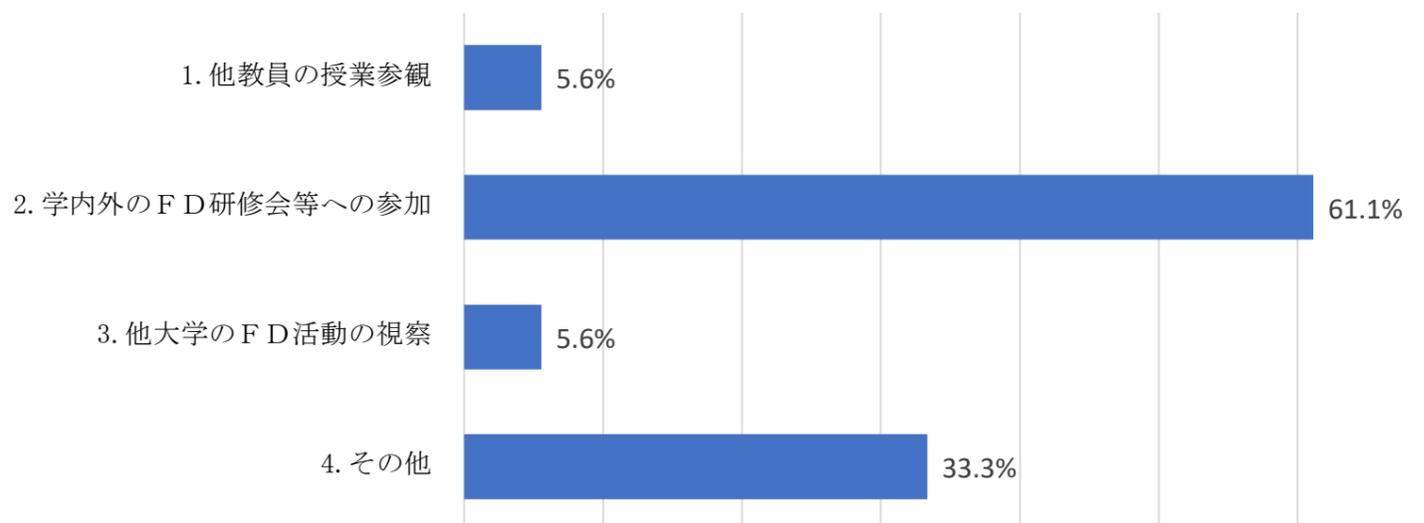
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(人文・社会・芸術系)

B(問2~5): FD活動についてお尋ねします。

問2. この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3. 昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答：10クラス（順不同）

[1]	学生からのフィードバック
[2]	学生からのフィードバック
[3]	毎回の授業を時間内に終えることができた。
[4]	実務を行う教員らによる講義を行った。体験型を多く取り入れた。
[5]	私は、生徒にとってより興味深く、適切なレベルの教材を作り直した。
[6]	Tried to encourage students to reconsider their own cultural background
[7]	授業準備にあたって各地域の現在進行形の状況を紹介する度合いを高めるように心がけた。
[8]	シラバスに、各回の学習内容をそのつど記入し、改訂（加筆）する作業を行った。世の中の情勢に合わせて、学習内容をアクチュアルなものにするように心がけた。
[9]	今回は理科系の学生のみであったため、グループワークに不慣れであった。そのため、段階を踏んで慣れていき、活発な議論展開へと進めていった。途中からグループワークが楽しいという反応が得られた。
[10]	昨年度は、「生命保険の観点から少しズレた、医療保険の講義もあって、少し戸惑いがありました」という意見があった。今年度は、最初のオリエンテーションや「生命保険総論」の講義等で、「保険とは何か」、「民間の生命保険・医療保険・年金保険等につき、社会保険と対比しながら講義を進めていく」旨、講義の趣旨が確実に受講生に伝わるように改善した。

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：11クラス（順不同）

[1]	やや一方通行的であったかと。
[2]	Next year I will update the content
[3]	大学という社会のトピックの多面性を学ばせた点は評価できる。
[4]	受講前に比べて、自らが生きる世界をより広い視野の下で眺めることができる点が評価できる。
[5]	外国人患者の日本の病院での体験談を使ったのですが、生徒にとってとても興味深いものでした。
[6]	寄附講座であり、ホストとして、外部講師をお招きしました。講義が滞りなく実施でき良かったです。
[7]	授業準備をより入念に行い、ルーティンの内容とインプロビゼーションの部分を取り混ぜて講義を進めた。
[8]	伝えたいことを全て網羅して伝えるのではなく、講義で伝えるべき要点を可能な限り絞りこみ、講義に臨んだ。
[9]	グループワークを中心に行うため、苦手意識の高い学生は苦勞した。慣れることで改善されるが、少し時間が掛かったようだ。
[10]	社会的に非常に重要なことを学生が学んでくれていることが評価できる点であると思われる。すべての学生に興味を持ってもらえるような講義にしたい。
[11]	<ul style="list-style-type: none"> よく知っているはずの文学の音読発表をすることで、日本語の音の響きの美しさをサイン指揮してもらえたと思う。 グループで文学の感想の討論をしてもらったが、他者の意見に触れる面白さがあったと思う。 「感想」を4回書いてもらったが、AIの力を借りていないか気になるレポートもあり、今後、指導をどうするかを考えたい。

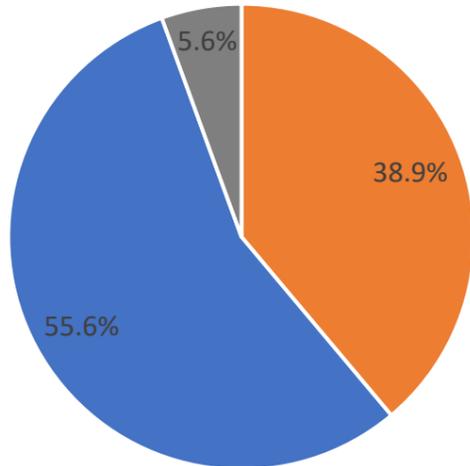
問5. FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出：0クラス

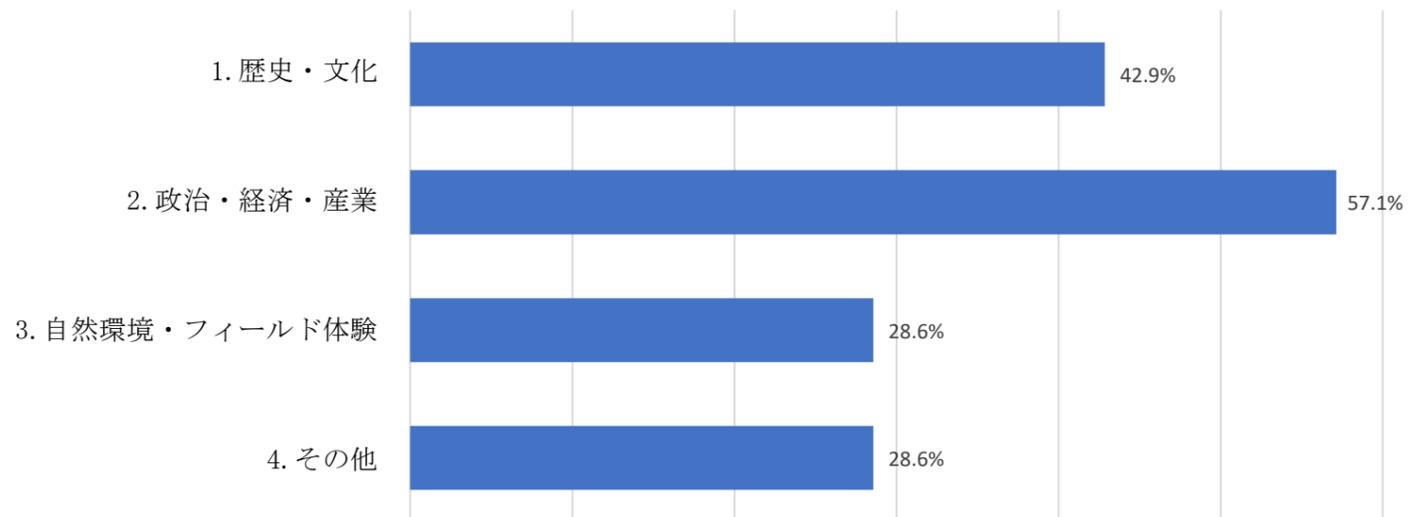
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【 ■ 1. はい ■ 2. いいえ ■ 未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。（複数回答可）



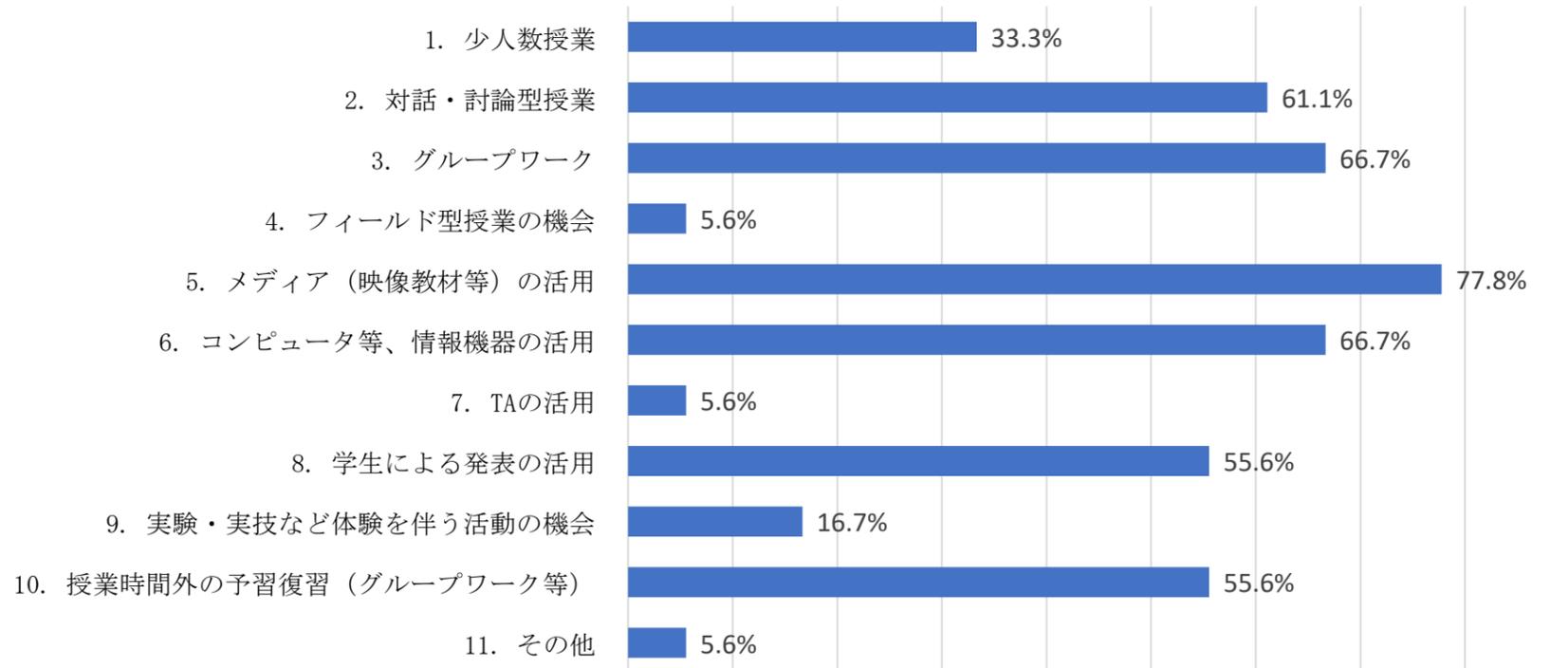
問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

回答：5クラス（順不同）

[1]	福岡で収録された外国人患者の語り。
[2]	進学にともなう頭脳流出をデータに基づき検討した。
[3]	宮崎の事例を少し紹介し活用した。（宮崎と都市部の比較）
[4]	外部講師（宮崎県知事，宮崎県警本部長，宮崎銀行役員など）による，宮崎県政などの講話
[5]	地域の支援学校や福祉事業所の講師が含まれているため、地域の福祉の現状を学ぶことができている。

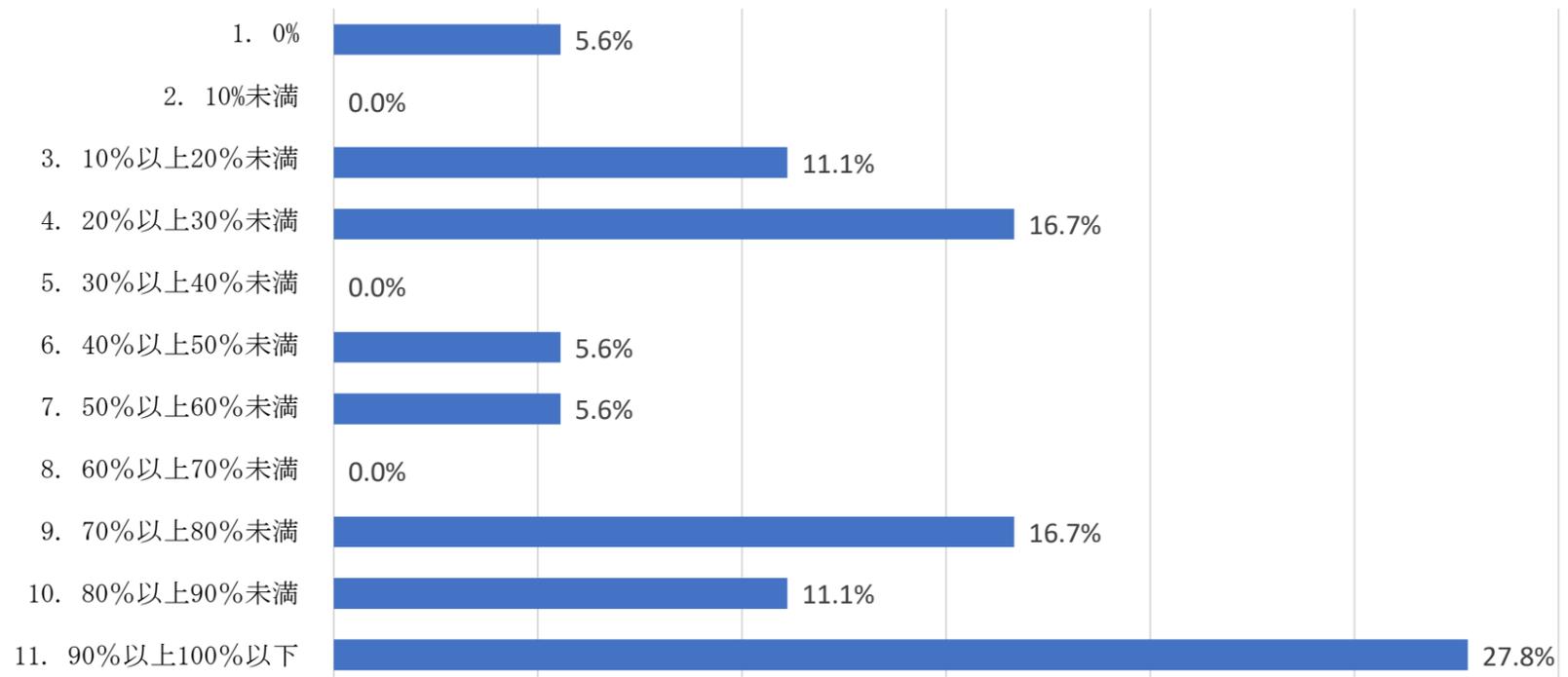
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

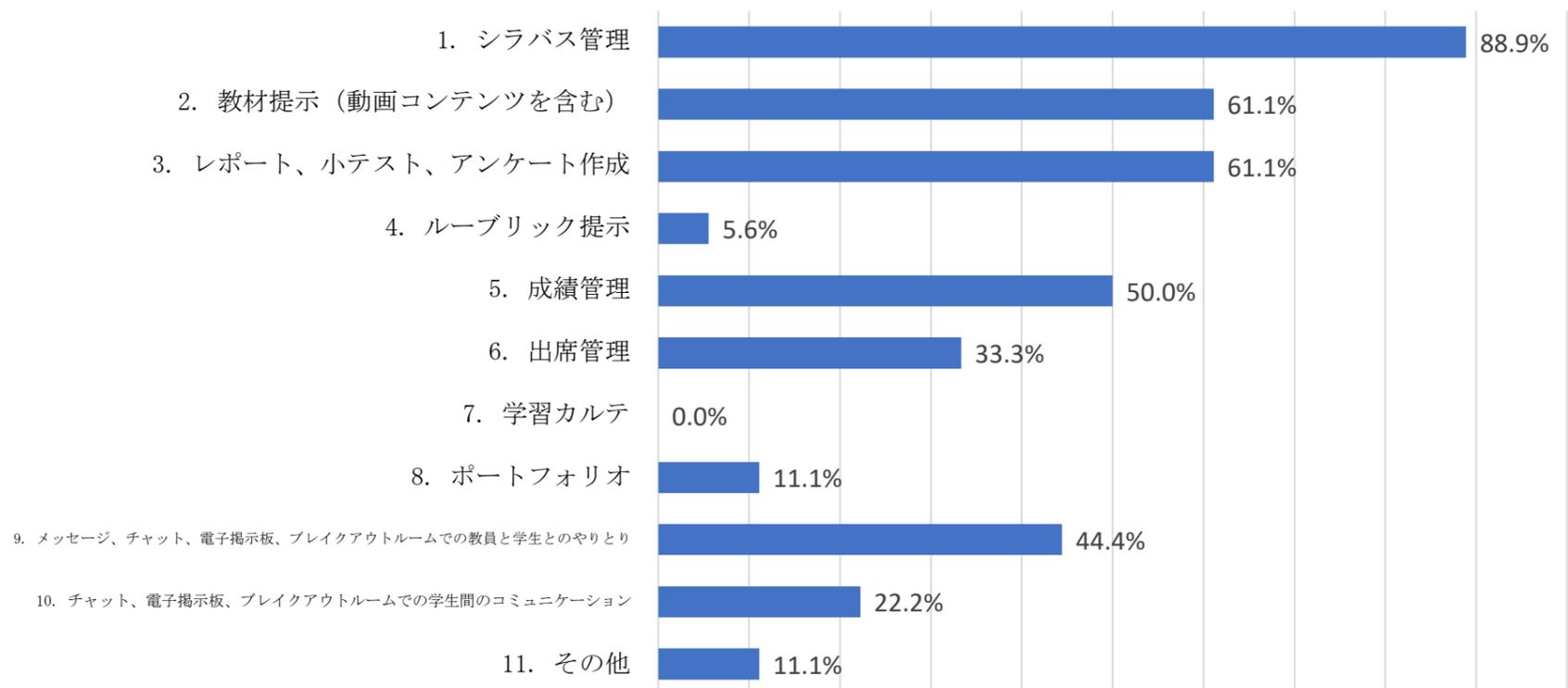
回答：9クラス（順不同）

[1]	学生にとってより興味深いものになった。
[2]	学生のコミュニケーション能力育成に効果があった。
[3]	メディア教材は授業内容の具体的な理解に有益である。
[4]	The class was delivered online so active learning was limited
[5]	・文学の音読は、新しい発見があつてよかったと思う。 ・討論により、他者の考えに触れることも大切。
[6]	グループワークに不慣れな学生だったので、慣れる、議論を展開させることをリードできる学生が育った。（数人）
[7]	当事者体験は、学生の印象に深く残っている、またグループワークでの体験は、学生同士でのお互いの考えを意見交換できている。
[8]	メディア教材の使用は、受講者が授業内容を具体的に理解することに結びつく。授業後のフィードバック（振り返り）は、問題意識を高め、拡大することに寄与している。
[9]	*グループワークの効果を高めるため、予めグループワーク課題については、各自がレポートとして情報を調査の上、自分の意見をまとめさせておくようにした。 *学生はグループワーク課題に対し、他のメンバーの知見・意見と自分の考えを調整し、グループの一つの発表成果物を作る作業に取り組んだ。このグループワークは、今後の人生において、非常に役立つものとする。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（人文・社会・芸術系）

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

回答：8クラス（順不同）

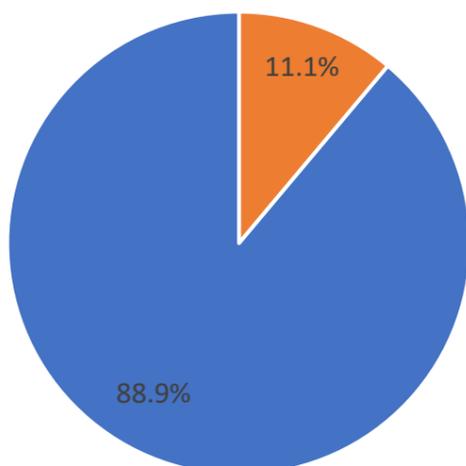
[1]	学生に連絡をとるのにメッセージ機能は大切。
[2]	事前にレジメを提示し、予習できる環境を整備した
[3]	フィードバックにより、学習内容の振り返りが行われた。
[4]	全体的なアナウンスと、個別的なアナウンスが迅速に行えた。また、授業資料も逐次改訂できたので大変助かりました。
[5]	教材の提示と小テストによる内容理解の確認にWebClassを活用したことにより、反転授業に近い形態で授業を進めることができた。
[6]	授業のたびに復習用の課題を提示したところ、大半の学生が授業後にそれを用いた復習を実施しており、授業内容への理解を深めていた。
[7]	学習内容を、授業の外において関連付けるために有用である。また、今年からシラバスの「授業内容・方法」に各回の授業後加筆修正を加えている。担当教員、受講者ともに振り返りのために役立っている。
[8]	スクリーンに映し出して講義を行う毎回の講義資料の1/3ほどを講義レジメとして印刷配布したが、印刷しない残り2/3ほどの資料を含めた全体の資料は、講義の3日前までにはWebClassに搭載し、予習・復習に活用してもらった。また、11/28の停電休講の代替措置として、第13講をWebClassのオンデマンド講義として視聴学修してもらい、視聴レポートをやはりWebClass経由で提出させ、出席扱いとした。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（人文・社会・芸術系）

F（問14～問17）：ループリック評価に関する質問項目です。

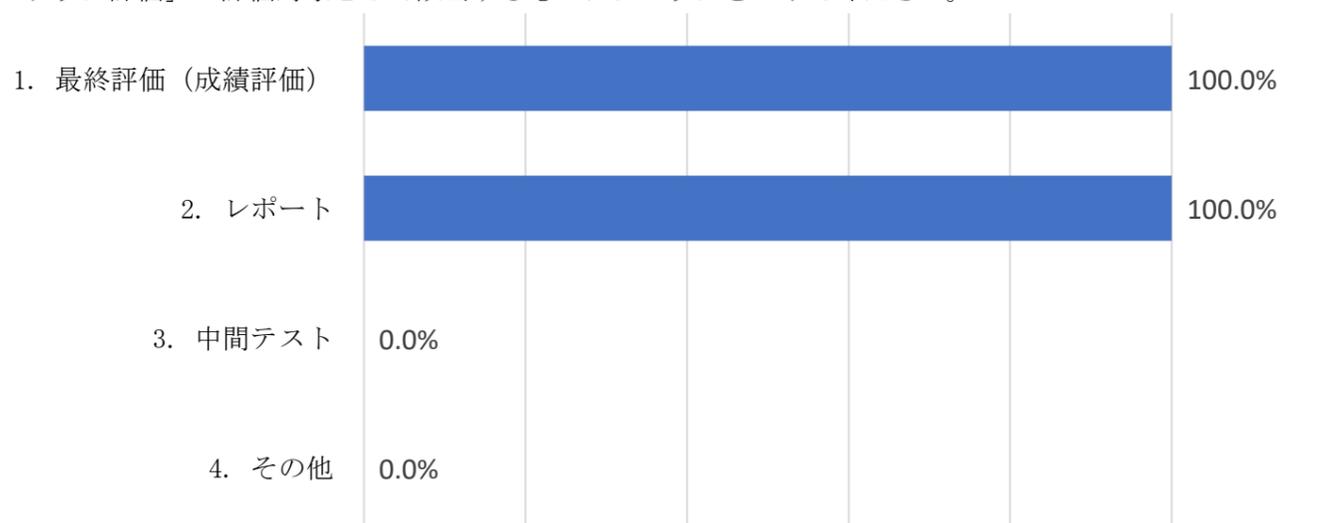
問14. ループリック評価を導入しましたか。

【 ■ 1. 導入した ■ 2. 導入していない ■ 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ループリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。



問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：2クラス（順不同）

[1]	多くの学生がレポートの題意を深いレベルで理解し、質の高い論述を展開した。
[2]	生徒の内省能力を高めるためにルーブリックを導入し、生徒がより多くのことを説明し、例を用い、さまざまな視点から考えるように促した。

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：1クラス（順不同）

[1]	何人かの学生は本当に優秀だった。
-----	------------------

回答数 12 クラス

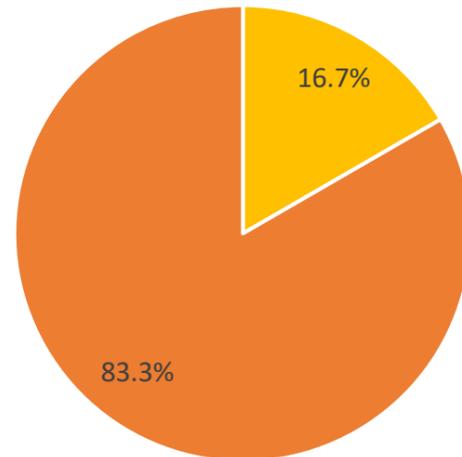
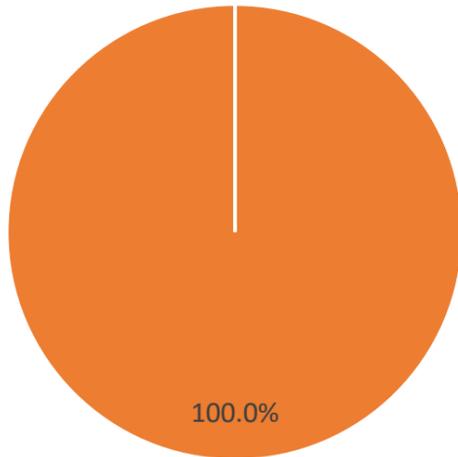
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. ややあてはまる 4. あてはまる 未回答 】

問1

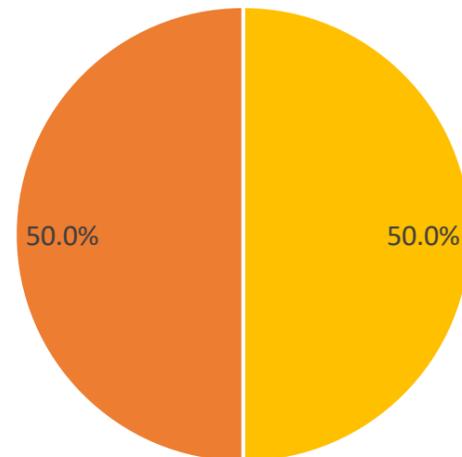
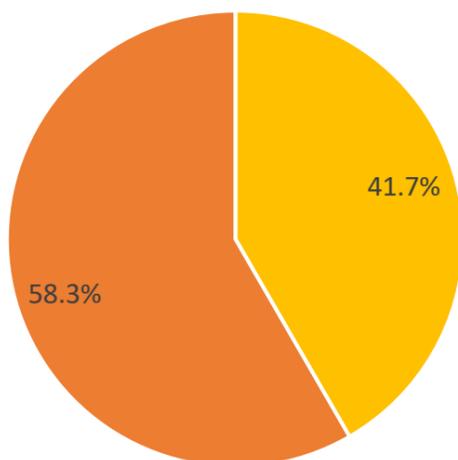
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

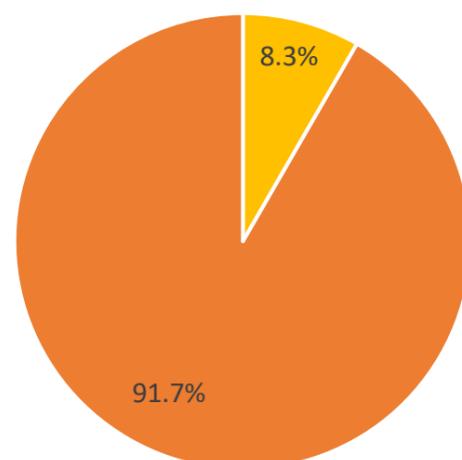
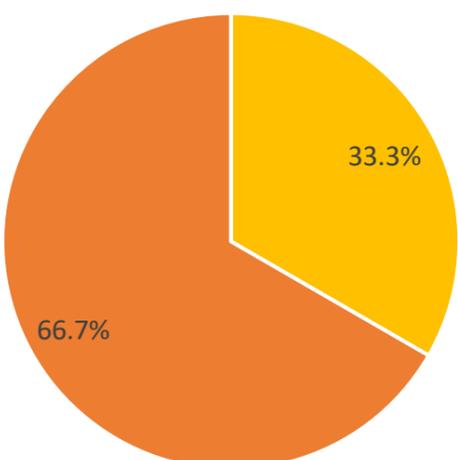
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



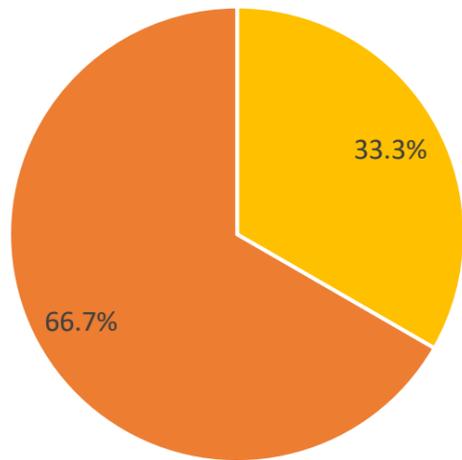
⑤学習意欲や知的的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

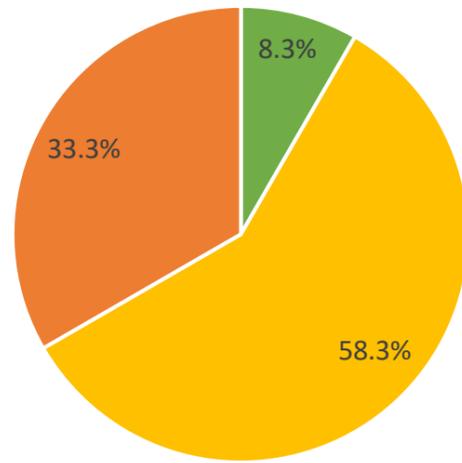
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



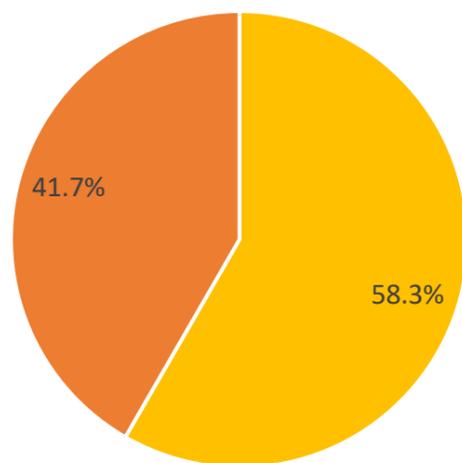
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。(発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた/学生の授業への能動的な参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



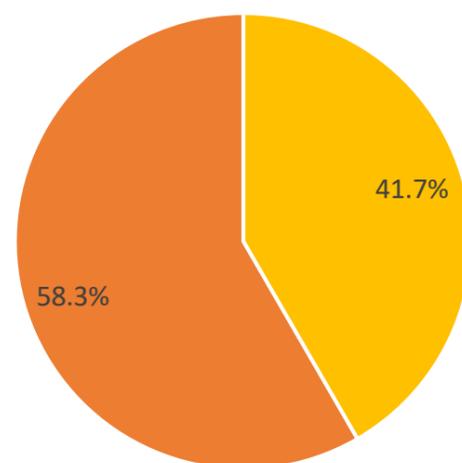
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



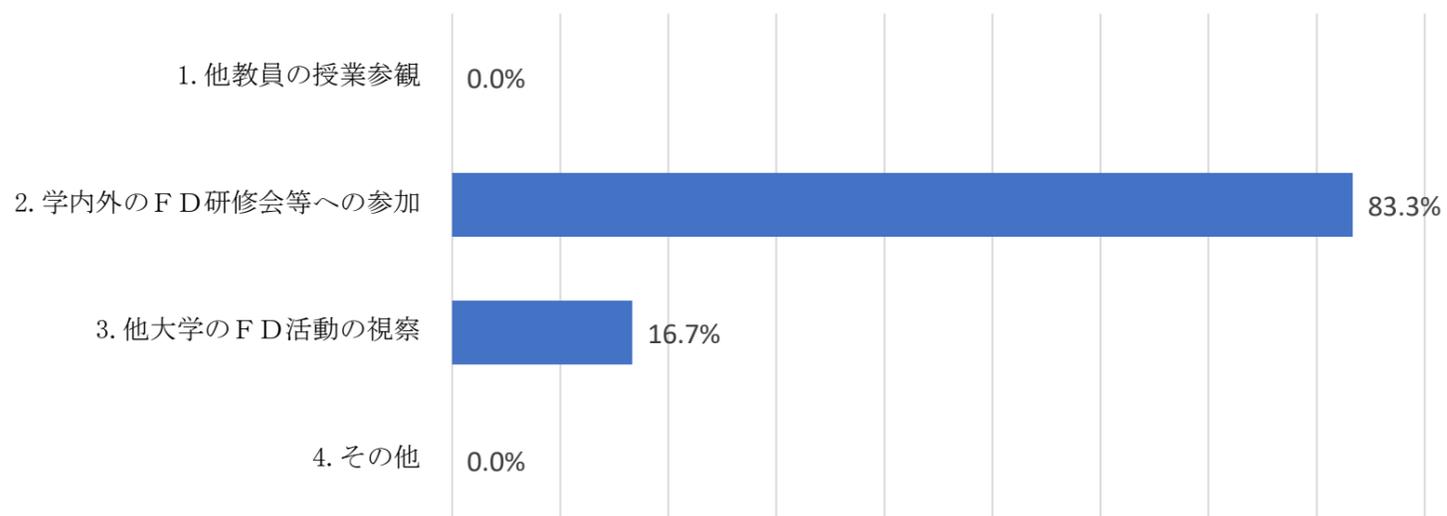
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(自然・生命・技術系)

B(問2~5): FD活動についてお尋ねします。

問2. この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3. 昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答：5クラス（順不同）

[1]	授業内容の調整
[2]	学生とのコミュニケーションを図る頻度をあげた。
[3]	講義中の時間配分を改善しアクティブラーニングとして学生主体で取り組む内容を増やした。
[4]	技術スキルを駆使して社会に貢献するために事前に知っておくべき項目を絞って授業を行った（認証制度など）。
[5]	・昨年度の授業評価に基づき、個別にチャレンジ課題を課した。 ・課題ポイントを明示して、設問メモシートを渡し期末テストに備えるように指導した。

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：5クラス（順不同）

[1]	グループワークの導入
[2]	受講学生のwebコンテンツ不正視聴に関する注意喚起と不正の場合の履修条件を明確にしたが、まだ不十分である部分が見られた。今後、改善を要すると考えている。
[3]	評価できる点：学生主体の授業割合を増やした点。学生の相互評価活動の導入。 反省すべき点：ICTツールのホワイトボード使用や学生の相互評価活動を試みたが、教員学生共に不慣れで協働課題の進行が十分でなかった。
[4]	受講生の学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させるために、授業に関連する内容で簡単で安全な実験を学生自身に取り組みさせた。一部の学生は積極的に取り組む姿勢がみられた。反省点として学生が積極的に参加、取り組みたくなる雰囲気づくりを検討する。
[5]	(複数の教員の意見を列記したので、文章間に矛盾があることがあります) 課題をゲーム感覚で取り組めるように設定したので、学生たちが積極的に取り組んでくれた点は良かった。3回目の講義では、計測インフォマティクスについて説明したが、学生たちは聞くだけになってしまい、受講の様子を見ているとあまり面白そうではなかった。双方向性が無いと興味を持ってもらえないのだろうと思った。 普段の生活の中で実は様々な計測がおこなわれているということを説明したところは、教養と専門を繋ぐ架け橋になったかと思う。一方で、こちらから質問する形で理解度を問うていたが、後からレポートをみると完全には学生の理解度を把握できていなかったと思われる。 反省すべき点：1回だけ授業時間を間違えて早く終わってしまった。 評価できる点：初回は学生の理解度がわからなかったので、プリントを5枚程度準備して、それに従って進めた。2回目からは自作のパワーポイントに従い、それもwebclassからあらかじめ配布した。

問5. FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

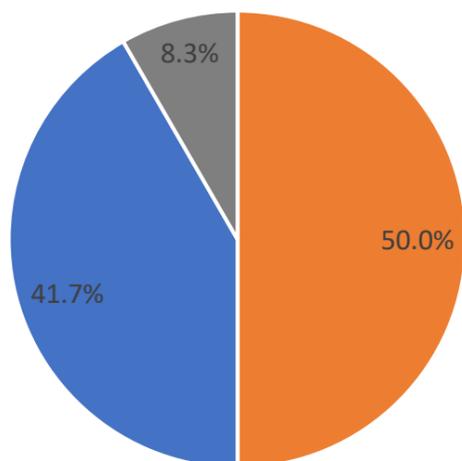
提出：1クラス

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（自然・生命・技術系）

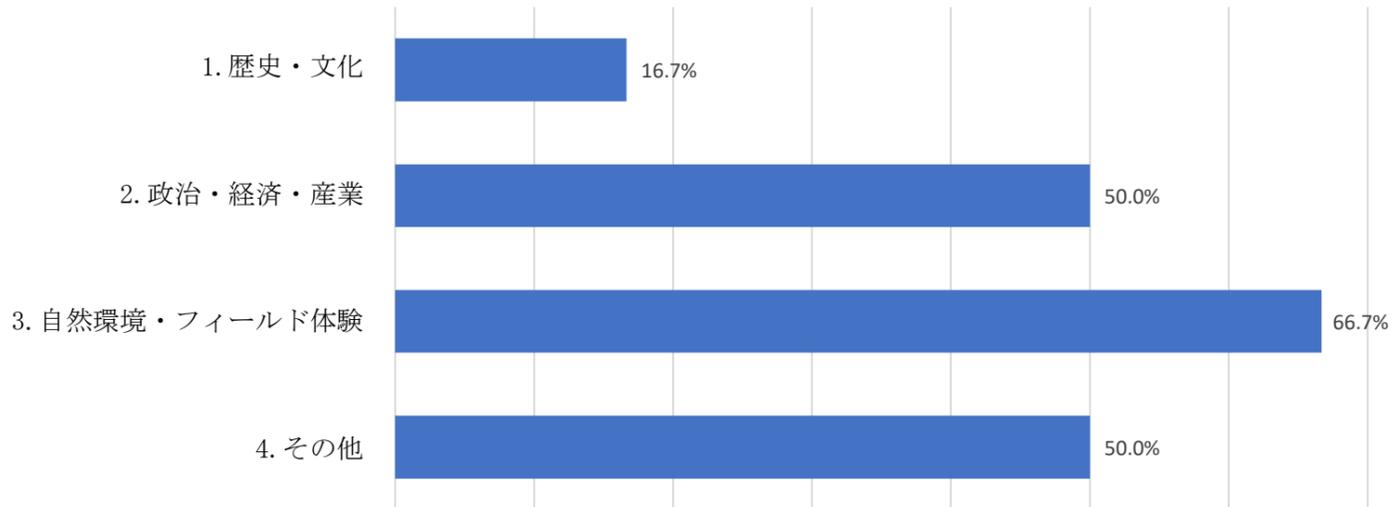
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【 1. はい 2. いいえ 未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。(複数回答可)



問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

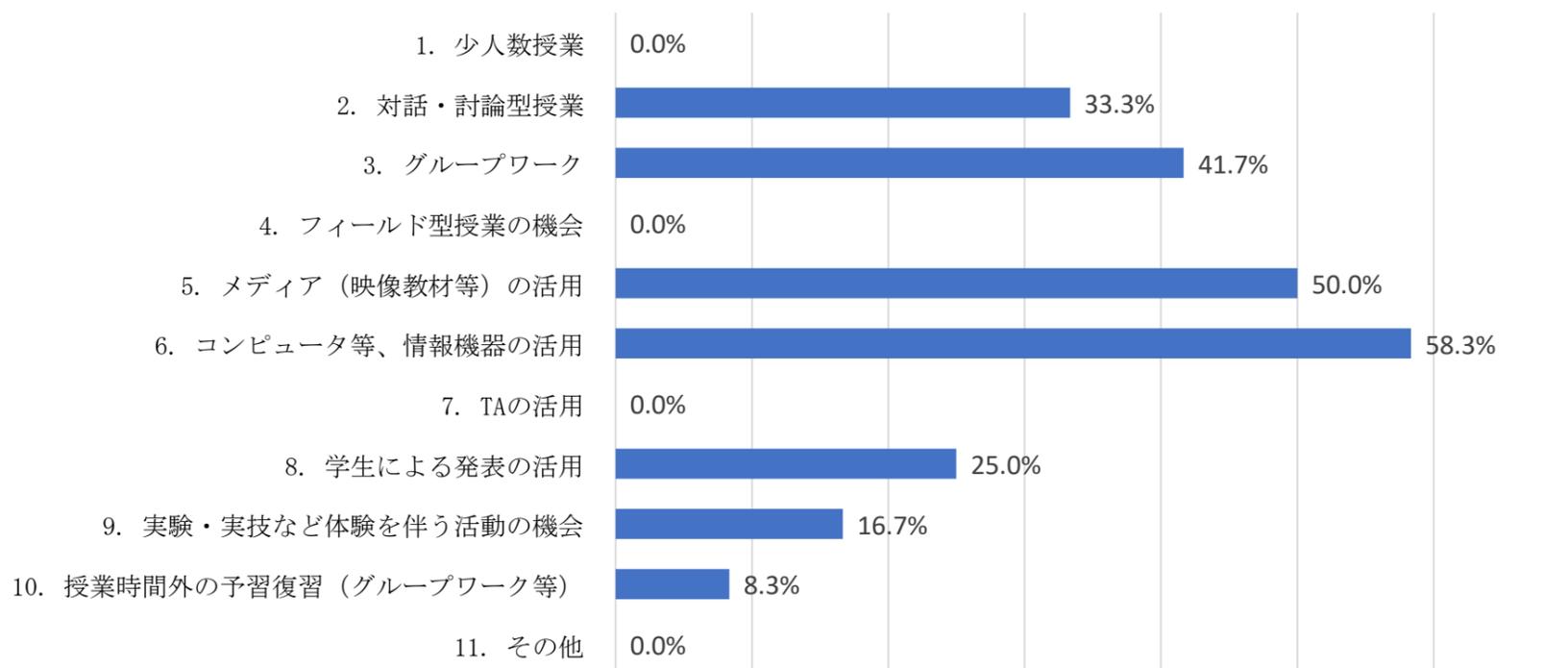
回答：1クラス(順不同)

[1] 附属病院で診察を担当している医師による地域医療に関する講義。

教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(自然・生命・技術系)

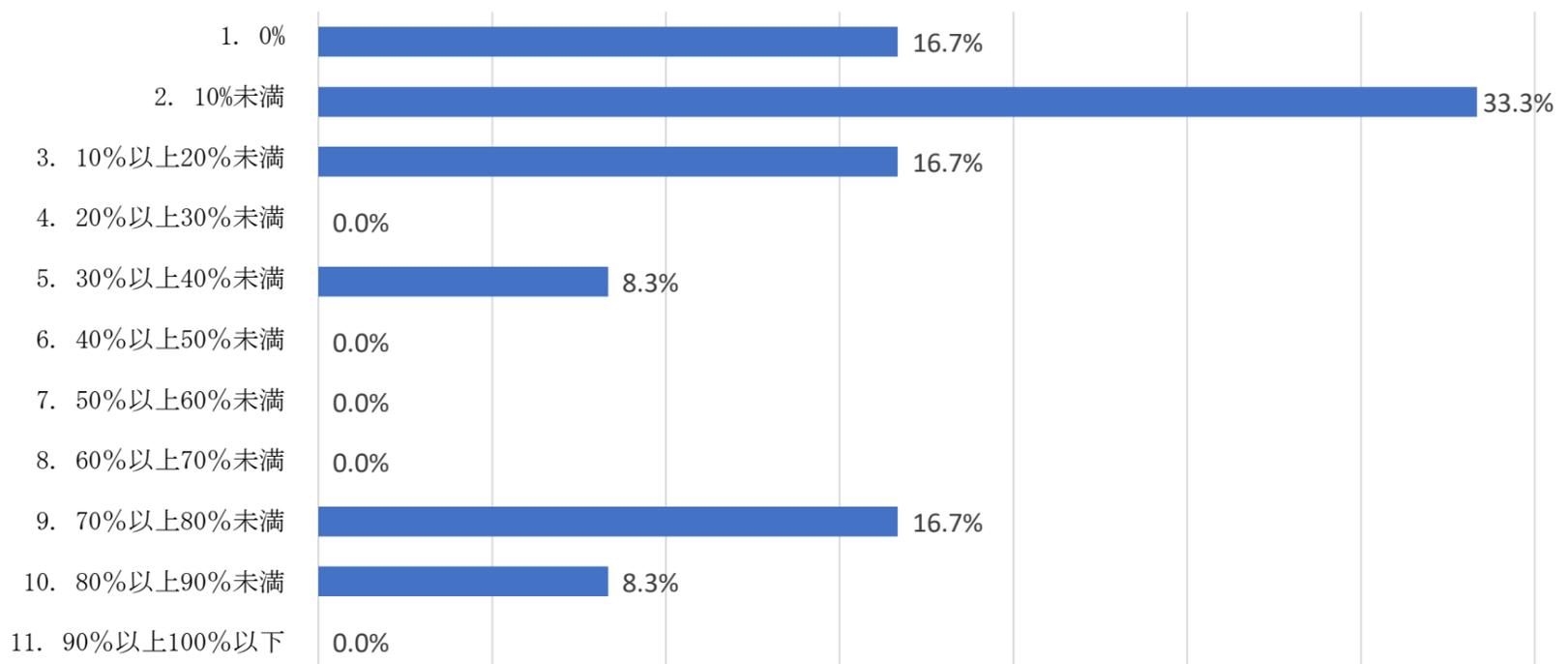
D(問9～問12)：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。(複数回答可)



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

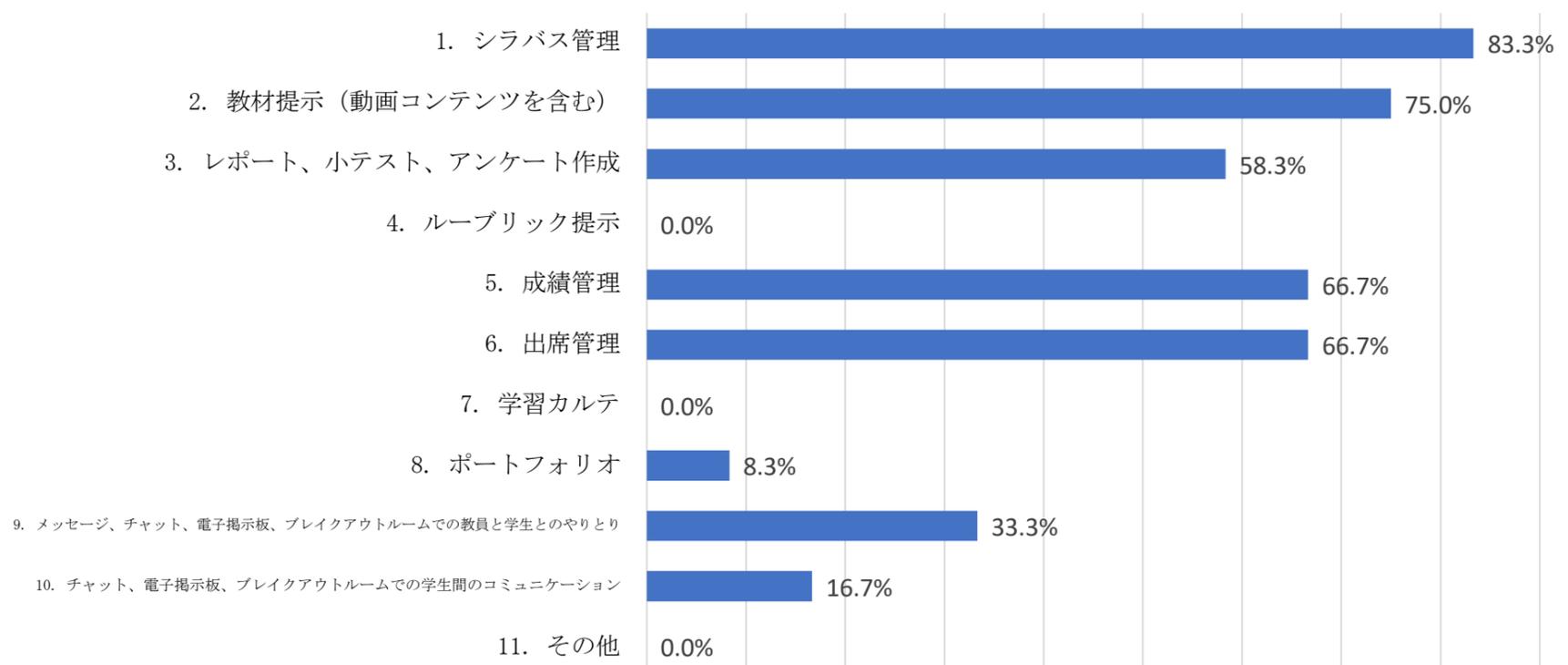
回答：5クラス（順不同）

[1]	最終回に導入予定であったが、オンデマンド授業となったため実施ができなかった。
[2]	学生の集中力維持に効果があるように感じた。教員から学生への一方通行授業を減らすことができた。
[3]	一方向講義形式よりも、授業雰囲気明るく活性化される。授業をする側、受ける側の表情も軽くなる。そのため授業効果が高まるように考えられる。
[4]	体験的学習活動により学生の記憶の定着が図れたと思われる。また、一部の学生は、学生自身で興味がある分野について自主的に調べる様子がみられた。おおよそこのような学修姿勢と最終成績は相関しているように思われる。
[5]	双方向になることで互いに緊張感が生まれる効果がある 学生は、単に聞いているだけでは知識が定着しないが、グループディスカッションにより知識の定着と提案ができるようになった

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（自然・生命・技術系）

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

回答：5クラス（順不同）

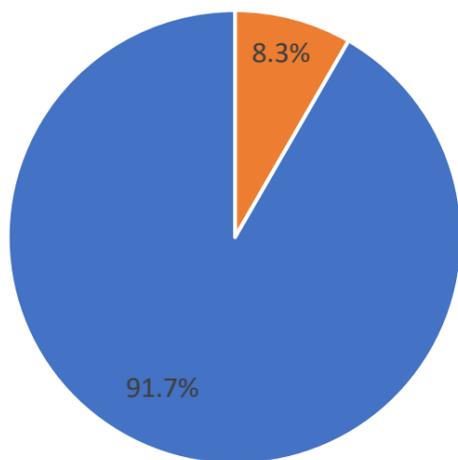
[1]	授業の資料の配信や関係URLリンク表示により、学生の授業参加を促したと思われる。
[2]	webclassで事前に資料を送付したため、スムーズに講義できた。連絡がスムーズにおこなわれた
[3]	レポート課題、メッセ、提出がケイタイひとつで可能である。Webclass等は学生の生活設計を能動的にさせる一助になっており、それによって能動的学修に直接、間接的につながっていると考えています。
[4]	講義資料の配信および出席管理に使用した。講義の前に予習もでき（どのような内容の講義かがわかる）、また講義後も講義資料を閲覧可能としておくことで、復習などもできる形とした。学生の評判は良かった。
[5]	<ul style="list-style-type: none"> WebClassを通じて個別にチャレンジ課題を課し提出を促した。チャレンジ課題に取り組み、WebClassで提出した学生は最終成績や理解度が比較的好かったように感じる。 教室内で学生に口頭による発言を求めると反応があまりないが、WebClassでリアルタイムのチャットを使うと各自が意見（アイデア）をチャットに書き込むので教室内でアイデアを共有するのに効果があった。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（自然・生命・技術系）

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

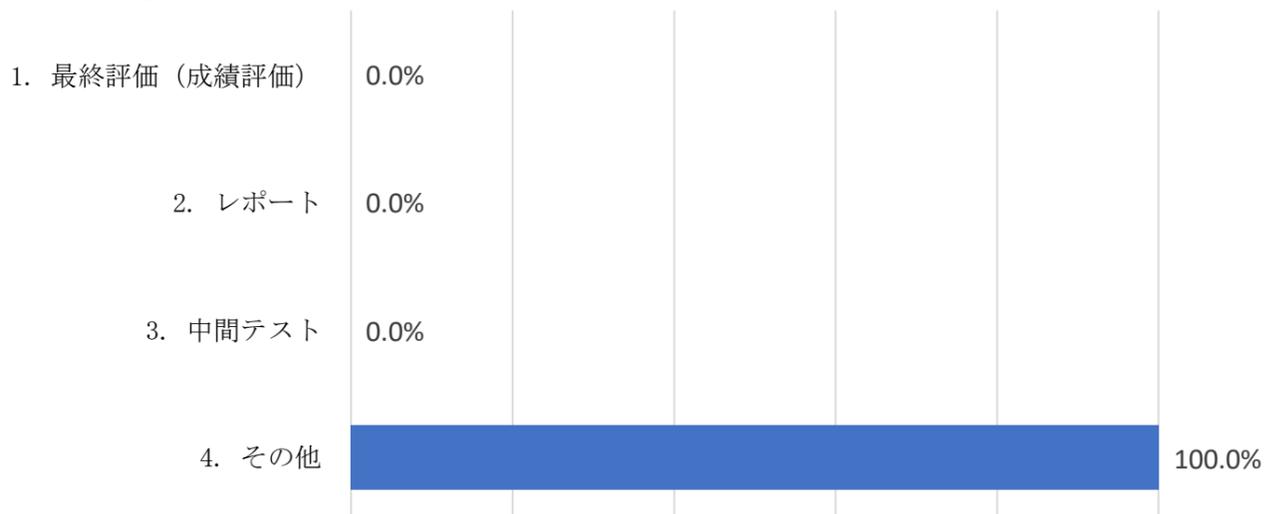
問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 ■ 1. 導入した ■ 2. 導入していない ■ 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。



問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：1クラス（順不同）

[1]	学生と「ルーブリック評価」を共有をした結果、学生の相互評価のツールとして利用できる手ごたえは少し感じられたが、定着までにはもう少し時間がかかりそうな印象です。
-----	---

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：1クラス（順不同）

[1]	学生と「ルーブリック評価」を共有をした結果、学生の相互評価のツールとして利用できる手ごたえは少し感じられたが、定着までにはもう少し時間がかかりそうな印象です。つまり、1年生がルーブリック評価のことをおおよそ知っておくことが望まれる。
-----	--

回答数 8 クラス

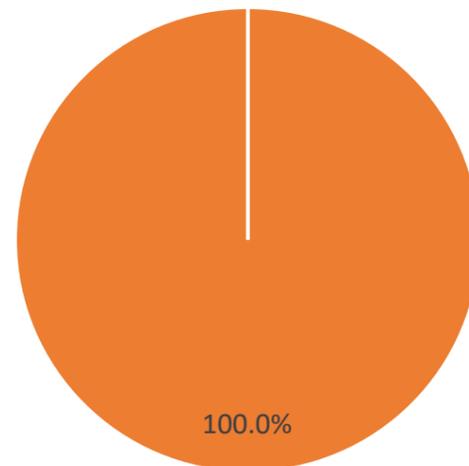
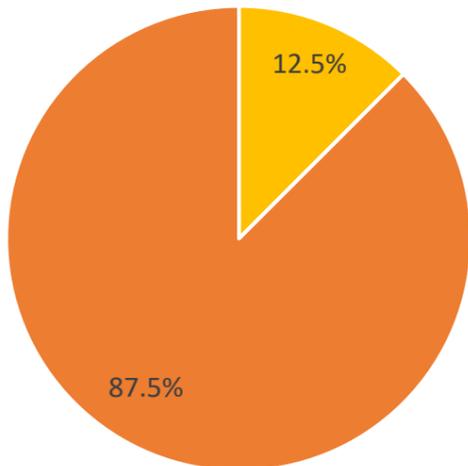
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. ややあてはまる 4. あてはまる 未回答 】

問1

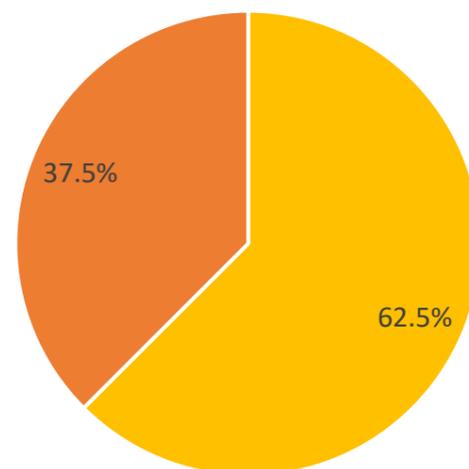
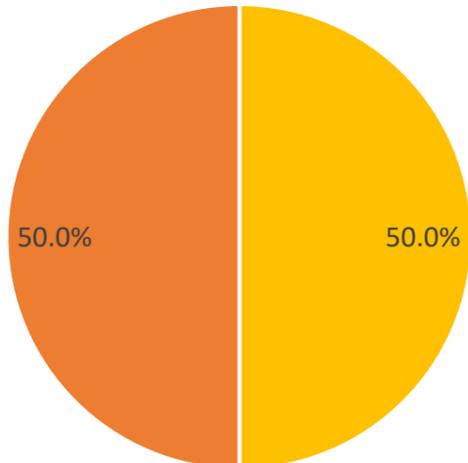
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

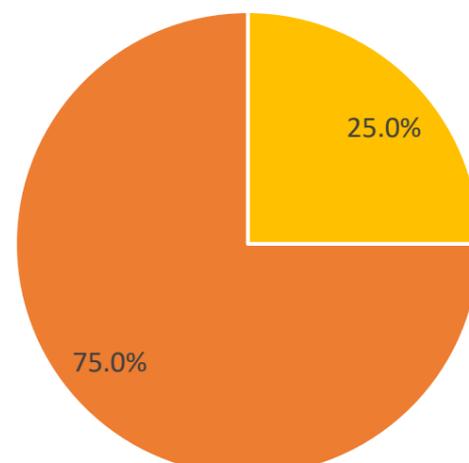
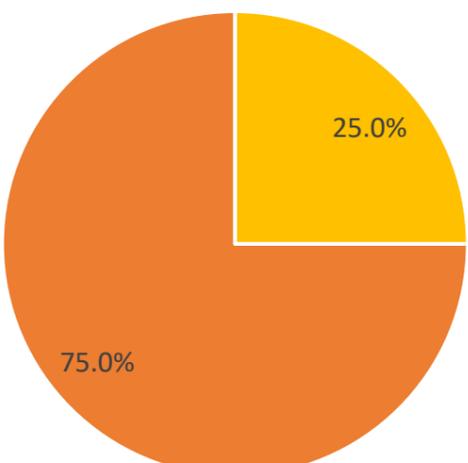
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



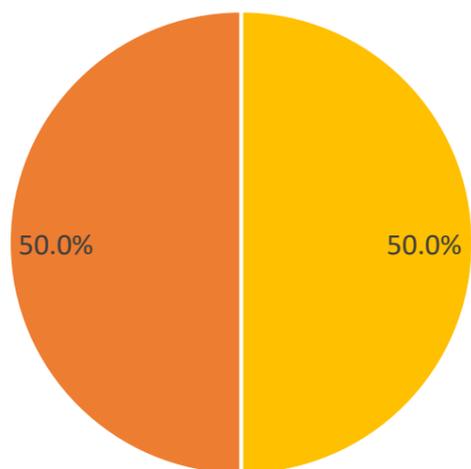
⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

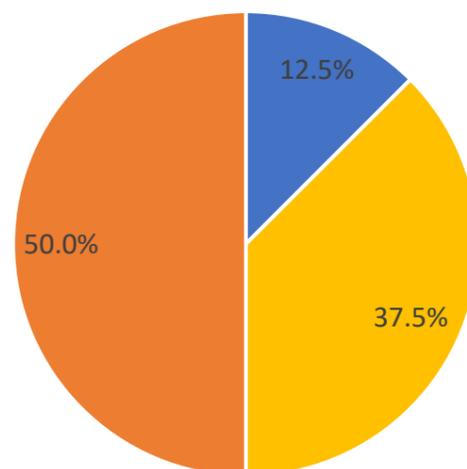
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



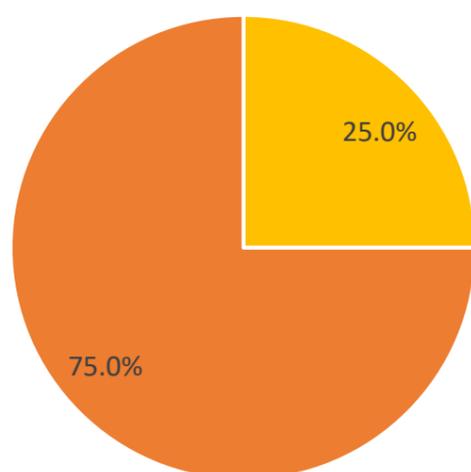
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた/学生の授業への能動的な参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



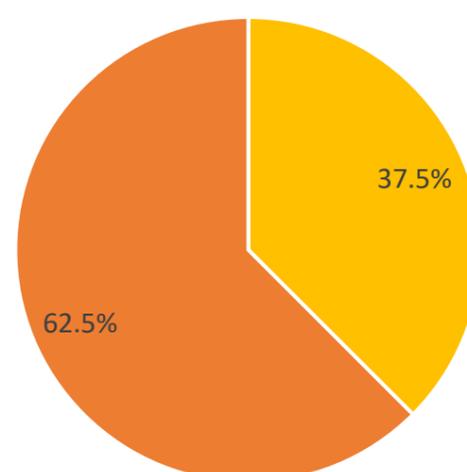
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



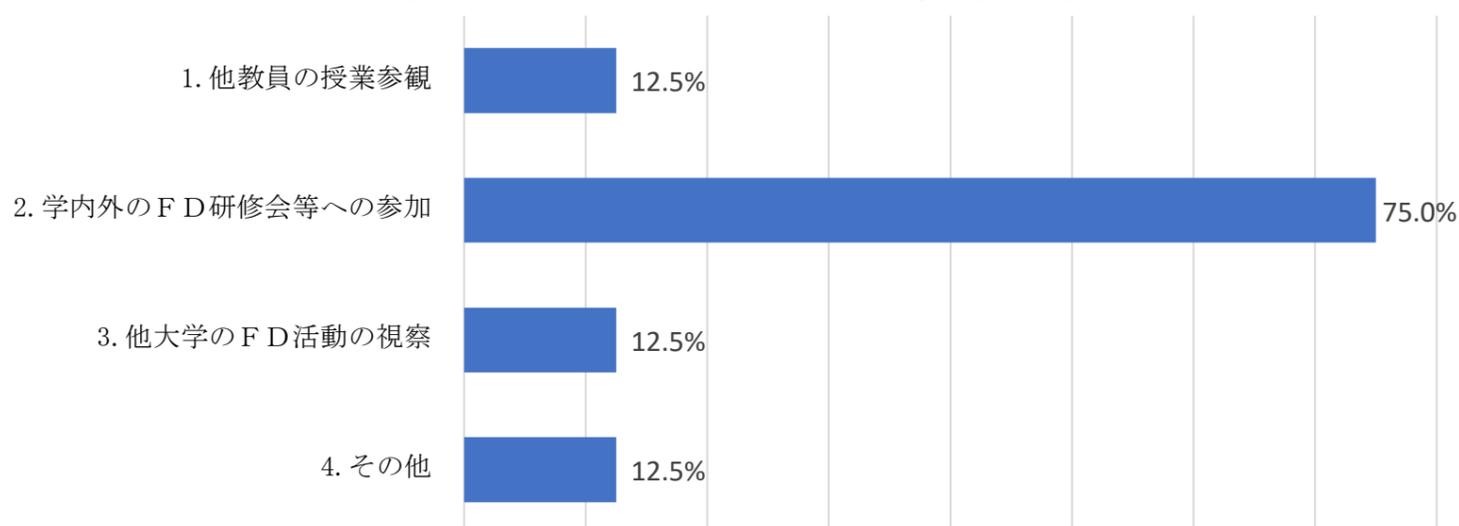
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(地域・国際・学際系)

B(問2~5):FD活動についてお尋ねします。

問2.この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3. 昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答：5クラス（順不同）

[1]	対面で使用するスライドを改善した
[2]	習熟度確認テストを二回に増やした。
[3]	習熟度確認テストを二回に増やした。
[4]	学習のふり返りの意義を様々な観点から説明した。レポートの自己評価に時間をかけた。
[5]	昨年度も大変好評であったため、同様の試みを引きつぎ、その上でアクティブラーニングの度合いを更に深めた。

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：5クラス（順不同）

[1]	出席者全員が3回の自己評価と2回の相互評価を経験するよう、参加の徹底を図ることが課題である。
[2]	日本のサブカルチャーにおいて用いられているドイツ語の語彙を取り混ぜながら、学習内容を進め、受講者の理解を助けた。
[3]	日本のサブカルチャーにおいて用いられているドイツ語の語彙を取り混ぜながら、学習内容を進め、受講者の理解を助けた。
[4]	チームワークのグループ設定の際に、親しい学生の間で組ませるのではなく、他学部の学生がチームを組めるように調整した。
[5]	TAで韓国の留学生に手伝ってもらったことが、思った以上学習へのモチベーションアップにつながったことは今後も続けて行きたい。

問5. FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

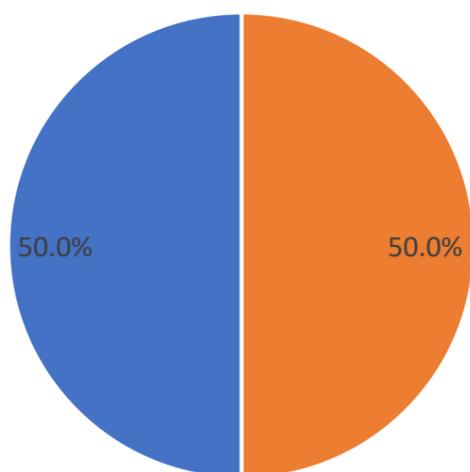
提出：0クラス

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（地域・国際・学際系）

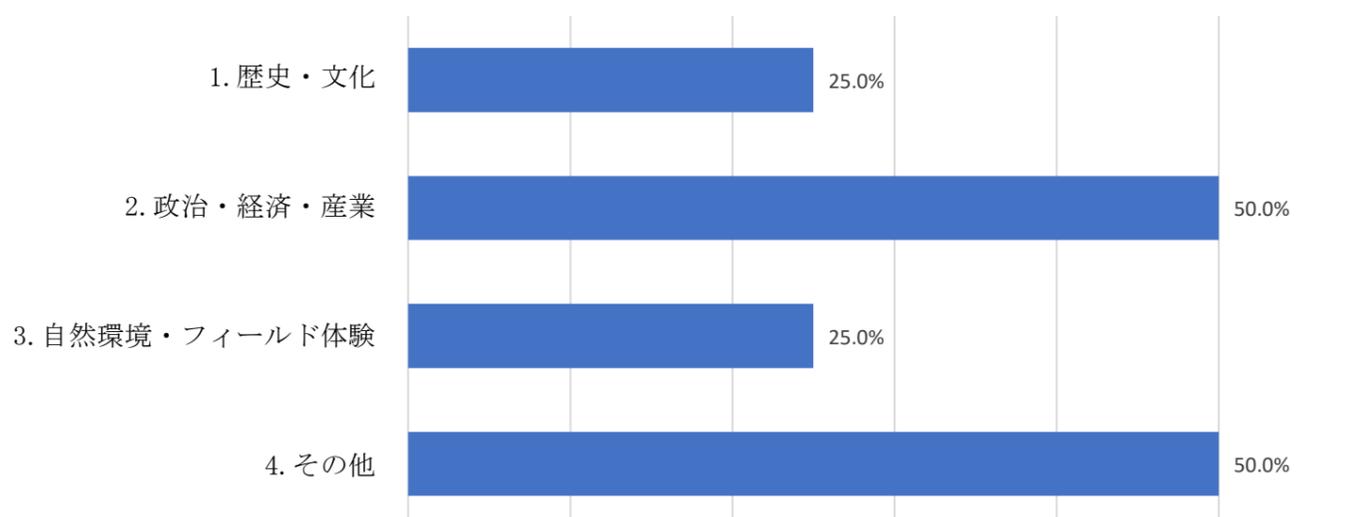
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【 1. はい 2. いいえ 未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。（複数回答可）



問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

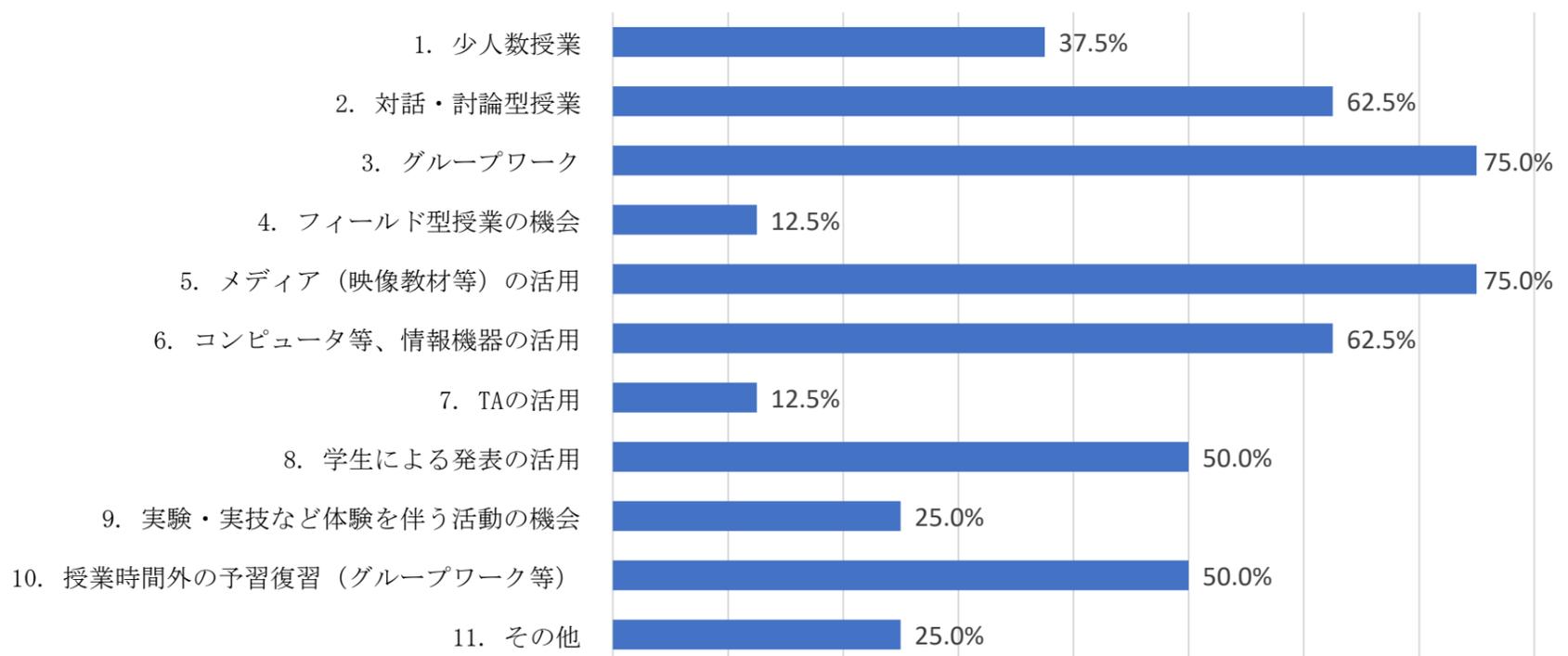
回答：3クラス（順不同）

[1]	地域の国際化における外国人材導入の事例、また地域発信の国際協力について講義し、地域の今後の将来像について考えさせた。
[2]	地域で活躍している方々を取り上げ、インタビューを学生に見てもらい地域でも十分にクリエイティブな活動ができることを紹介した。
[3]	インバウンドで韓国の方が宮崎に来たとき、韓国人に韓国語でどのようにアピールできるか、また簡単な会話でどうコミュニケーションをとるか等を練習で用いた。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（地域・国際・学際系）

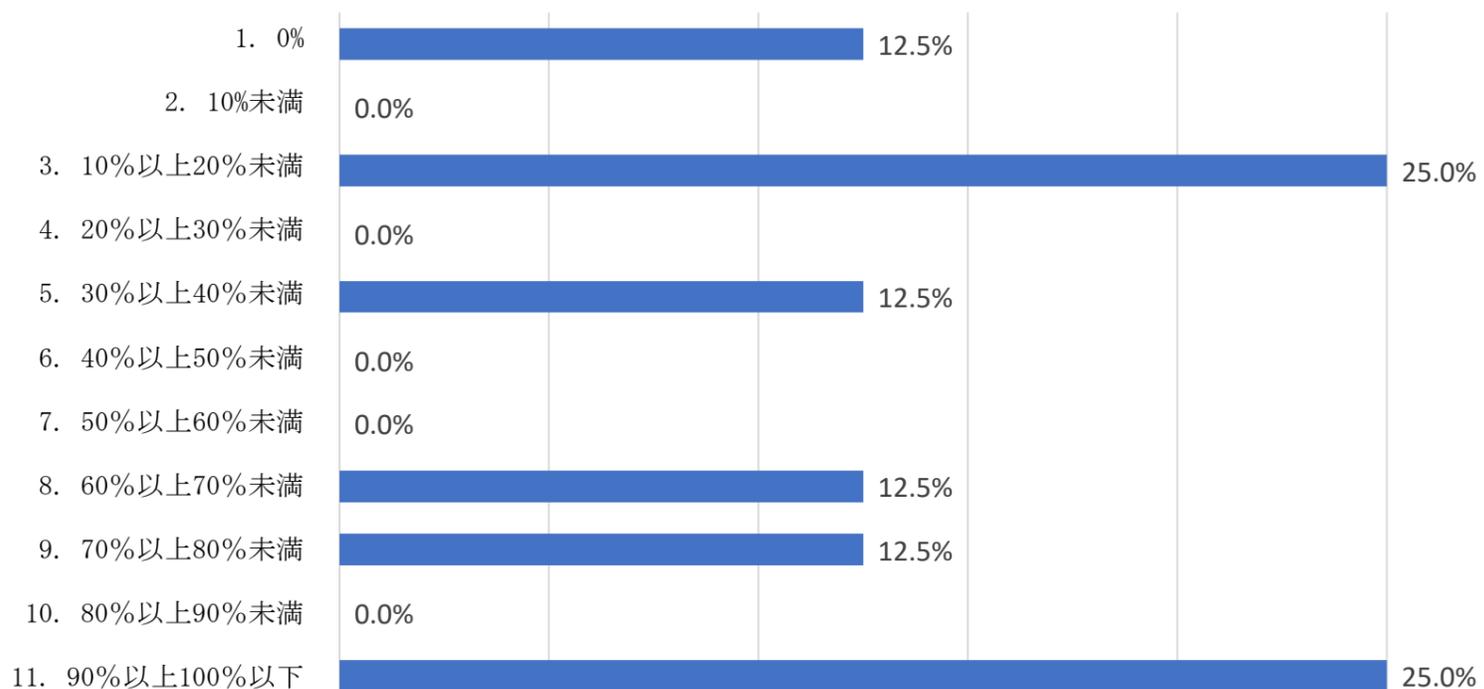
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

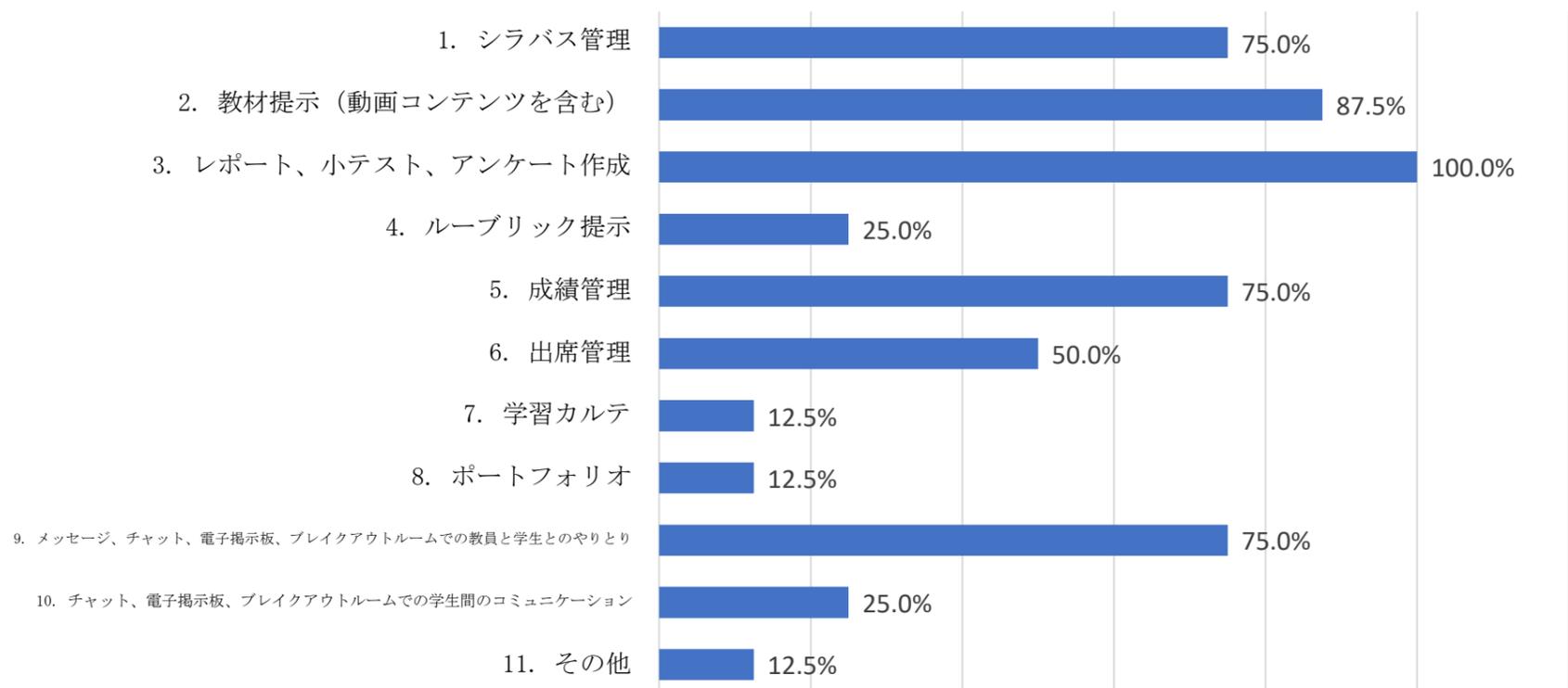
回答：6クラス（順不同）

[1]	受講者が学習内容を具体的に理解するために大いに役立っている。
[2]	受講者が学習内容を具体的に理解するために大いに役立っている。
[3]	学生からのコメントから、他の学生の意見や考えにふれたことが学習の質を高めていることが読み取れる。
[4]	学生の食いつきが良くなり、授業の集中度が上がったように思います。教員も含めてとても楽しい雰囲気です。
[5]	クラス内でのグループワークの他、海外とオンラインでつないでCOIL型による交流、学習を進めた。英語を使用する機会、海外について知る機会となり、学生の学習意欲を刺激し、学びに寄与した。
[6]	毎回簡単な韓国語でスモールトークを行ったが、最初は中々上手に話せなかった学生でも何回か繰り返して練習することによって自然と出るようになった。 また、教科書にある内容を毎回ペアで練習し、学習内容が理解できたかどうか学生同士で確認し合うことで、韓国語を話すことに少し慣れるようになったと思う。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（地域・国際・学際系）

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

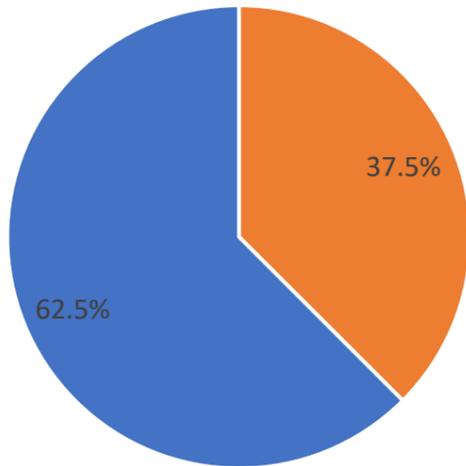
回答：6クラス（順不同）

[1]	映像資料にかかわるレポート課題を課し、学習内容の振り返りと理解を助けた。
[2]	映像資料にかかわるレポート課題を課し、学習内容の振り返りと理解を助けた。
[3]	毎回の振り返りや課題の指示、教材の提供を行うことで、連続性をもって授業を行い、学生もそれに応えたと感じた。
[4]	レポートの自己評価および相互評価の結果をグラフで確認することができ、学生が自分自身の成長過程を確認できたことは有意義であった。
[5]	オンデマンドによる遠隔授業が15回のうち9回となったが、moodleでの細かい指導と課題提出指示がうまく機能したと考える。具体的には、Moodleでの課題の作り込み、配信動画の作成を1ヶ月以上かけて行ったのが効果的であったと思う。
[6]	講義が終わったら毎回Webclass上で小テストをするように促した。問題は少ないが、その日に学習した講義内容のポイントをもう一度確認させることができた。多くの学生が間違えた問題については、理解・説明の不十分だったと認識し、次回の講義でもう一度説明して再確認できた。

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

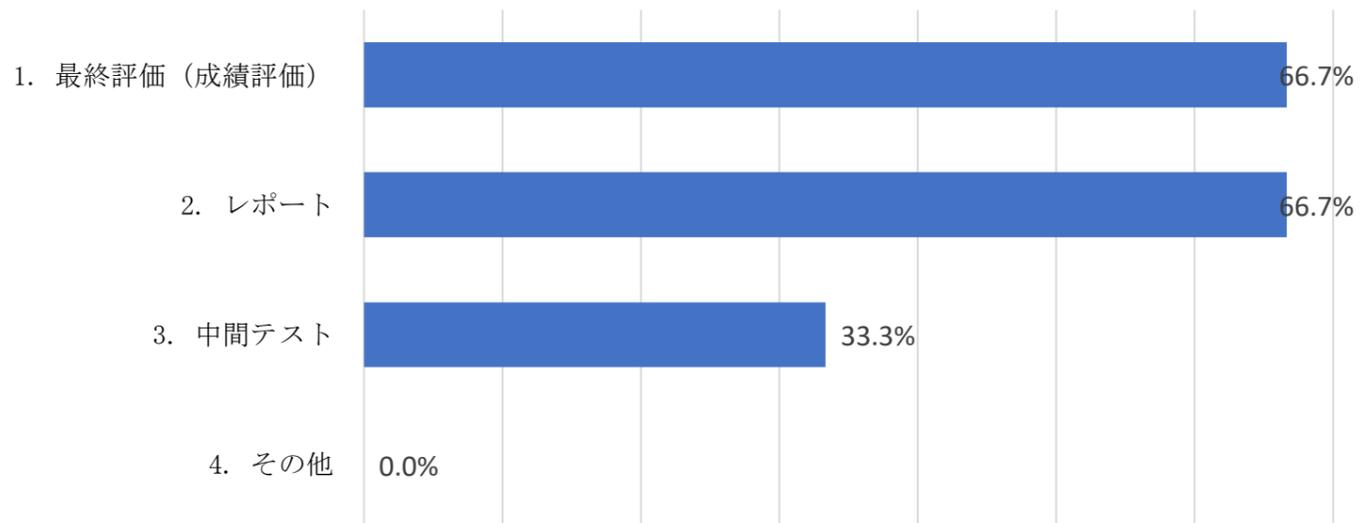
問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 1. 導入した 2. 導入していない 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。



問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：3クラス（順不同）

[1]	ルーブリックによってレポートのピアレビューが可能となった。
[2]	提出されたレポートについて、客観的な採点を行うことができた。
[3]	学生自身のプレゼンテーション評価のためにルーブリックを導入したが、学生自身の評価と教員の評価がそう離れていないことが感じられたと考える。すなわち自己評価と他者評価の乖離があまりないことが学生には気付いてもらえたと思う。

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：1クラス（順不同）

[1]	現在のところは今のやり方で満足しています。
-----	-----------------------

回答数 1 クラス

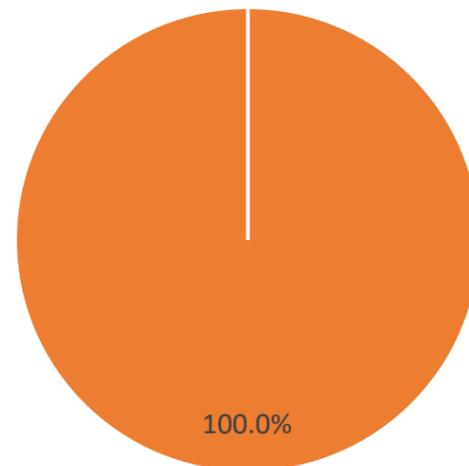
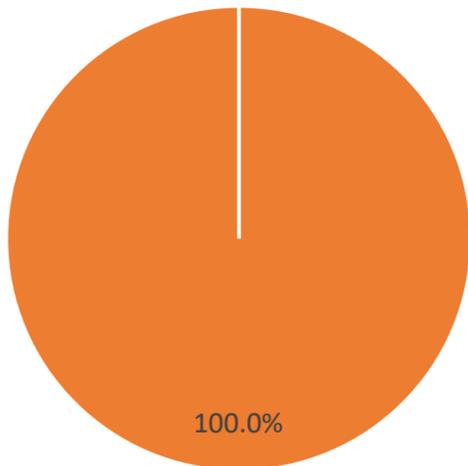
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 ■ 1. あてはまらない ■ 2. あまりあてはまらない ■ 3. ややあてはまる ■ 4. あてはまる ■ 未回答 】

問1

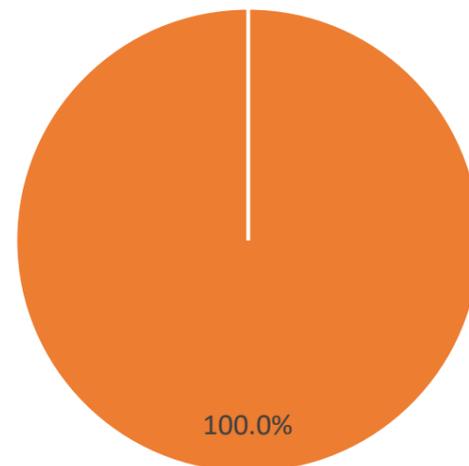
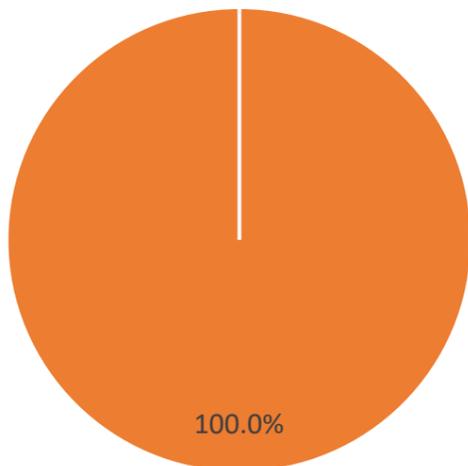
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

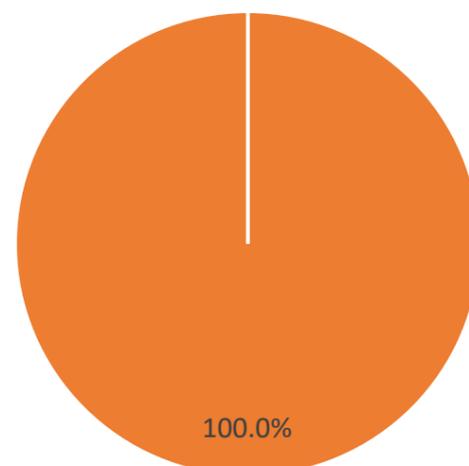
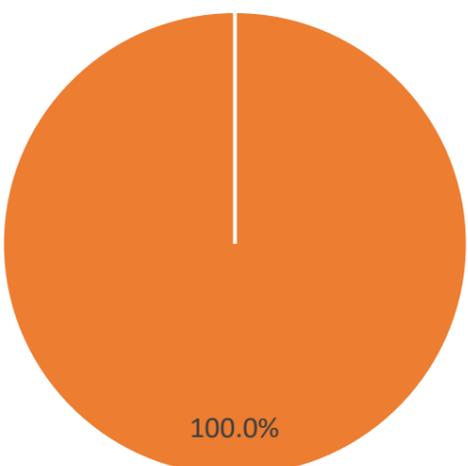
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



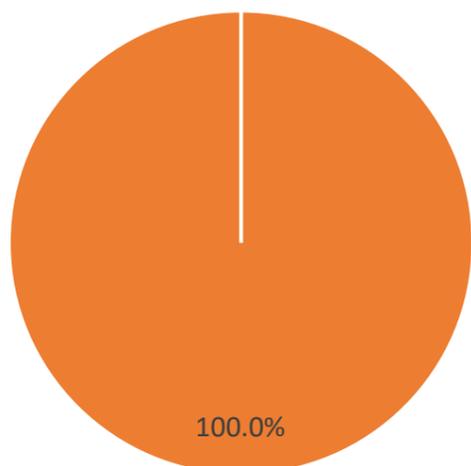
⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

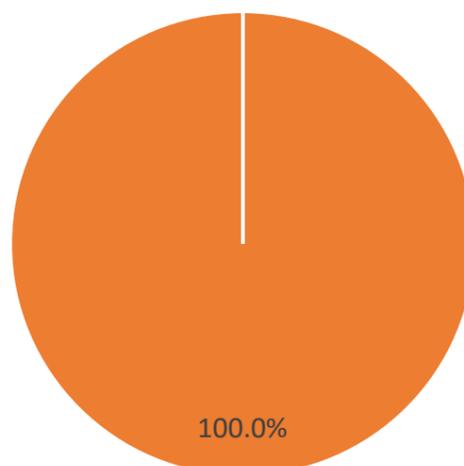
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



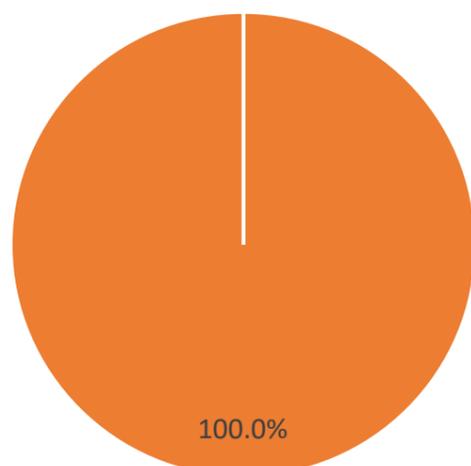
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた／学生からの質問・発言を促した
 ／学生の理解度を確かめながら進めた／学生の授業への能動的な
 参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



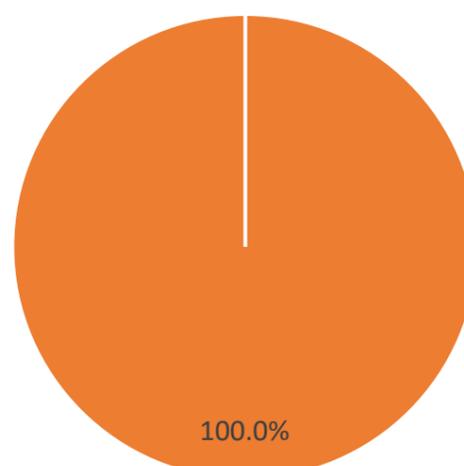
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



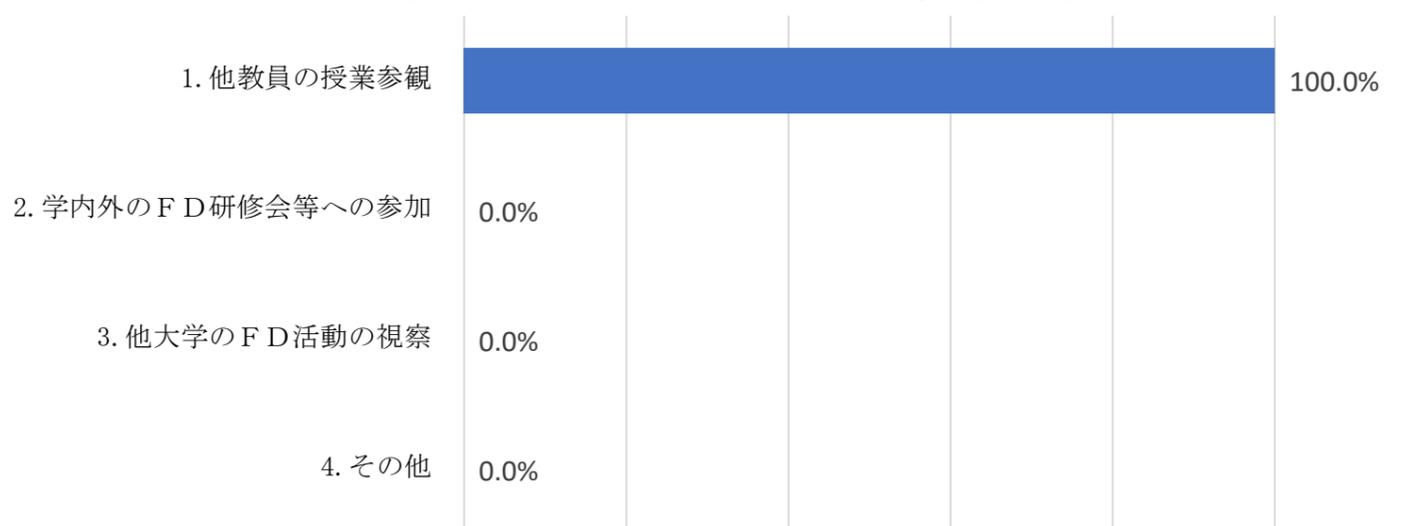
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(構想・デザイン系)

B(問2~5):FD活動についてお尋ねします。

問2.この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3.昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答:0クラス

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：1クラス（順不同）

[1] ゲスト講師との意思疎通をもう少し念入りにすべきと感じました

問5. FD活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

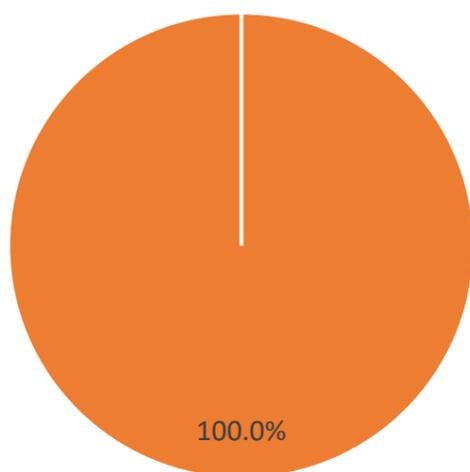
提出：0クラス

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（構想・デザイン系）

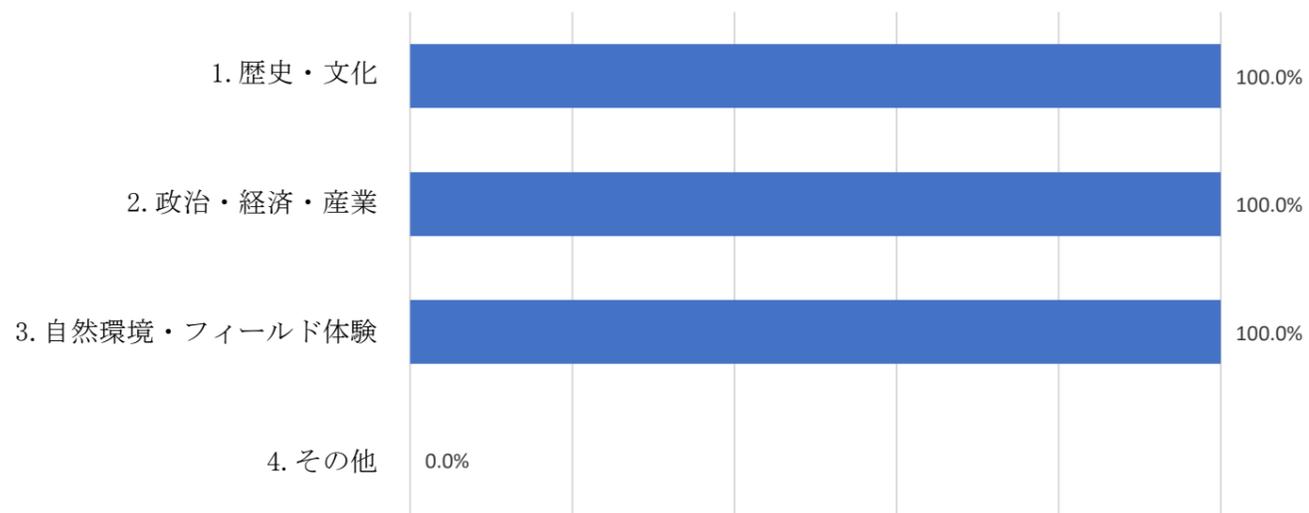
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【  1. はい  2. いいえ  未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。（複数回答可）

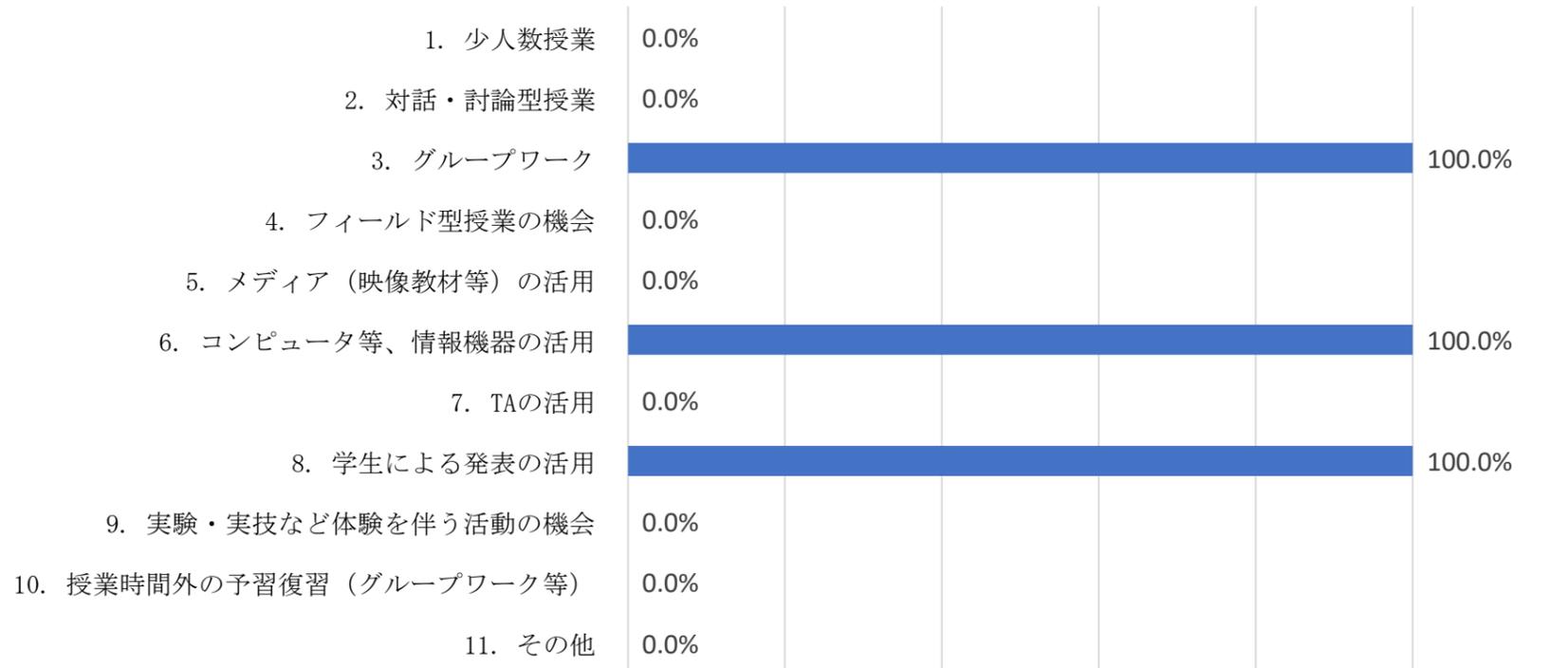


問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

回答：0クラス

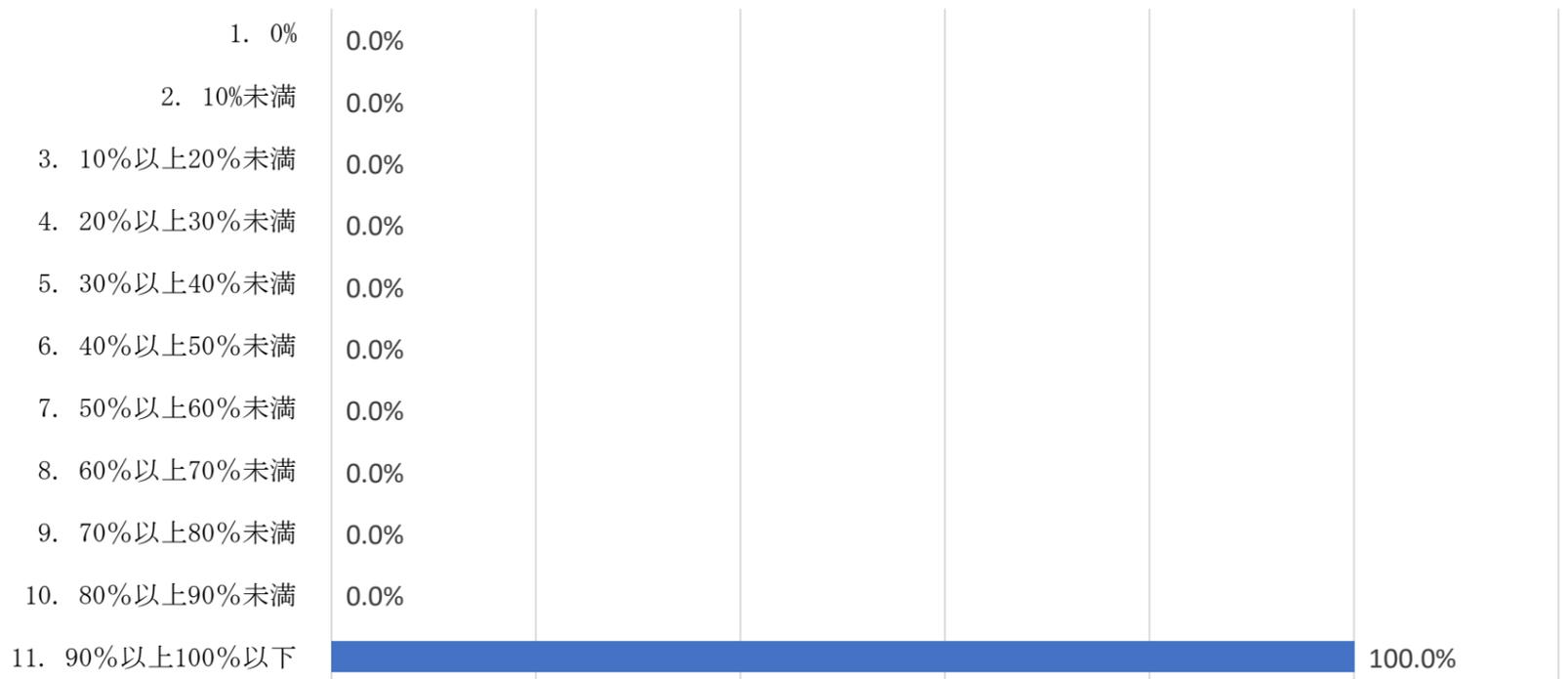
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

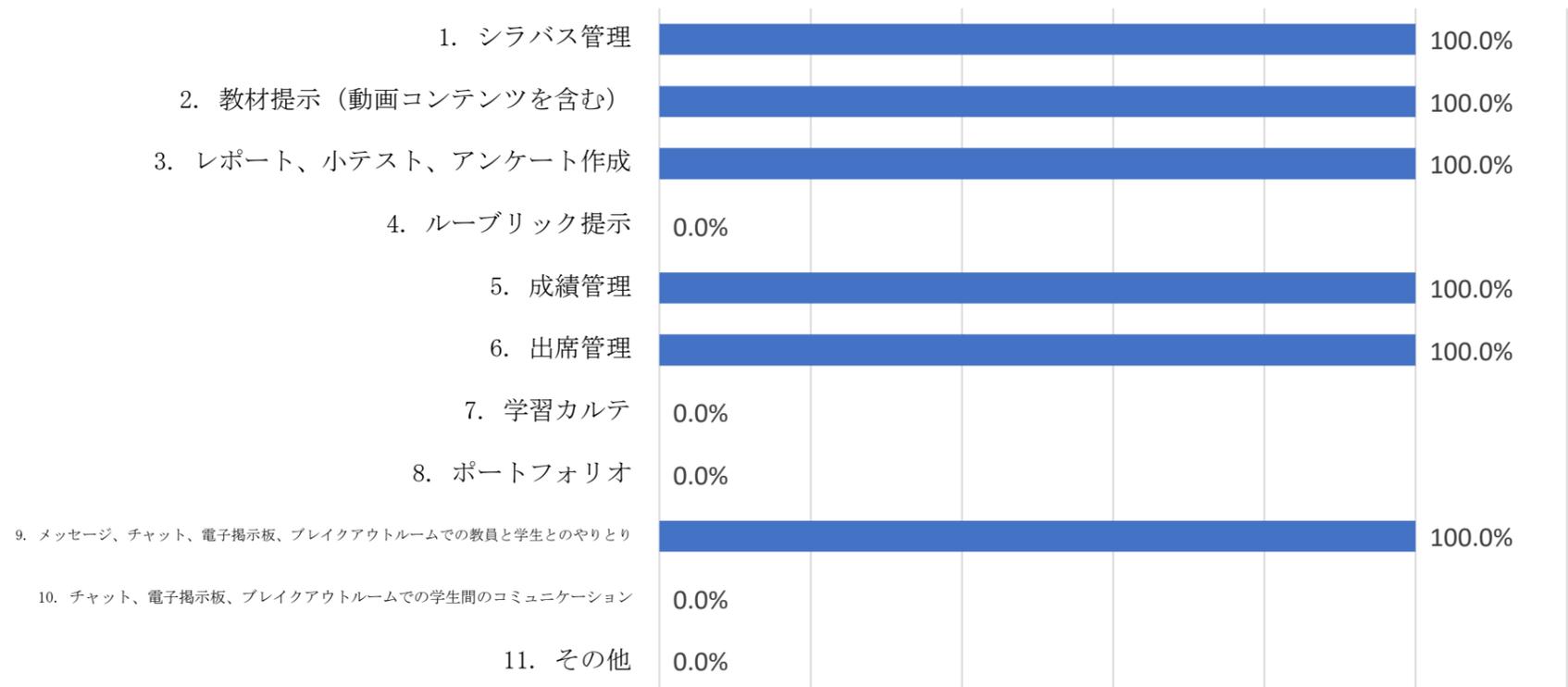
アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

回答：1クラス（順不同）

[1] 学生の理解と満足度が高まった

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

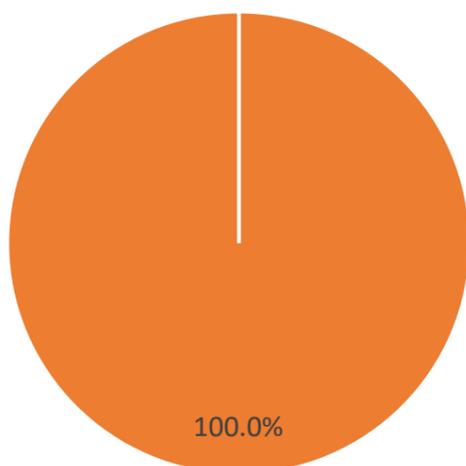
回答：1クラス（順不同）

[1] 学生の理解が深まった

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

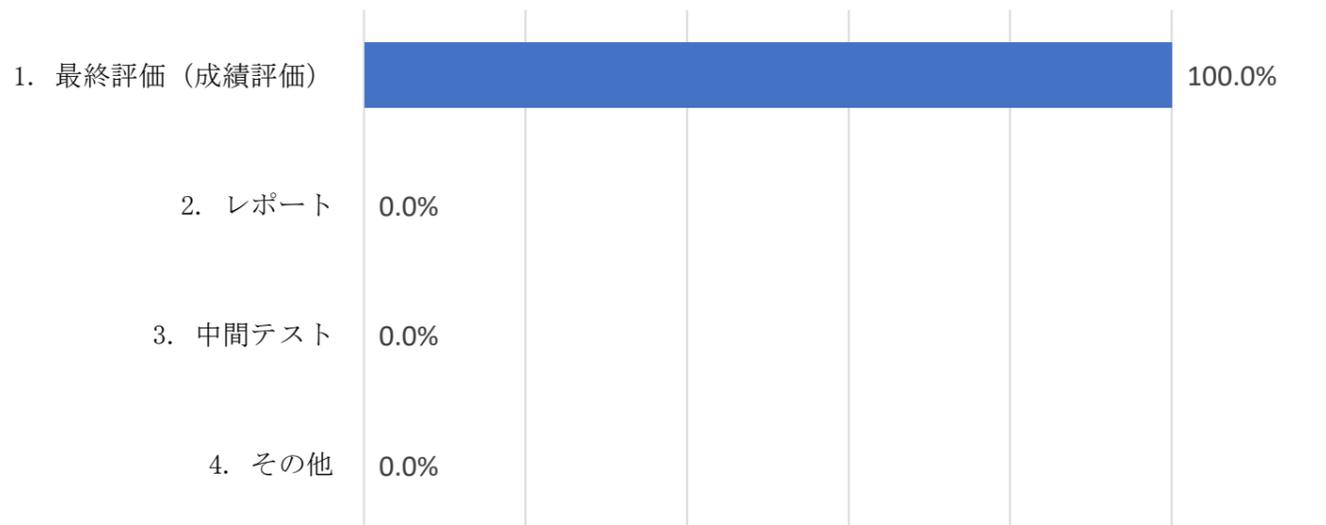
問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 ■ 1. 導入した ■ 2. 導入していない ■ 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。



問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：1クラス（順不同）

[1] 採点基準が明確になった

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：0クラス

回答数 24 クラス

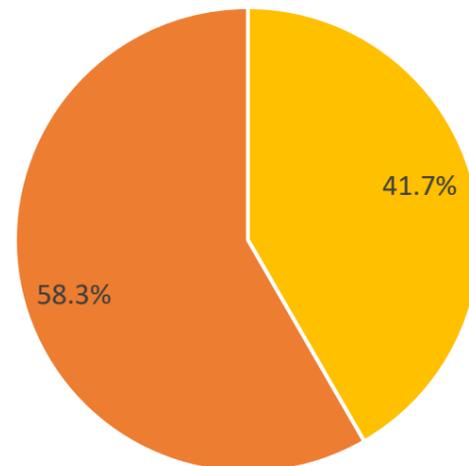
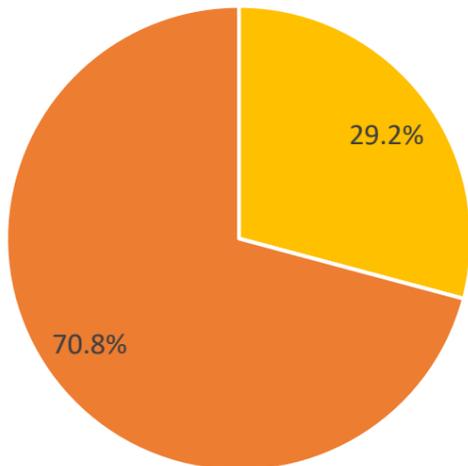
A（問1①～⑩）：授業担当者として教授方法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し次の1～4のうち該当する数字を選んでください。

【 1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. ややあてはまる 4. あてはまる 未回答 】

問1

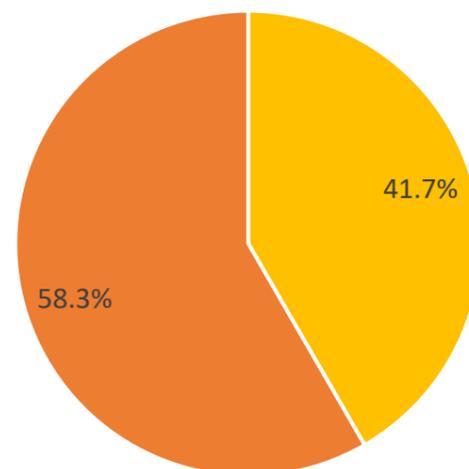
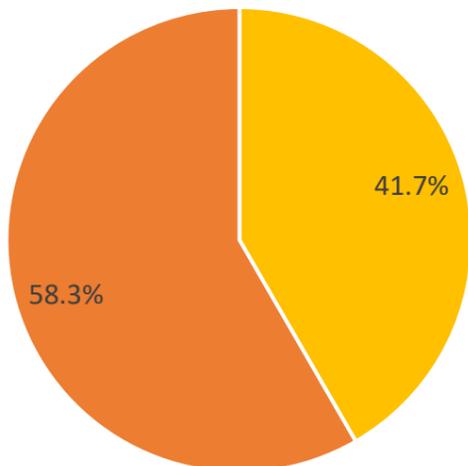
①シラバスに沿って授業を行えた。

②学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。



③話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

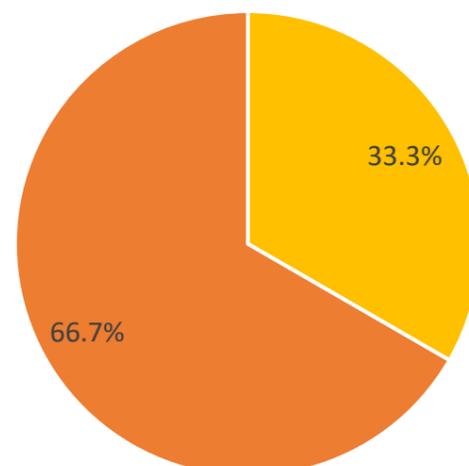
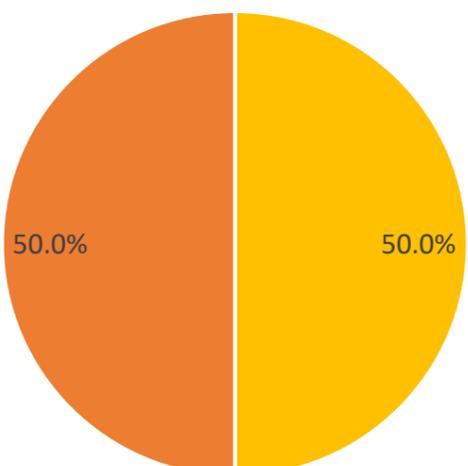
④重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。



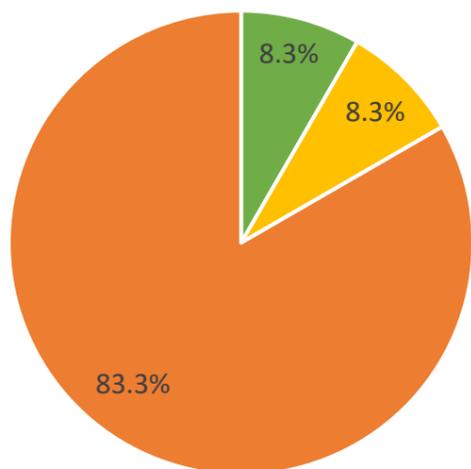
⑤学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

⑥受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

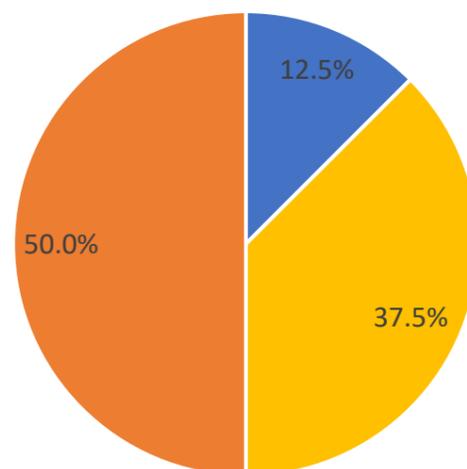
（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）



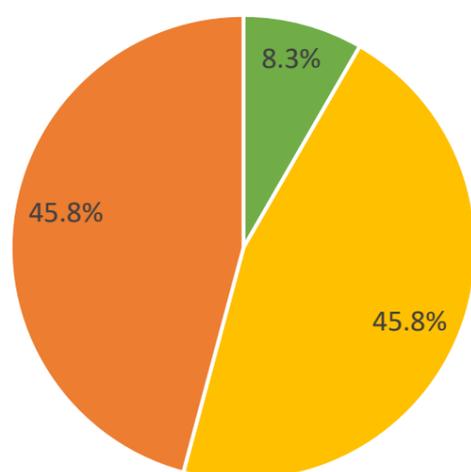
⑦受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。
 (発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した
 /学生の理解度を確かめながら進めた/学生の授業への能動的な
 参加(アクティブ・ラーニング)を促した、等)



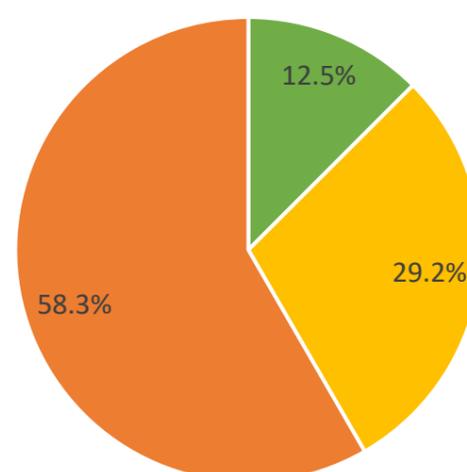
⑧授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。



⑨総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。



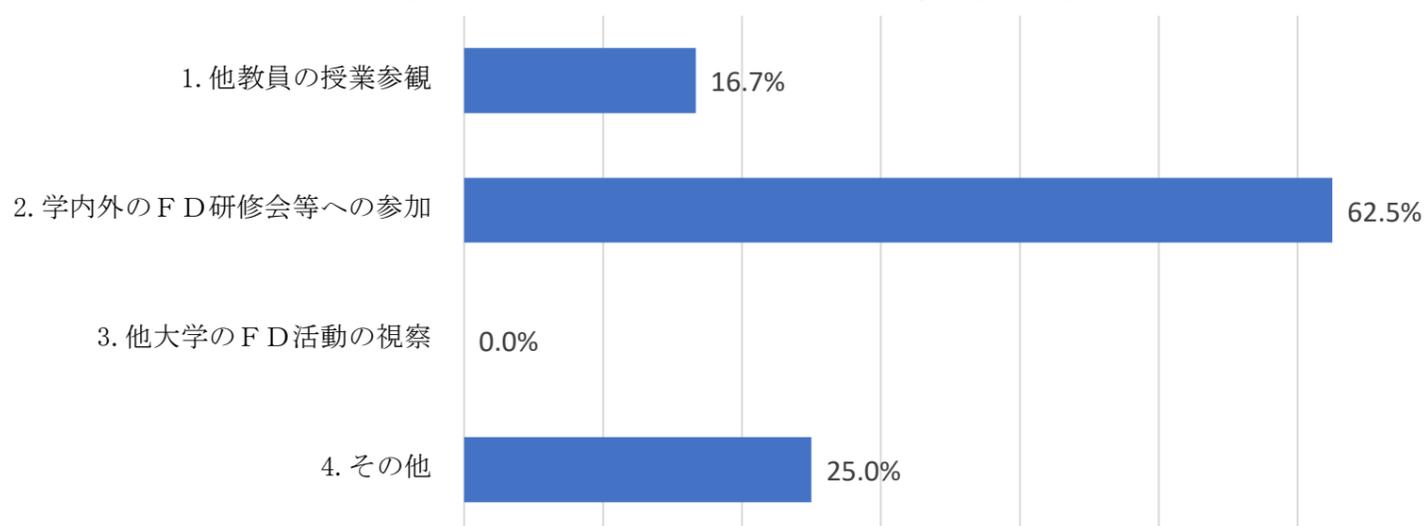
⑩シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。



教員FD活動レポート(教養(基礎)教育)R6 後期(基礎教育科目)

B(問2~5): FD活動についてお尋ねします。

問2. この授業科目に関してこの1年間に取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)



問3. 昨年度も同一科目を担当した方は、昨年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

回答：11クラス（順不同）

[1]	内容のアップデート
[2]	人数が少なかったので、毎回学生の希望を聞いて自習取り組む種目を決めた。
[3]	過年度生1名への対応であったため、グループワークに対する評価をなくして実施した。
[4]	昨年度の評価結果というよりも今年度の受講生の様子をみながら、また、実習の地域のニーズなどに配慮しながら授業の工夫を行った。
[5]	バレーボールとバドミントンについては、いろいろな学部やコースの学生と関われるように、毎回ペアやチームを新しくつくって試合をした。
[6]	当該科目は学生の研究室配属に向けた研究紹介も兼ねているため、研究テーマと基本的な学術的意義を説明した上で、個別に担当している必修専門科目の内容とリンクするような構成としました。
[7]	学生に授業を通して取り組んでもらう地域課題について、前期の関連授業（地域デザイン概論Ⅰ）から学生に提示することで、課題への認識を深めてもらう工夫を行った。 また、授業外学習における目標設定も都度行うことで、授業と授業外の学習のつながりをもたせるように工夫した。
[8]	Shadowingをするよう奨励し、授業時に一人ずつshadowingをしていただき、評価した。 毎回、テキストのResearch Questionをインターネットで調べていただき、ペアでその結果を発表し合い、Follow up questionをして話す機会を増やしました。
[9]	Shadowingをするよう奨励し、授業時に一人ずつshadowingをしていただき、評価した。 毎回、テキストのResearch Questionをインターネットで調べていただき、ペアでその結果を発表し合い、Follow up questionをして話す機会を増やしました。また、時間の許す限り、TOEICの問題をchatやQuiz形式で試みた。
[10]	昨年に引き続き、学期を前半・後半に分け、前半にTOEICの学習、後半に英字新聞の記事を読むカリキュラムで授業を構成した。自宅での予習を必須とし、授業では内容の確認や定着のための発展学習を採用する。座ったままで発表しない「静」の時間を極力減らすため、ペアワークやグループワークなどのアクティビティを多用して口頭パフォーマンスを昨年以上に重視し、取り入れた。
[11]	昨年に引き続き、学期を前半・後半に分け、前半にTOEICの学習（TOEICの学習を希望する学生の声、他学部・他学級のTOEICの取組みを考慮）、後半に英字新聞の記事を学習するというカリキュラムで授業を実施した。自宅での予習を必須とし、授業では、内容の確認や、定着のための発展学習を実施。座ったままで発表しない「静」の時間を極力減らすために、ペアワークやグループワークなどのアクティビティを多用、口頭パフォーマンスの度合いを昨年以上の重視した。

問4. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点があれば書いてください。

回答：10クラス（順不同）

[1]	もう少し興味を引く話し方、内容に改善したい
[2]	1名への対応だったので、集中してケア出来ていた。
[3]	少人数なりの、きめ細やかな指導が行えた感触がある。
[4]	できるだけペアワークを行うことで互いに話す機会を増やしました。
[5]	学生のレポートの活用の仕方。紹介したり、試合にいかしたりするとより充実したのではないかな。
[6]	内容を分かりやすく説明したつもりであるが、学生には難しい単語や内容があり、完全にはこちらの意図が伝わりきれていないように感じた
[7]	様々なスポーツに取り組めた一方、一つの種目の技能向上は図れなかった。人数が少なかったからこその取り組みは工夫できたかもしれない。
[8]	学生が主体的に問題に取り組む姿勢がついていると感じる。 また、学生が地域の企業や自治体とのコミュニケーションを取る機会にもなっており、将来のキャリアを考えるきっかけにもつながっている可能性がある。 反省として、マイスター科目なので、徐々に参加者が減っているのがもったいない。SPARCの科目になったときに履修学生の確保ができるとよい。
[9]	クラスサイズが50名、レベル差が大きいクラスの中で、どのような形であれ英語に触れる時間を確保したいと思い、アクティビティを取り入れた授業を工夫したつもりだが、上位、下位の理解度の学生に、より効果的な方法があったかどうかについては、授業担当者の課題として常に意識する必要がある点だと思う。また予習・復習を学生の自主性に委ねる形で授業を実施したが、発表力、パフォーマンス力の向上につながる基礎力定着の観点からも、授業の構成を考えることも忘れてはいけないと考える。
[10]	クラスサイズが50名、レベル差が大きいクラスの中で、どのような形であれ英語に触れる時間を確保したいと思い、アクティビティを多く取り入れた授業を工夫したつもりだが、上位、下位の理解度の学生に、より効果的な方法があったかどうかについては、授業担当者の課題として常に意識する必要がある点だと思う。また予習・復習を学生の自主性に委ねる形で授業を実施したが、発表力、パフォーマンス力の向上につながる基礎力定着の観点からも、授業の構成の適切さを考えることも忘れてはいけないと考える。

問5. F D活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

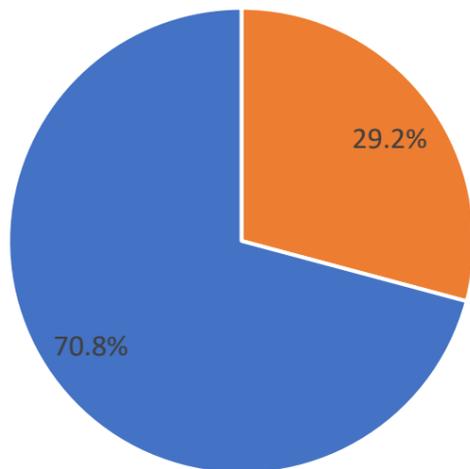
提出：1クラス

教員F D活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（基礎教育科目）

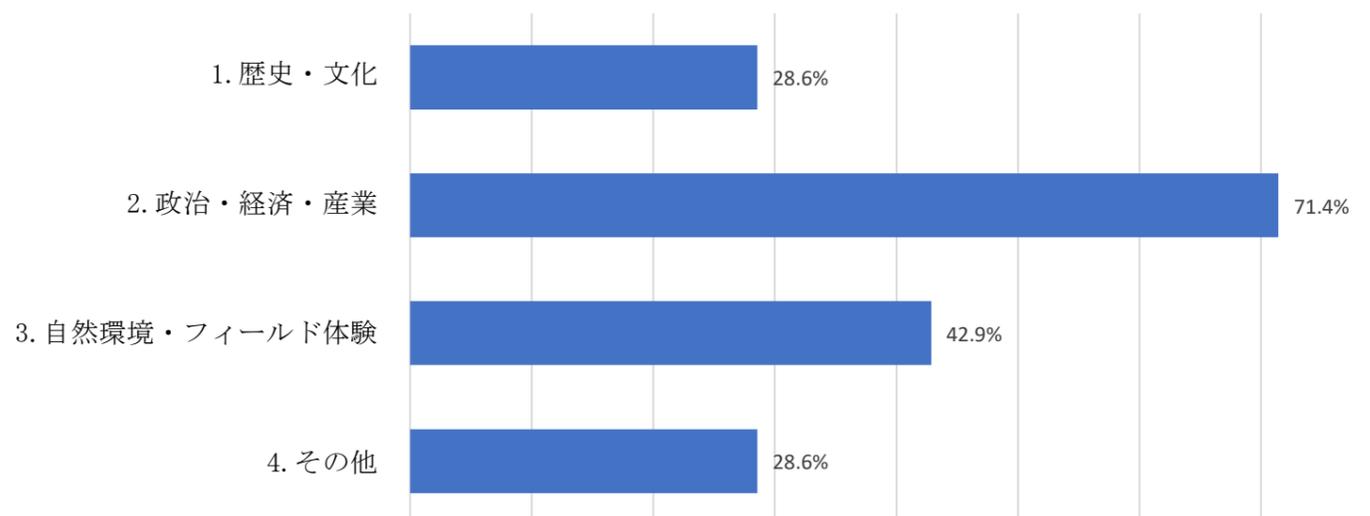
C（問6～問8）：「地域を教材とする教養教育／基礎教育」についてお尋ねします。

問6. 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか。

【  1. はい  2. いいえ  未回答 】



問7. 「地域」のどのような分野を取り上げていますか。（複数回答可）



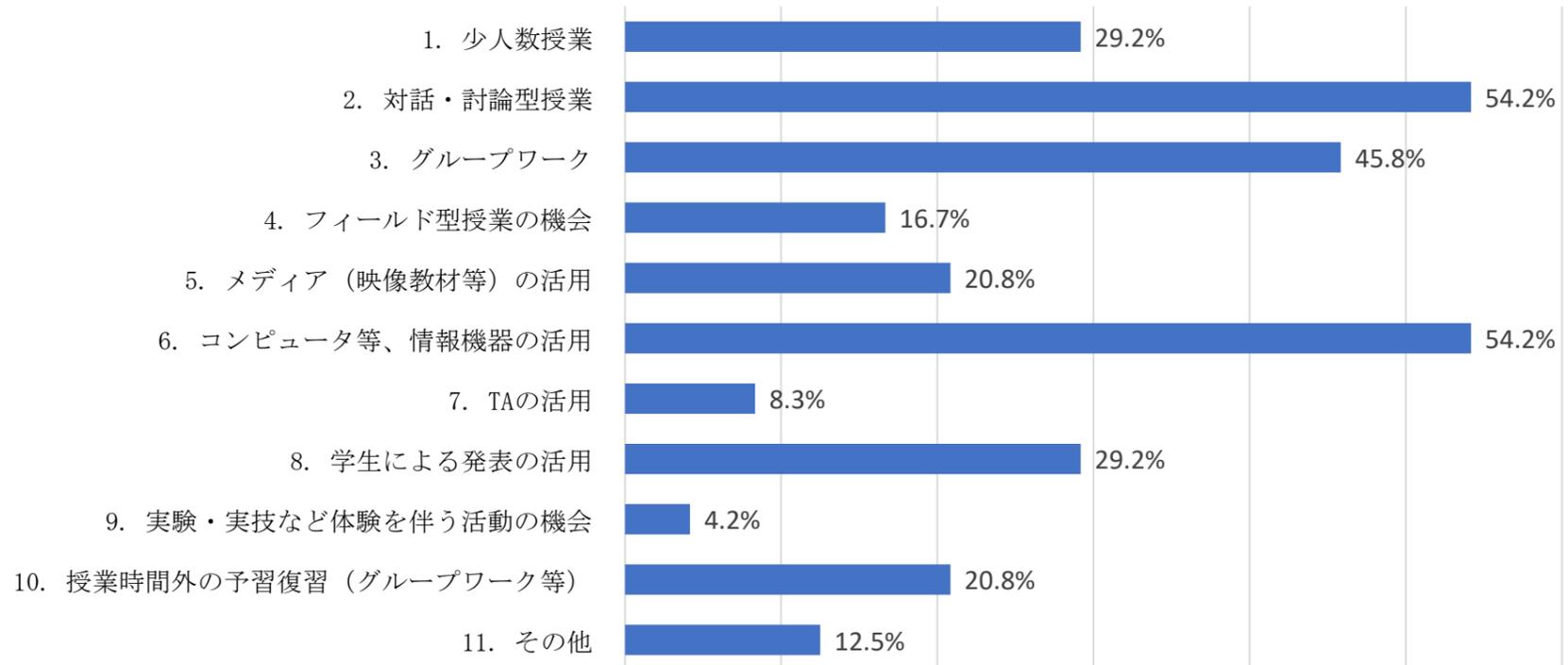
問8. 「地域を教材とした教養教育／基礎教育」に該当する特色ある活動がありましたら、記述ください。

回答：2クラス（順不同）

[1]	宮崎県産の水産物（西都産養殖鯉や延岡産メヒカリ）に着目した研究紹介を行い、文化も含んだ宮崎ならではの水産文化について紹介した。
[2]	宮崎市中心市街地の広島通りの再開発をテーマに扱った。宮崎市職員や地域住民とのやりとりを都度入れながらテーマに取り組めるようにした。

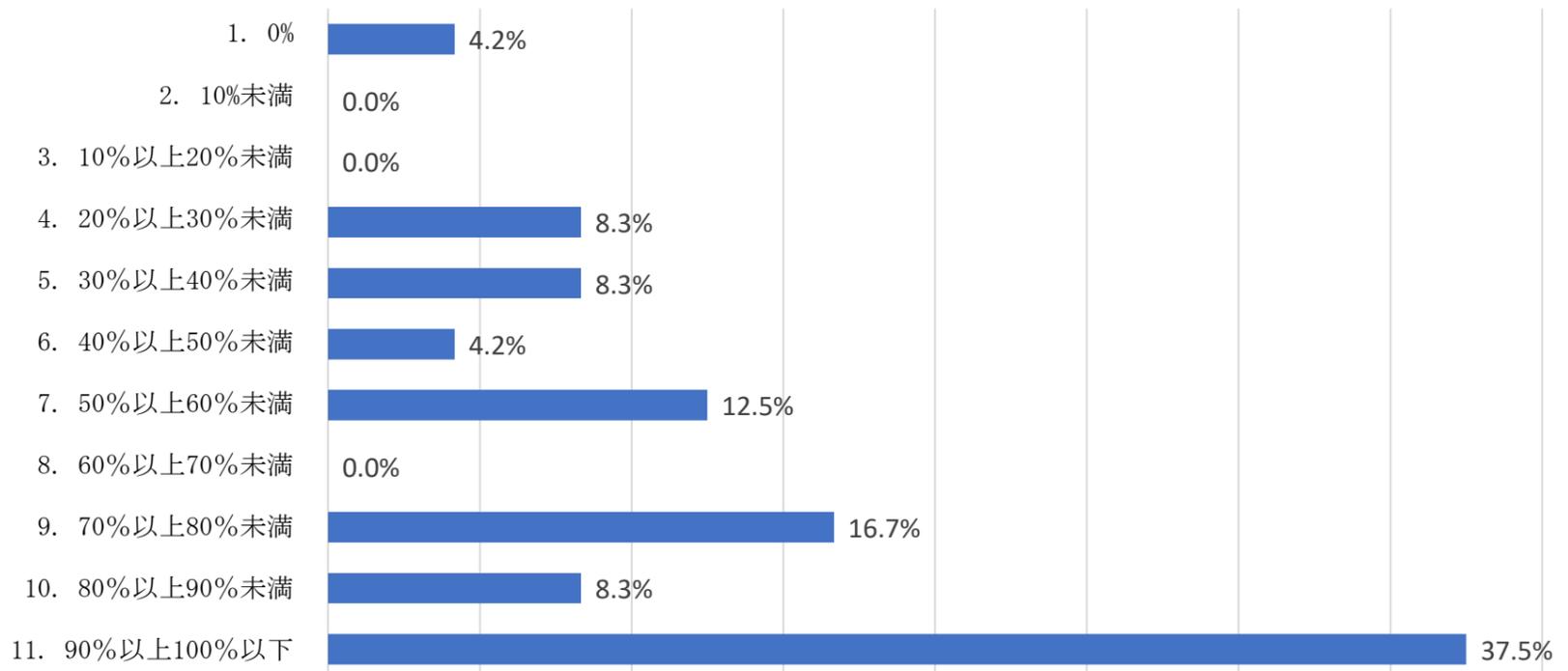
D（問9～問12）：「アクティブ・ラーニング」の導入状況についてお尋ねします。

問9. 本科目では、以下に示すアクティブ・ラーニングを取り入れましたか。この授業で行った学習指導方法上の工夫等について、以下の項目のうち該当するものにチェックをつけてください。（複数回答可）



問10. 全授業回数のうち、アクティブ・ラーニングをどのくらいの割合で取り入れましたか。

例：全15回の授業で3回取り入れた場合（1回の授業における割合は問いません） → 20%



問11. アクティブ・ラーニングを導入した方にお尋ねします。

アクティブ・ラーニングを導入した効果について、教員にとっての効果、または学生にとっての効果が見られる場合、記入してください。

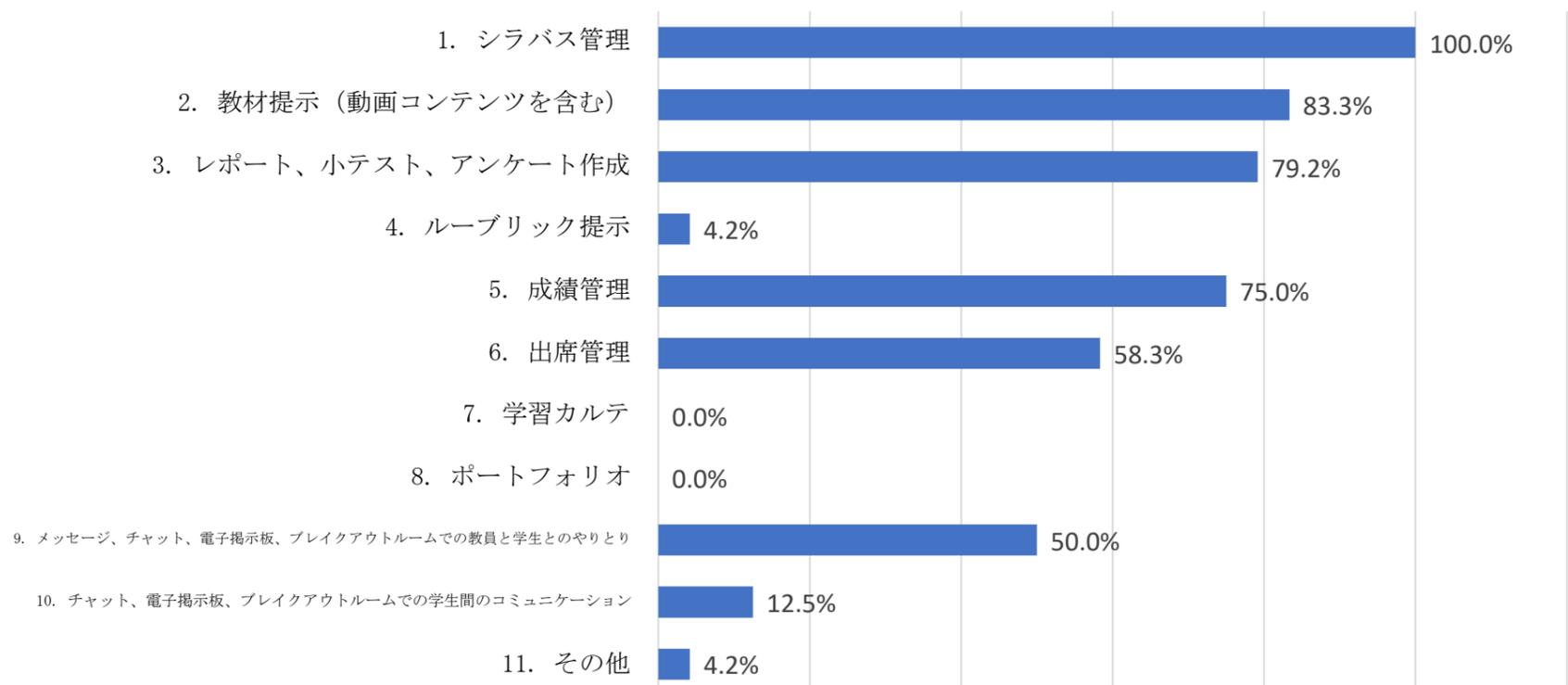
回答：13クラス（順不同）

[1]	作戦の話し合い
[2]	作戦の話し合い
[3]	学生の積極性が涵養され、到達目標の達成における理解が深まった。
[4]	学生間の対話が多く、授業への集中力を維持するために効果的であったと考えます
[5]	学生間の対話が多く、授業への集中力を維持するために効果的であったと考えます
[6]	学生間の対話が多く、授業への集中力を維持するために効果的であったと考えます
[7]	討論の中で、既定のテーマを超えた議論が展開し、受講者だけでなく、教員も刺激を受ける内容となった。
[8]	研究室配属にも関わる科目であるため、学生が研究室を検討する上での自主的な行動・探索活動に繋げることができた。
[9]	本講義はオムニバス形式であり、自身の担当が1回のみであったため、アクティブ・ラーニングの効果に関しては不明である
[10]	ペアワークを多く取り入れたので、それぞれ自分の考えを伝える機会が多くあった。ペアワークの間、学生にいろいろと質問することができた。
[11]	ペアワークを多く取り入れたので、それぞれ自分の考えを伝える機会が多くあった。ペアワークの間、学生にいろいろと質問することができた。
[12]	学生側・・・自分の声を聞いてくれる相手がいることで、相手に伝わる声や内容を意識し、より能動的な姿勢で活動に参加する傾向がみられる。 教師側・・・税院が一斉に活動に参加することにより、クラスの雰囲気が明るくなり、活発な言語活動に結び付けられる。このような時には、口頭練習やアクティビティの重要性を実感できる。
[13]	学生側・・・ペア、グループなどどのような形をとっても、自分の声を聞いてくれる相手がいることで、より考えを意識し、より能動的な姿勢で活動に参加する傾向がみられる。 教員側・・・大人数が一斉に活動に参加することにより、クラス全体の雰囲気が明るく活発になり、アクティビティの頻度が増えるにしたがって学生の発表姿勢が前向きになるのがよくわかる。このような時には、口頭練習、アクティビティの重要性を実感できる

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（基礎教育科目）

E（問12～問13）：WebClass等（moodle、Zoom、GoogleClassroom、teams）のICT利用状況についてお尋ねします。

問12. WebClass等の学習支援機能について、以下の項目のうち利用した機能にチェックをつけてください。（複数回答可）



問13. WebClass等の学習支援機能を利用したことによる、学生への毎回授業への学修の指示（授業時間外の学修を含む）や授業の資料の配信など、学生の能動的学修における効果について、具体的に記入してください。

回答：12クラス（順不同）

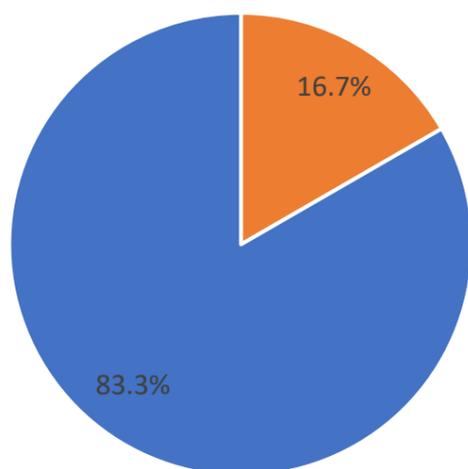
[1]	積極性のある学生はレスポンスが良く、こちら側の意図を効率よく汲み取った学習ができた。
[2]	講義時間以外で教材の視聴による学習意欲の促進と締め切り日の厳格化の両方に効果があった。
[3]	資料を予め電子ファイルとして配布することができるため、学生の予習、復習に役立つものと考えている
[4]	掲示板に課題をアップロードすることにより、学生間でのピア・レビューをスムーズに行うことができました
[5]	掲示板に課題をアップロードすることにより、学生間でのピア・レビューをスムーズに行うことができました
[6]	掲示板に課題をアップロードすることにより、学生間でのピア・レビューをスムーズに行うことができました
[7]	研究室配属に関わる動画コンテンツを作成しているので、学生が自主的にそれらを繰り返し閲覧できるようにWebClassにて設定しました。
[8]	Work Sheet、音声ファイル、ボキャブラリープラクティスを利用して毎回予習をしていただきました。また、フローチャートを載せることで、学習の復習等ができるようにしました。
[9]	Work Sheet、音声ファイル、ボキャブラリープラクティス動画を毎回予習をしていただきました。また、フローチャートを載せることで、学習の復習等ができるようにしました。
[10]	資料を事前に読む、まではなかったが、復習として学期を通してWebclass上に提示した資料を見直している学生が見受けられた。また、ミニットペーパーを毎回課したが、Webclassの記録を見直して最終レポートの作成に活かしている学生も見受けられた。
[11]	必要な情報を漏らすことなくWebclassに掲載できるので、予習・復習の指示、追加課題の掲載など有効に使うことができる。情報漏れを防ぐことも可能。学生からの欠席届や質問に対する返答も容易なため、学生の学習相談やケアが必要な場合にも個別に対応することが容易である。Webclass上で行う小テストや定期テストなどは現代のSNS時代を生きる学生には適切な教育方法の一つではないかと考える。
[12]	学生と共有すべき情報を漏らすことなくWebclassに掲載できるので、予習・復習の指示、追加課題の掲載と指示などが容易である。情報漏れも防ぐことができる。学生からの欠席届、個別質問に対する返答も可。授業時間内でカバーできない関連情報などを自己学習として支持することも可能。小テストや定期テストなどもWebclassで実施でき、この形式は、現代のSNS時代の学生には適切な方法の一つではないかと考える。

教員FD活動レポート（教養（基礎）教育）R6 後期（基礎教育科目）

F（問14～問17）：ルーブリック評価に関する質問項目です。

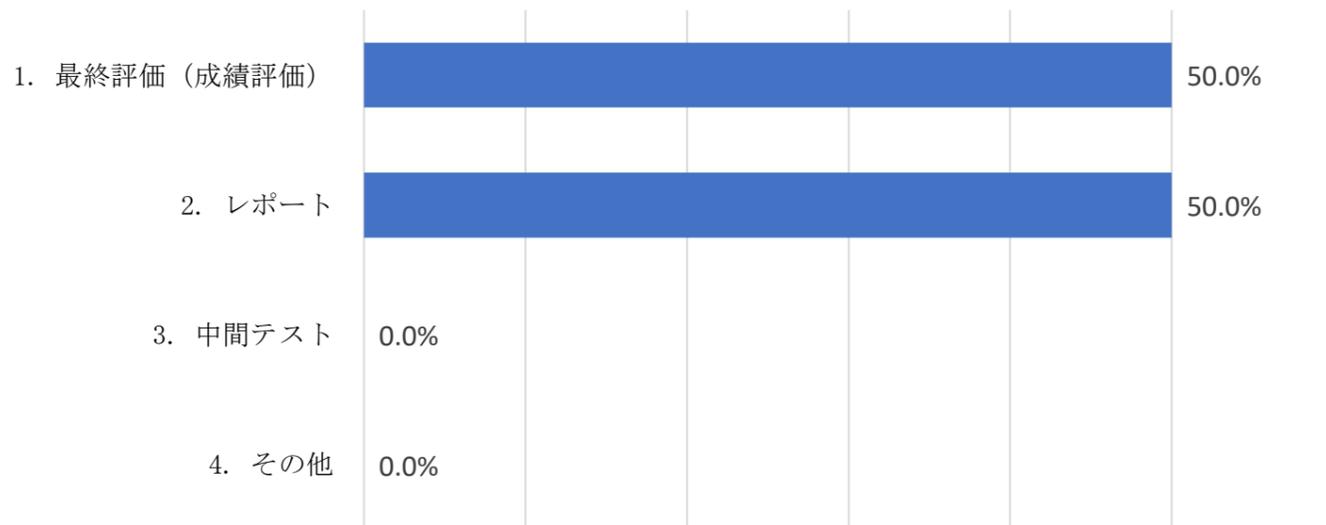
問14. ルーブリック評価を導入しましたか。

【 1. 導入した 2. 導入していない 未回答 】



<問14で「導入した」と回答した方は問15～問17にお答えください。>

問15. 「ルーブリック評価」の評価対象として該当するものにチェックをつけてください。



問16. 「ルーブリック評価」を導入した効果について、具体的に記入してください。

回答：3クラス（順不同）

[1]	採点にブレがなかった。
[2]	教員学生双方が納得した上での評価が可能
[3]	当該科目は研究室配属も兼ねているため、配属後に必要な専門教育（私の担当パートはデータの解析、図示化）の意義を提示し、配属後のイメージとリンクさせながら講義を実施できた。

問17. 「ルーブリック評価」を導入した問題点及び改善点について、具体的に記入してください。

回答：2クラス（順不同）

[1]	根本的に指導教員の提示となると一過性になるため、学生自身がそれを受けて消化するための、プロセスが必須と言えます。
[2]	学生にも事前提示するなどを十分に行い、こちら側の採点のメリットだけではなく、学生たちの学習に生かせるようにする。